



KOBE 2024

世界パラ陸上競技 選手権大会

大会報告書



KOBE 2024
PARA ATHLETICS
WORLD
CHAMPIONSHIPS

写真編

世界パラ陸上競技連盟代表 ポール・フィッツジェラルド

世界パラ陸上競技連盟を代表して、神戸2024世界パラ陸上競技選手権大会の成功に関わったすべての皆さまに感謝申し上げます。第11回大会となる本大会は、様々な理由により記憶に残る大会となることでしょう。新型コロナウイルスの世界的な流行により大会が何年も延期されましたが、競技場での選手の活躍と神戸の人々の積極的なサポートが最も重要な記憶として残っています。

世界最高峰のパラアスリートたちが、その力、スピード、技術を披露しました。いくつもの世界記録が樹立され、世界チャンピオンが誕生しました。多くの勝利があった一方で、多くの落胆もありました。選手も観客もあらゆる感情を目の当たりにしました。選手は、世界最大の単一パラスポーツイベントという大舞台でベストを尽くしました。競技会場にいた皆さまや、世界中で競技を観戦した皆さまが、選手たちと同じだけの情熱を持って、自己ベストを目指して人生を送られますことを願っています。

神戸は今後の世界パラ陸上大会に向けて素晴らしい模範を示しました。神戸は世界中のパラ陸上競技の発展に貢献したことを誇りに思っています。神戸は、この大会を通じて政府や関係自治体が協力して支援したとき、単なるイベントの開催にとどまらず、長期にわたって正の遺産を確実に残すことができることを示しました。神戸市がパラ陸上を受け入れていることは明らかです。この経験が、パラ陸上への継続的な支援を後押しし、パラ陸上を始める人が増え、将来、世界パラ陸上大会やパラリンピックで日本に多くのメダルをもたらすことを願っています。本大会と神戸の支援に対して、次世代の選手たちが「ありがとう、神戸！」と感謝してくれることになるでしょう。

On behalf of World Para Athletics, I would like to thank everyone involved with the successful hosting of the Kobe 2024 Para Athletics World Championships. The 11th edition of the World Championships will be remembered for many reasons. Even though the event was postponed for years due to the global Covid-19 pandemic, the most important memories are the success of the athletes on the track and field and the positive support provided by the people of Kobe.

The best para athletes in the world were able to showcase their strength, speed and skill. World records were set and World Champions were crowned. There were many triumphs but also many disappointments. The athletes and spectators could witness all the emotions. They gave their personal best on the biggest stage at the largest single para sport event in the world. It is my hope that everyone in this stadium and those watching around the world were inspired to live their lives trying to achieve their personal best with the same passion as the athletes.

Kobe have set an excellent example for future Championships and should be proud of this contribution to the development of Para athletics around the world. Through your work, you have shown that when all levels of government work together and provide their support, there is an opportunity to go beyond hosting an event, we can ensure a long-lasting positive legacy. It is clear, the City of Kobe have embraced Para Athletics. I hope that this experience will encourage continued support and participation in Para athletics and lead to many medals for Japan at future World Championships and Paralympic Games. It is because of these World Championships and the support of Kobe that the next generation of athletes will say, "Thank you Kobe!"



大会組織委員会会長 増田明美

神戸2024世界パラ陸上競技選手権大会は、どなたに聞いても評判がいいのが嬉しいです。大成功に終わりましたね。私は神輿に乗った感じがしましたが、その神輿の何と頑丈で美しかったことでしょう。これぞ神戸の底力！でした。兵庫陸協はじめ、審判やスタッフの皆さんの運営の正確さと温かさは、選手達から好評で、ボランティアの方々も「みんな親切だった」と喜ばれています。また多くの企業の方々に支えて頂いたONEクラス応援制度が功を成しましたね。「子ども達のわあっ！という明るい声に背中を押されました」という選手がいっぱい。お陰で世界記録21、日本記録が9も誕生！そんな選手達の活躍を、1日9千人強の観客が見てくれたことにも感動しました。私もミニ解説しながら一緒に観戦（久元市長も来てくださり）した日もありましたが、「競技性の高さに驚いた」という声が多かったです。視覚障がい選手が、伴走者やコーラーと一緒に競技する姿に心打たれたという人も。選手や観客、ボランティアの人たちを応援するように伝えてくれたメディアの方々にも感謝の気持ちでいっぱいです。ユニバー記念競技場の中でみた自然な多様性が、これから街に広がり、社会に広がっていきそうです。神戸で生まれた一体感が“未来”という明るい花を咲かせました。



神戸市長 久元喜造

神戸2024世界パラ陸上競技選手権大会では、9日間にわたり世界104か国・地域、1,073人のトップパラアスリートによる白熱した戦いが繰り広げられました。大会期間中は、約8万4千人もの観客が選手に熱い声援を送られたほか、選手と記念撮影するなどの交流も広がりました。選手と観客が一体となった雰囲気のもと21の世界新記録が誕生するなど、大会は成功裏に終わりました。本大会には、多方面よりご支援、ご協力をいただきました。約1,500人のボランティアの皆様は、会場内外での選手サポートや通訳など大会のおもてなしの顔として大活躍されました。特別支援学校の児童生徒の皆様には、喫茶や大会関連施設の清掃、選手団への記念品の制作などで大会を支えていただきました。また企業・団体や個人の皆様には学校観戦会の費用に充てる「ONEクラス応援制度」をはじめ、多くのご寄付をいただきました。本大会では、とりわけ次代を担う子ども達の障がいや多様性への理解促進を目指しました。各学校でのパラリンピアンなどによる体験型授業をはじめ、約2万8千人の子ども達による学校観戦会を実施しました。子ども達の声援は選手を大いに励まし活躍の後押しをただけでなく、子ども達自身も選手と感動を共有し、選手と交流することで、障がいや多様性への学びを深めることができました。本大会を契機として、パラスポーツの振興やインクルーシブ社会の実現に一層取り組んでまいります。最後に、大会に関わっていただいた全ての皆様に深く感謝申し上げます。



神戸2024世界パラ陸上競技選手権大会開会式 秋篠宮皇嗣殿下お言葉



そして、この30年の間に当初は42種目で行われていた競技は、168種目へと幅が広がりました。

本大会は、東京2020パラリンピックにおける感動やパラスポーツへの関心の高まりを将来へ継承していくことが、基本理念のひとつであると聞いております。

参加される皆様には、日頃の練習の成果を存分に発揮され、素晴らしいパフォーマンスを披露して下さることを期待しております。それとともに、世界約100の国と地域から集われた方々、また、多くのボランティアや地元の方々がお互いに交流することによって、世界の人々の友情と親交がさらに深まることを期待いたします。

そして、神戸2024世界パラ陸上競技選手権大会が、多くの人々の心に残る大会になるとともに、これを契機にパラスポーツへの関心が今以上に高まることを願っております。

おわりに、本大会が「TSUNAGERU・HIROGERU・SUSUMERU」の3つの基本理念の下、誰もが暮らしやすい、インクルーシブな社会の実現に寄与することを祈念し、開会式に寄せる言葉といたします。

令和6年(2024年)5月17日(金)
神戸総合運動公園ユニバー記念競技場

「神戸2024世界パラ陸上競技選手権大会」が東アジアにおいて初めてここ神戸市で開催され、国内外から参加された多くの選手、役員、そして今日ここに集っておられる皆様とともに出席できましたことを大変うれしく思います。

このたびの大会は、当初、3年前の2021年に行うことで計画が進められておりました。しかるに、COVID-19のパンデミックにより、2度にわたる延期を経て、本年開催されることとなりました。今日に至るまで多くの困難を乗り越え、大会の準備に力を尽くしてこられた方々、長期間にわたっての練習を積み重ねて出場を果たされた選手、そして様々な形で選手を支えてこられた関係者に深く敬意を表します。

さて、世界パラ陸上競技選手権大会は、世界最高峰のパラ陸上競技大会であり、1994年に第1回大会がドイツ・ベルリンで開催されて以来、本大会で11回を数えます。

秋篠宮皇嗣同妃両殿下のお成り

秋篠宮皇嗣同妃両殿下は、令和6年(2024)年5月16日～17日に神戸市にお成りになり、神戸2024世界パラ陸上競技選手権大会に御臨席されるとともに、神戸市内の施設2カ所を御見学・御訪問されました。

1 5月16日



神戸市立灘さくら支援学校では、同校及び隣接する市立灘の浜小学校の児童とパラスポーツ「ポッチャ」で御交流



こべっこランドで、子育て支援教室等に参加されている保護者の方々と御懇談



ホテルオークラ神戸で日本選手団と御懇談

2 5月17日



モーニングセッションの競技を御覧



開会式に御臨席

目次

大会基本理念	8
大会概要	9
大会ロゴ・キービジュアル	10
大会アンバサダー／サポーター	11
公式スポンサー	12
寄附者一覧	13

写真編

開会式	14
競技	
・1日目	18
・2日目	24
・3日目	30
・4日目	36
・5日目	42
・6日目	48
・7日目	54
・8日目	60
・9日目	66
閉会式	72
表彰式	74
歓迎レセプション	76
大会前日	78
イベント	80
観戦風景	88
場外風景	90
スポンサーブース	92
運営風景	94
広報物・都市装飾・会場装飾	96
ボランティア	100

資料編

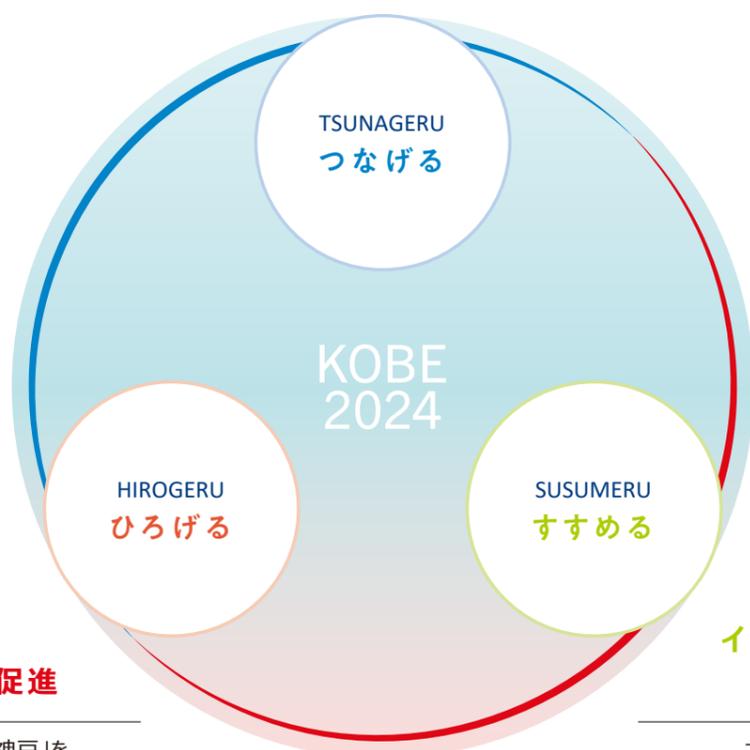
数字で見るKOBÉ2024 世界パラ陸上	106
大会誘致／開催都市決定	
組織委員会の設立	107

事務局の運営体制	
大会に向けた準備／開催延期	108
大会開催に向けた再スタート	
大会期間中の運営体制	109
全体事業費／経済波及効果	110
競技運営	111
クラス分け	112
スポーツプレゼンテーション	113
メディカル	114
アンチ・ドーピング	115
会場運営	116
アクレディテーション	117
大会警備	118
ロジスティクス	119
施設改修・仮設物の設置	120
宿泊	121
ケータリング	122
輸送	123
出入国	124
式典	125
ゲスト	128
ボランティア	130
広報	131
プロモーション	132
メディアセンター	136
ホストブロードキャスト	137
スポンサー	138
寄附	
大会ロゴ等のデザイン	
商標権・コマーシャルクリーン	139
グッズ	
チケット	140
地域・おもてなし①	141
地域・おもてなし②	142
学校観戦会	143
メダリスト	144
競技スケジュール	156
会場図	161
組織委員会 委員等名簿	162

大会基本理念

パラリンピックムーブメントの継承と パラスポーツの振興

「東京2020 パラリンピック」における感動や興奮を継承し、
パラスポーツへの関心を高める。



国際親善の促進

「国際スポーツ都市神戸」を
世界に発信し、
スポーツを通じた交流の輪を広げる。

インクルーシブな 社会の実現

本大会をきっかけに、
障がい者をはじめ誰もが暮らしやすい
まちづくりを進める。

基本理念の実現に向けた5つの柱

1. 選手の活躍を引き出す最高の舞台の実現
2. 様々な支え手の力を結集した大会の運営
3. パラスポーツを通じた障がいや多様性への理解促進
4. 持続可能性への最大限の配慮
5. 世界に向けた兵庫・神戸の魅力発信

大会概要

世界パラ陸上競技選手権大会は、国際パラリンピック委員会により創設された世界最高峰のパラ陸上競技大会である。1994年ドイツ・ベルリンで第1回大会が開催され、2011年ニュージーランド・クライストチャーチでの第5回大会から、2年ごとに開催されている。

神戸大会は2021年に開かれる予定であったが、新型コロナウイルスの世界的な流行で2度の延期を余儀なくされた。そしてついに2024年5月に、東アジアで初めて神戸で開催された。本大会では障がい者と健常者が一緒になって、『東京2020パラリンピック』における感動やパラスポーツへの関心の高まりを次代に“つなげ”、スポーツを通じた交流の輪を“ひろげ”、障がい者をはじめ誰もが暮らしやすいまちづくりを“すすめる”ことを目指した。

大会名称

日本語名称：神戸 2024 世界パラ陸上競技選手権大会

英語名称：KOBE 2024 PARA ATHLETICS WORLD CHAMPIONSHIPS

開催時期

2024年5月17日(金)～25日(土)

モーニングセッション 9:00-12:00

イブニングセッション 17:00-20:00

競技会場

神戸総合運動公園ユニバー記念競技場

参加者数

選手団 104 か国・地域 1,978 人(うち選手1,073 人)

大会ロゴ・キービジュアル



大会ロゴには、未来へと躍動するスポーツの発展とパラスポーツに象徴される多様な価値観を、世界に向けて発信する巨大な波が描かれている。伸びやかで自由なラインにはスポーツの躍動感が、見るものの心を躍らせるカラフルなカラーリングには共存し調和する多様な価値観がそれぞれ表現されている。

港町・神戸のランドマークであるポートタワーや海洋博物館を描き、ここ神戸からスポーツを通じた平和と多様性の波を広げていきたいというポジティブなメッセージを込めデザインされている。



大会キービジュアルは大会ロゴの巨大な波が拡がり生まれた。「神戸を中心に海で繋がる地球」をモチーフとし、世界中のアスリート、サポーター、観客の皆さんが多様な価値観を認め合いながら繋がり、調和するというメッセージがこめられている。

大会ロゴ・キービジュアル創作者 ヨシ 中谷 氏

公募で集まった作品の中から審査会で選定され、国際パラリンピック委員会との協議を経て2020年11月に決定。

大会アンバサダー／サポーター

大会組織委員会では、パラ陸上・陸上競技分野で、日本代表として世界大会に出場する等の功績を残した方々をアンバサダー、文化や学術分野などにおいて功績を残した方々をサポーターとして委嘱し、2024年の神戸大会に向け、パラスポーツや世界パラ陸上競技選手権大会の魅力伝える活動を行っていただいた。



大会アンバサダー
(パラリンピアン)
やま もと あつし
山本 篤氏



大会アンバサダー
(オリンピック)
の うち
野口 みずき氏



大会アンバサダー
(パラリンピアン)
なが お よし ふみ
永尾 嘉章氏



大会アンバサダー
(オリンピック)
こばやし ゆり こ
小林 祐梨子氏



大会スペシャルサポーター
(京都大学iPS細胞研究所名誉所長)
やまなか しん や
山中 伸弥氏
©京都大学iPS細胞研究所



大会サポーター
(俳優)
たけした けい こ
竹下 景子氏
撮影:鎌山紀信



大会サポーター
(フリーアナウンサー)
たけ た しん いち
武田 真一氏
撮影:山岸伸



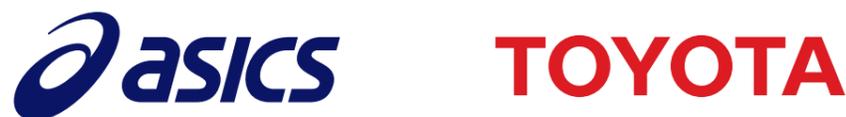
大会サポーター
(俳優)
のぞみ ふう と
望海 風斗氏



大会サポーター
(俳優・アーティスト)
にのみや かずなり
二宮 和也氏
© office nino Co.,Ltd.

公式スポンサー

Platinum Sponsors



Gold Sponsors



Silver Sponsors



Official Suppliers



寄附者一覧



企業版ふるさと納税

株式会社アミバラ
株式会社新井組
株式会社 JECC

株式会社スウェーデンハウス
大和証券株式会社
テラル株式会社

株式会社なごみ
株式会社阪急交通社
山田コンサルティンググループ株式会社



ONEクラス応援制度

株式会社アイ工務店
アシックス株式会社
株式会社アスノ
アマテイ株式会社
株式会社イーエスプランニング
石井建材株式会社
石原ケミカル株式会社
医心堂 丹家内科クリニック
有限会社いせや写真館
株式会社一剛組
岩井コスモ証券株式会社
岩谷産業株式会社
宇仁繊維株式会社
株式会社エス&ケイ
株式会社 NP・ネクスト
株式会社江見工業所
MDM 合同会社
医療法人社団大路外科医院
株式会社大地農園
小田尚子
小野産業システム株式会社
株式会社オプテックスホールディングス
株式会社楠野工務店
金井重要工業株式会社
株式会社兼廣
株式会社がまかつ
株式会社上組
川崎青果株式会社
公益財団法人木口福祉財団
共栄電器工業株式会社
株式会社共進牧場
協同建設株式会社
近畿防蝕株式会社
近畿ロジスティクス株式会社
近鉄グループホールディングス株式会社
株式会社國森
倉敷紡績株式会社
クリーンテックサービス関西株式会社
株式会社クレ・ドゥ・レーブ
株式会社クロス
小泉製麻株式会社
公益財団法人甲南会 甲南医療センター
神戸ウエストライオンズクラブ
神戸キウニスクラブ
神戸甲南ライオンズクラブ
神戸工販株式会社
一般社団法人神戸市医師会
神戸市会議員待遇者会
株式会社神戸新聞社
株式会社神戸新聞輸送センター
神戸須磨ライオンズクラブ
神戸長田ライオンズクラブ
神戸灘ライオンズクラブ
神戸ハーバーランド株式会社
神戸兵庫シティライオンズクラブ
神戸葺合ライオンズクラブ
神戸(ホスト)ライオンズクラブ
神戸ユネスコ協会

株式会社神戸洋行
弘由ロジスティクス株式会社
株式会社コスモ機器
株式会社コベルコ E&M
株式会社コムエンス
ゴンチャロフ株式会社
一般社団法人在日韓国商工会議所兵庫
一般社団法人在日韓国商工会議所兵庫 会長 趙珉一
株式会社サンエム
株式会社三協工務店
株式会社サンコートレーディング
サンタサーロ&ステリ-プロソリューション株式会社
株式会社サンテック
山陽色素株式会社
山陽電気鉄道株式会社
株式会社シィメス
ジーワン株式会社
株式会社ジェイテック
塩野義製薬株式会社
株式会社システムリサーチ
品川水産株式会社
株式会社島田商会
株式会社シマプンコーポレーション
株式会社ジャバラ
株式会社 Japan Flower Trading
株式会社昭和組
昭和精機株式会社
神栄株式会社
株式会社シンエンタープライズ
神姫警備保障株式会社
伸光化成株式会社
シンコースポーツ株式会社
新電機工業株式会社
角南商事株式会社
住友電気工業株式会社
株式会社ソネック
第一ゴルフ株式会社
第一生命保険株式会社
ダイキン工業株式会社
大広興業株式会社
株式会社大成スポーツ施設
株式会社大丸松坂屋百貨店 大丸神戸店
株式会社大洋
太陽工業株式会社
高井電機株式会社
田嶋株式会社
中央自動車工業株式会社
TB 播州電装株式会社
株式会社ディレクト
株式会社テクノアソシエ
東亜外業株式会社
東亜機械工業株式会社
常盤電機株式会社
永井鋼業株式会社
中嶋石油株式会社
長瀬産業株式会社
株式会社中の坊
株式会社なごみ神戸店

株式会社 NAN
西日本電信電話株式会社
日仏商事株式会社
株式会社日本投資事業団(カーネルグループ)
株式会社ネオス
株式会社ノザワ
白鶴酒造株式会社
株式会社服部
パナソニック ホールディングス株式会社
ハニー化成株式会社
はまの医院
原田工業株式会社
阪急電鉄株式会社
播州商運倉庫株式会社
阪神金物株式会社
バンドー化学株式会社
播備株式会社
姫路鋼管株式会社
株式会社姫路生花卸売市場
株式会社ヒメトサービス
兵庫韓国青年商工会
廣内工業株式会社
廣本産業株式会社
株式会社ファルコホールディングス
株式会社フォビス
医療法人社団福島神経科クリニック
株式会社福谷建設
富士グループ株式会社
株式会社藤製作所
双葉電線株式会社
細見化成株式会社
株式会社ポトマック
株式会社堀場製作所
マスイ耳鼻咽喉科
松垣薬品工業株式会社
松成鉄工株式会社
マリンコンコード株式会社
マリンスター株式会社
株式会社マリンホーム
丸大食品株式会社
溝口建設株式会社
三井住友信託銀行株式会社
三ツ星ベルト株式会社
港建設株式会社
株式会社みの屋
モロゾフ株式会社
保井金属株式会社
八幡建設株式会社
山崎産業株式会社
株式会社山崎シャーリング
株式会社ヤマシタワークス
株式会社ユーシステム
株式会社有電社
株式会社米田電気商会
株式会社ライフィノベーション
レンゴー株式会社
株式会社 YK 商会

※ 2024年4月30日時点
※ 企業版ふるさと納税を活用しONEクラス応援制度に支援いただいた企業を含む

開会式

5月17日、晴れやかな空のもと、秋篠宮皇嗣同妃両殿下の御臨席を賜り、開会式が執り行われた。

- 国歌独唱
- フラッグパレード
- 関係者挨拶
- 秋篠宮皇嗣殿下のお言葉
- 開会宣言
- 選手・審判・コーチ宣誓
- 歓迎演技



神戸出身の全盲の音楽家 時田直也氏の国歌独唱



各国・地域の代表によるフラッグパレード。プラカードの先導役は西落合中学校の生徒の皆さん





増田明美 大会組織委員会会長の挨拶



久元喜造 神戸市長の開会宣言



ポール・フィッツジェラルド 世界パラ陸上競技連盟代表の挨拶



齋藤元彦 兵庫県知事の開催県代表挨拶



選手・審判・コーチ 代表宣誓



福永凌太選手の選手宣誓



歓迎演技
和太鼓奏者 木村優一氏、須磨翔風高等学校和太鼓部による和太鼓演奏
車いすダンサー かんばらけんた氏、ダンスチーム N'ism、神戸野田高等学校ダンス部によるダンス

The Championship Day 1

17 May, 2024

競技 1日目
2024年5月17日

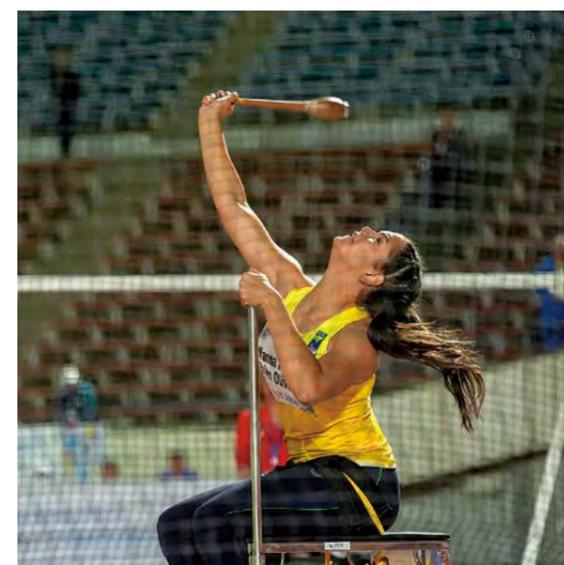


大会1日目 スケジュール

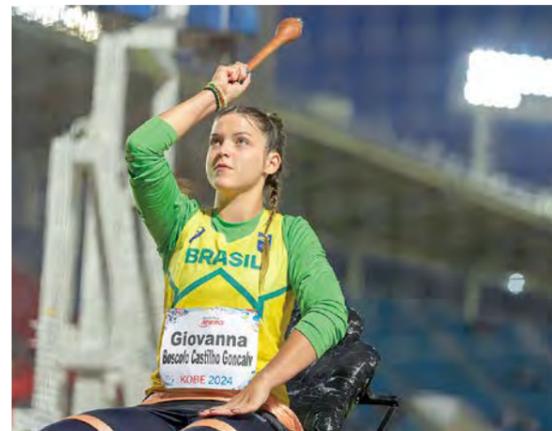
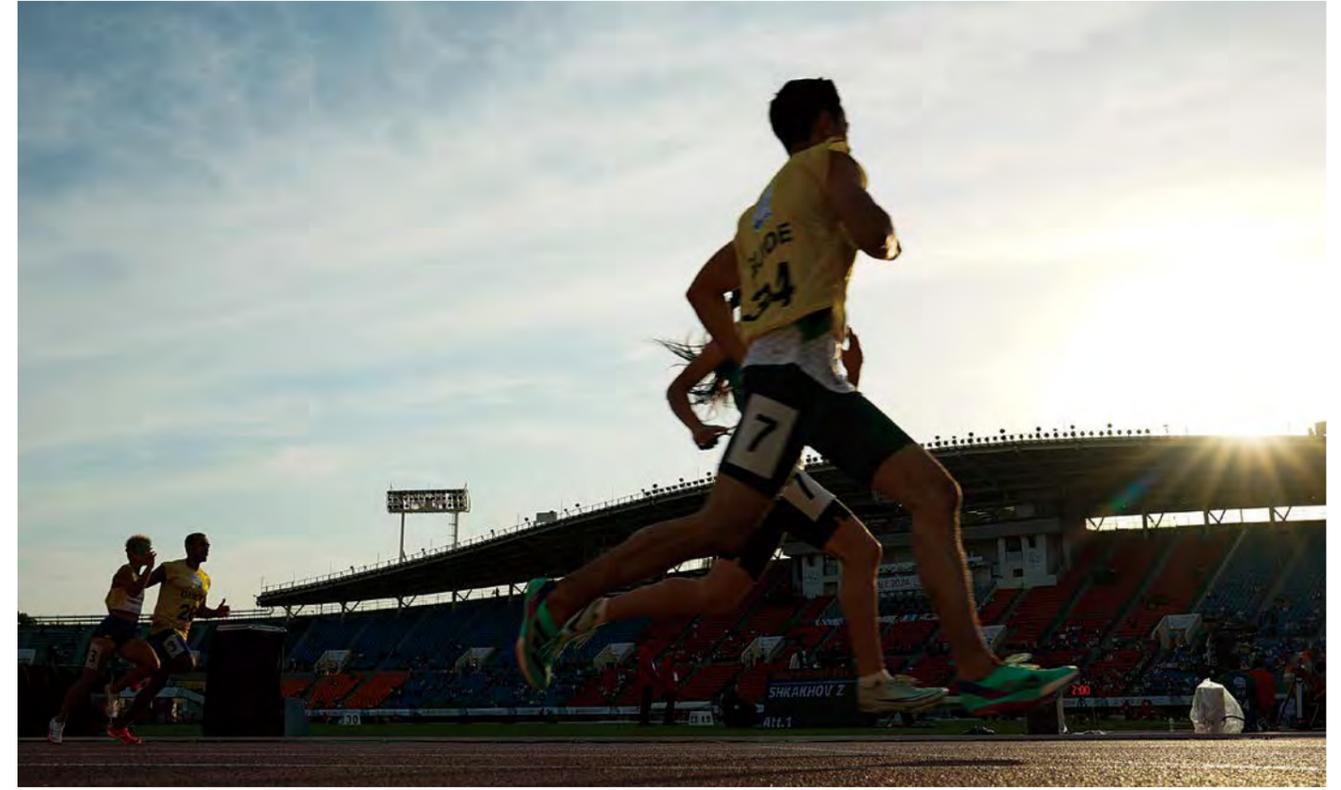
性別	種目	資格クラス	ラウンド
女	円盤投 F55	F54, F55	決勝
男	やり投 F57	F55, F56, F57	予備予選
女	走幅跳 T20	T20	決勝
男	5000m T11	T11	決勝
男	100m T47	T45, T46, T47	予選
男	100m T12	T12	予選
女	砲丸投 F41	F41	決勝
女	1500m T11	T11	予選
女	円盤投 F57	F56, F57	予備予選
男	100m T72	T72	決勝
女	100m T72	T72	決勝

※障がいの種類、およびクラス分けの詳細は
JPA日本パラ陸上競技連盟のホームページ参照

性別	種目	資格クラス	ラウンド
女	こん棒投 F32	F31, F32	決勝
男	走幅跳 T11	T11	決勝
男	砲丸投 F55	F54, F55	決勝
女	400m T11	T11	予選
男	砲丸投 F37	F37	決勝
男	100m T38	T38	予選
男	100m T37	T37	予選
男	走幅跳 T47	T45, T46, T47	予備予選
男	100m T12	T12	準決勝
女	やり投 F46	F45, F46	決勝
男	100m T47	T45, T46, T47	決勝
女	400m T37	T37	決勝



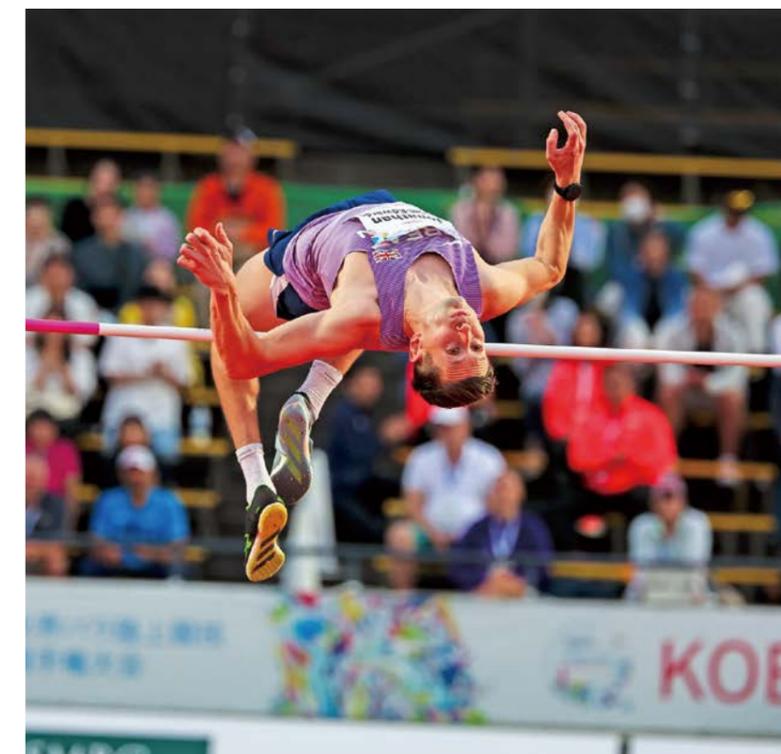




The Championship Day 2

18 May, 2024

競技 2日目
2024年5月18日



大会2日目 スケジュール

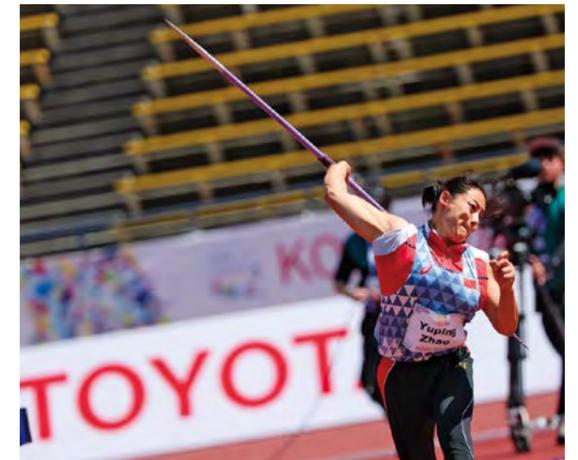
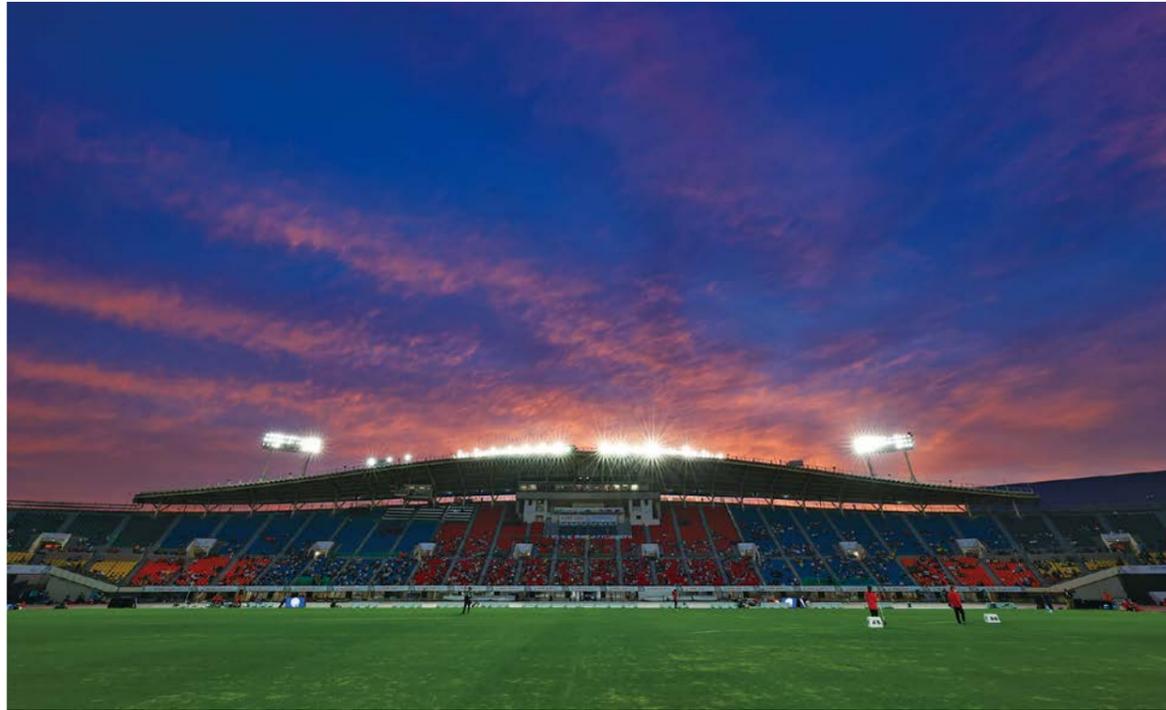
性別	種目	資格クラス	ラウンド
女	円盤投 F57	F56, F57	決勝
女	やり投 F13	F12, F13	決勝
男	400m T36	T36	予選
女	1500m T13	T12, T13	決勝
女	1500m T11	T11	決勝
男	砲丸投 F12	F12	決勝
男	400m T11	T11	予選
女	走幅跳 T37	T37	決勝
女	100m T38	T38	予選
女	5000m T54	T53, T54	決勝

性別	種目	資格クラス	ラウンド
男	やり投 F57	F55, F56, F57	決勝
男	走幅跳 T47	T45, T46, T47	決勝
男	こん棒投 F32	F31, F32	決勝
女	100m T47	T45, T46, T47	予選
女	100m T13	T13	決勝
男	100m T12	T12	決勝
男	走高跳 T64	T44, T64	決勝
男	100m T37	T37	決勝
男	100m T38	T38	決勝
女	砲丸投 F37	F37	決勝
女	200m T35	T35	予選
男	5000m T54	T53, T54	決勝
男	5000m T13	T12, T13	決勝



※障がいの種類、およびクラス分けの詳細は
JPA日本パラ陸上競技連盟のホームページ参照

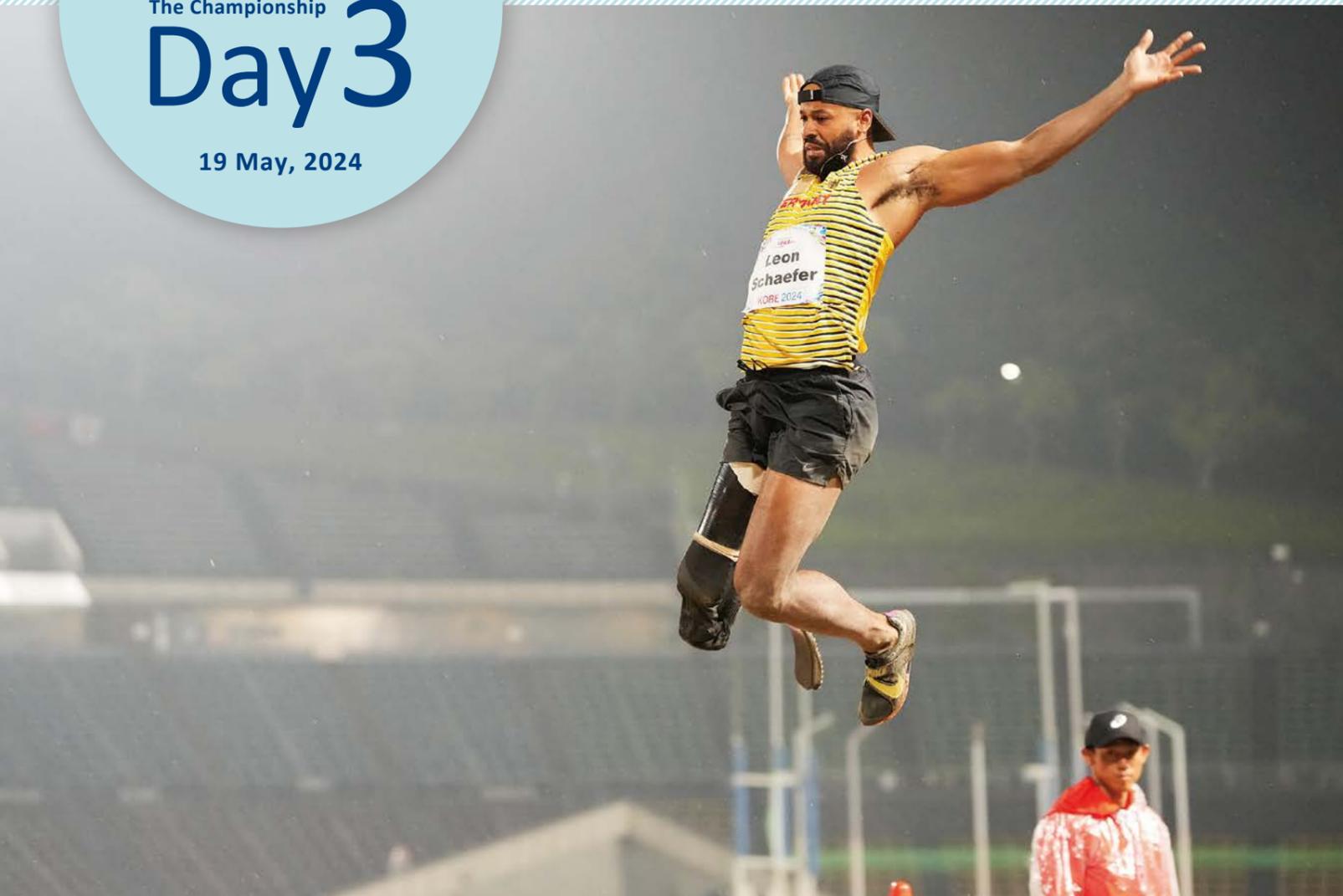




The Championship Day 3

19 May, 2024

競技 3日目
2024年5月19日



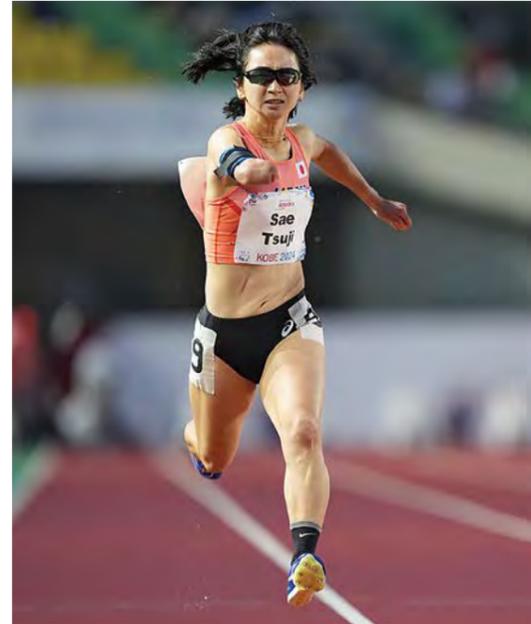
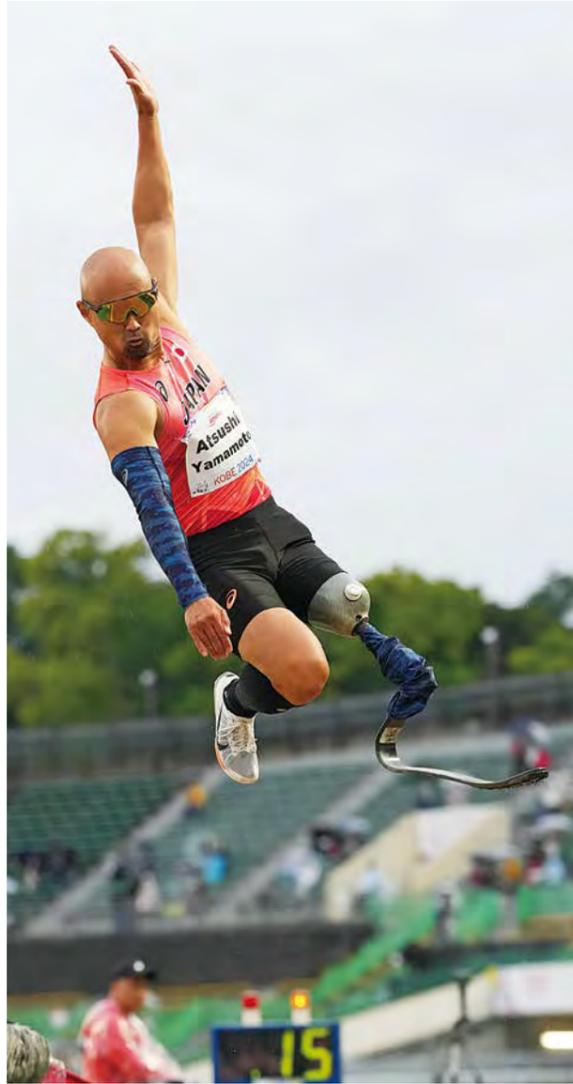
大会3日目 スケジュール

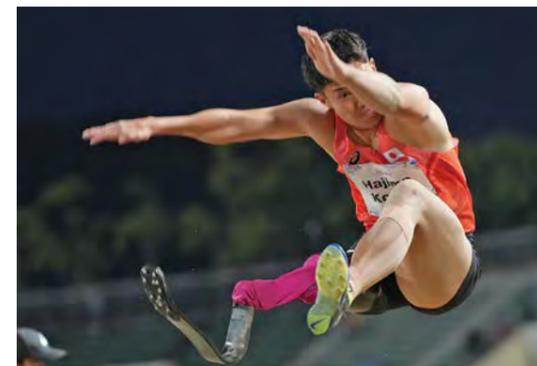
性別	種目	資格クラス	ラウンド
セッション5	女 走幅跳	T12	決勝
	男 砲丸投	F53	決勝
	男 1500m	T11	予選
	女 400m	T20	予選
	男 砲丸投	F40	決勝
	女 円盤投	F43, F44, F62, F64	決勝
	男 100m	T13	予選
	女 800m	T54	予選
	男 400m	T36	決勝
	男 400m	T11	決勝

性別	種目	資格クラス	ラウンド
セッション6	女 やり投	F33, F34	決勝
	女 800m	T53	決勝
	女 800m	T54	決勝
	男 円盤投	F51, F52	決勝
	男 400m	T34	決勝
	女 400m	T11	決勝
	男 走高跳	T45, T46, T47	決勝
	男 100m	T64	予選
	男 走幅跳	T63	決勝
	女 砲丸投	F20	決勝
	男 400m	T53	決勝
	男 400m	T54	予選
	女 100m	T47	決勝
	女 100m	T38	決勝
女 200m	T35	決勝	



※障がいの種類、およびクラス分けの詳細は
JPA日本パラ陸上競技連盟のホームページ参照







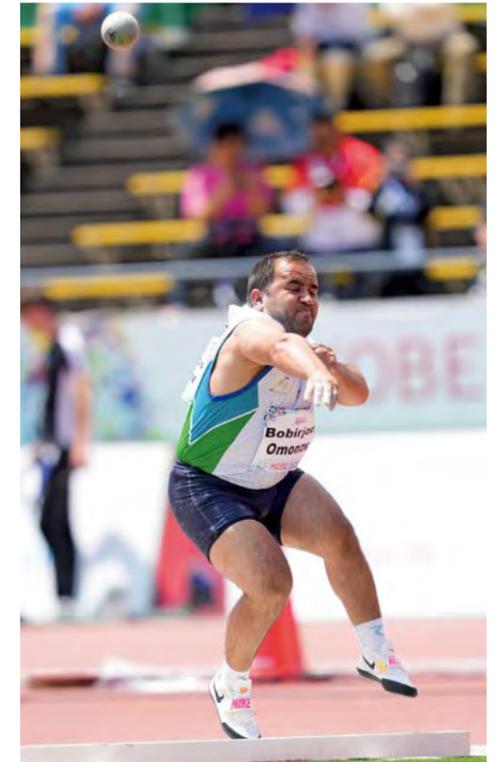
大会4日目 スケジュール

性別	種目	資格クラス	ラウンド
男	円盤投 F56	F54, F55, F56	決勝
女	砲丸投 F54	F53, F54	決勝
男	1500m T11	T11	決勝
男	200m T37	T37	予選
男	100m T44	T43, T44	予選
女	やり投 F56	F55, F56	予備予選
女	100m T11	T11	予選
男	走幅跳 T12	T12	決勝
女	100m T11	T11	予選
男	砲丸投 F41	F41	決勝
女	100m T37	T37	予選
女	400m T20	T20	決勝
男	400m T54	T54	決勝

性別	種目	資格クラス	ラウンド
女	走幅跳 T64	T43, T44, T62, T64	決勝
女	円盤投 F53	F51, F52, F53	決勝
女	砲丸投 F34	F34	決勝
男	400m T52	T51, T52	予選
男	砲丸投 F11	F11	決勝
男	100m T13	T13	決勝
男	200m T35	T35	決勝
女	200m T13	T13	決勝
男	200m T37	T37	決勝
男	やり投 F38	F38	決勝
女	400m T12	T12	予選
女	100m T36	T36	決勝
男	100m T44	T43, T44	決勝
男	100m T64	T62, T64	決勝

※障がいの種類、およびクラス分けの詳細は
JPA日本パラ陸上競技連盟のホームページ参照









大会5日目 スケジュール

性別	種目	資格クラス	ラウンド
女	やり投 F56	F55, F56	決勝
男	走幅跳 T13	T13	決勝
男	1500m T54	T53, T54	予選
男	1500m T13	T12, T13	決勝
女	400m T47	T45, T46, T47	予選
女	こん棒投 F51	F51	決勝
男	100m T34	T34	予選
女	100m T37	T37	決勝
女	100m T34	T33, T34	予選
男	砲丸投 F36	F36	決勝
男	400m T37	T37	予選
女	1500m T54	T53, T54	決勝
男	砲丸投 F32	F32	決勝

セッション 9

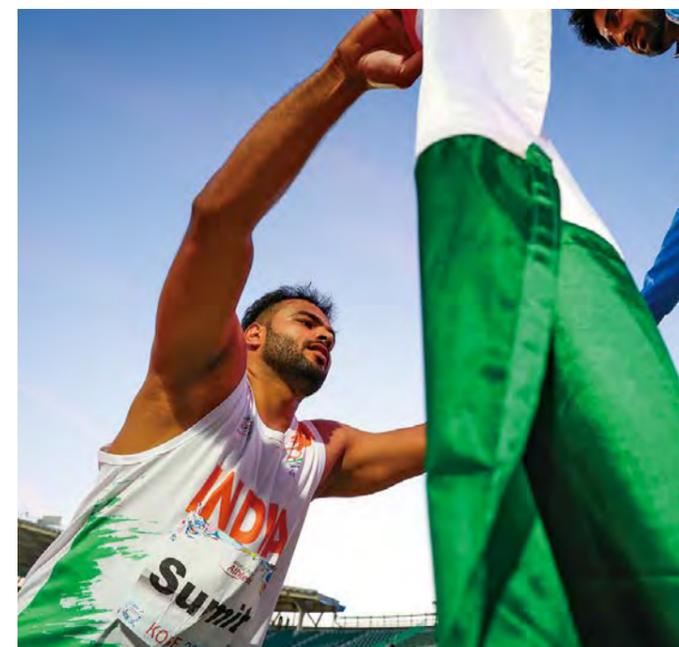
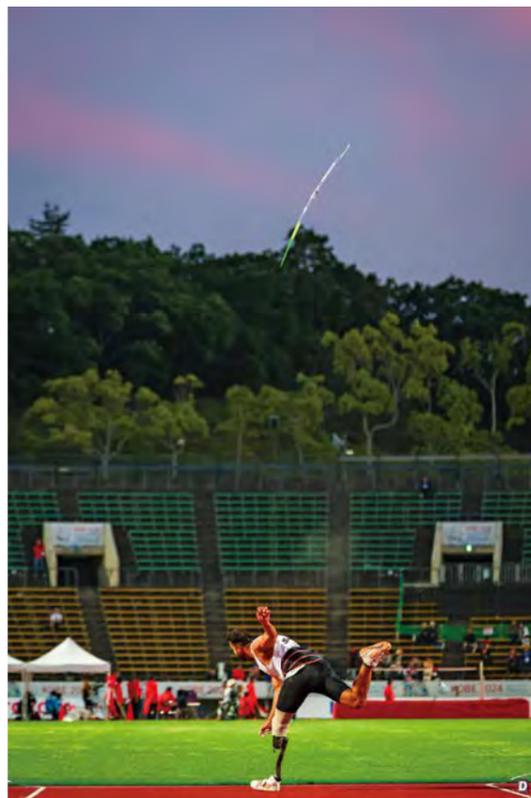
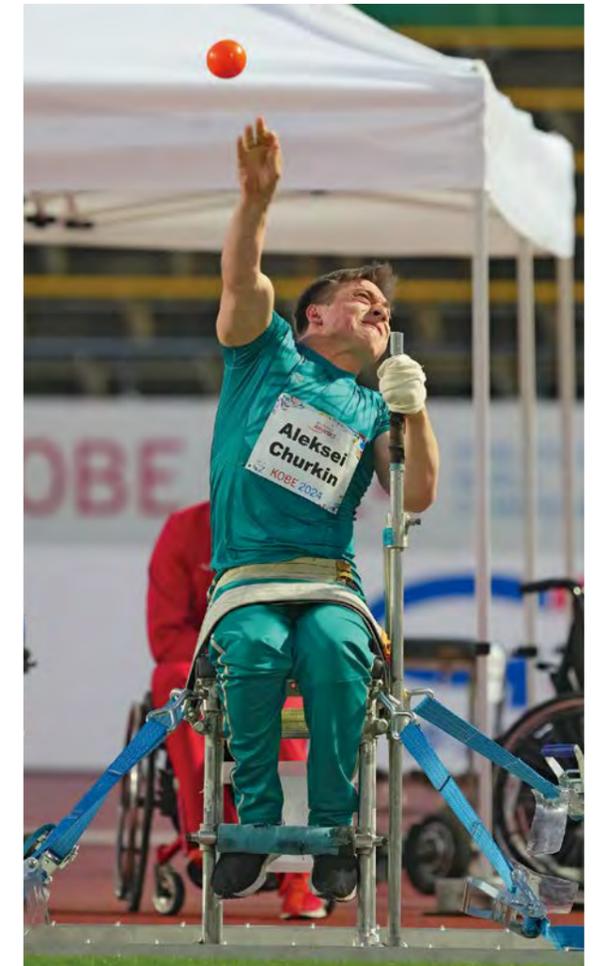
性別	種目	資格クラス	ラウンド
女	走幅跳 T38	T36, T38	決勝
男	砲丸投 F20	F20	決勝
男	400m T12	T12	予選
男	砲丸投 F32	F32	決勝
男	400m T12	T12	予選
男	400m T52	T51, T52	決勝
女	100m T34	T33, T34	決勝
男	100m T34	T34	決勝
男	やり投 F64	F42, F43, F44, F61, F62, F63, F64	決勝
女	400m T12	T12	決勝
男	走高跳 T63	T42, T63	決勝
男	400m T38	T35, T38	決勝
男	400m T47	T45, T46, T47	予選
女	100m T11	T11	決勝
女	100m T63	T42, T63	決勝
女	100m T64	T43, T44, T62, T64	決勝

セッション 10



※障がいの種類、およびクラス分けの詳細は JPA日本パラ陸上競技連盟のホームページ参照

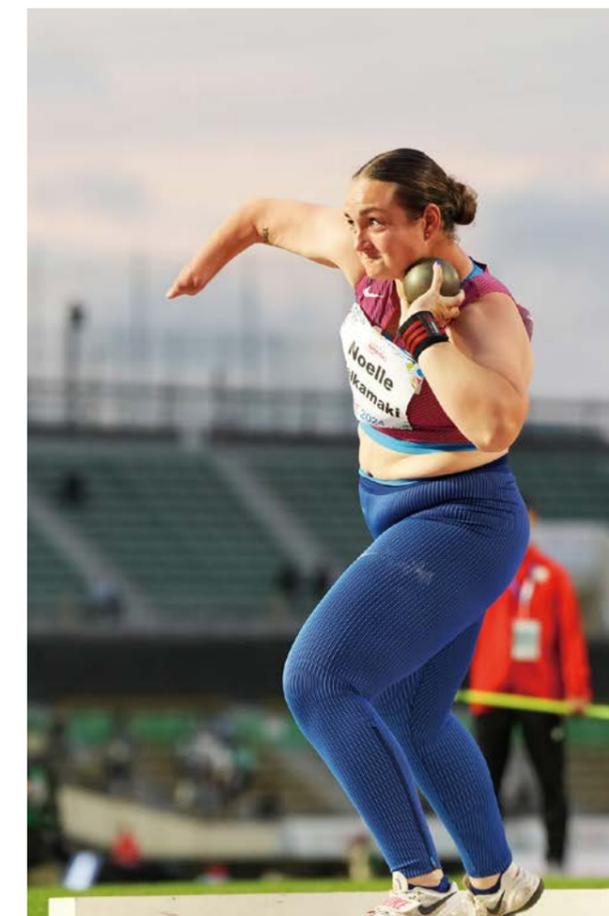




The Championship Day 6

22 May, 2024

競技 6日目
2024年5月22日

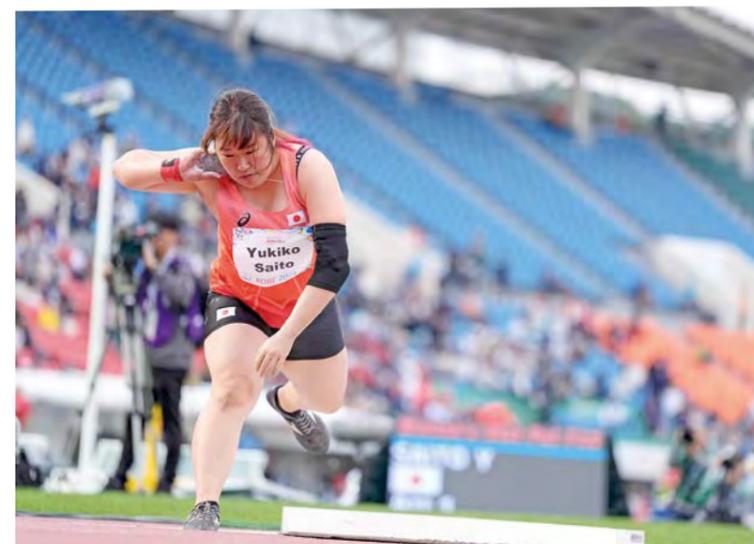


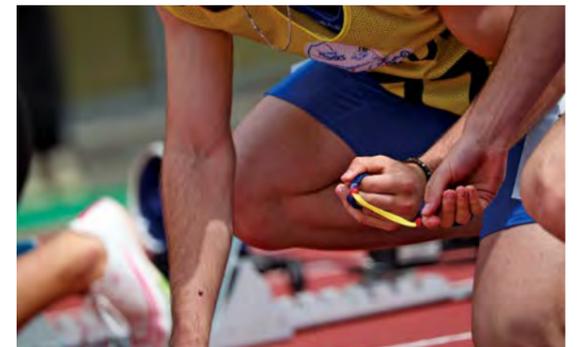
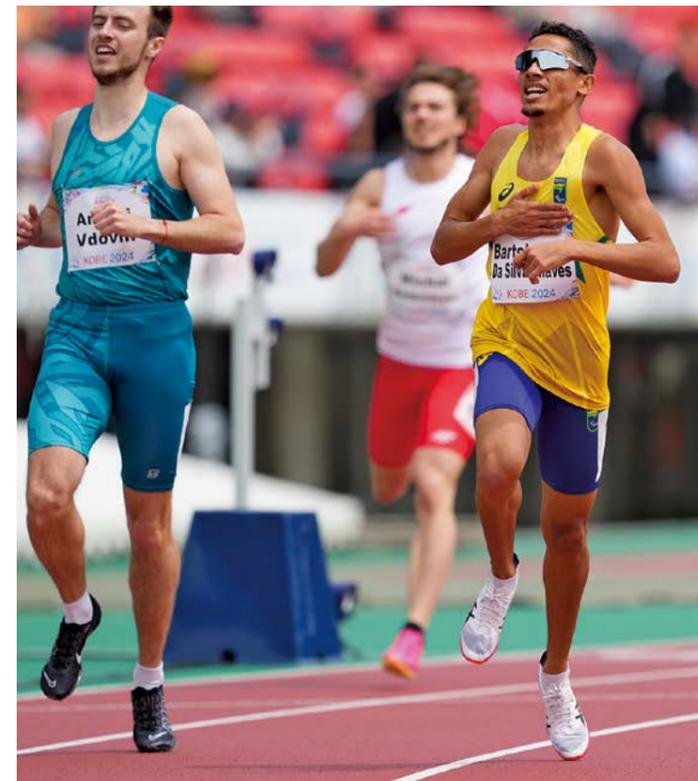
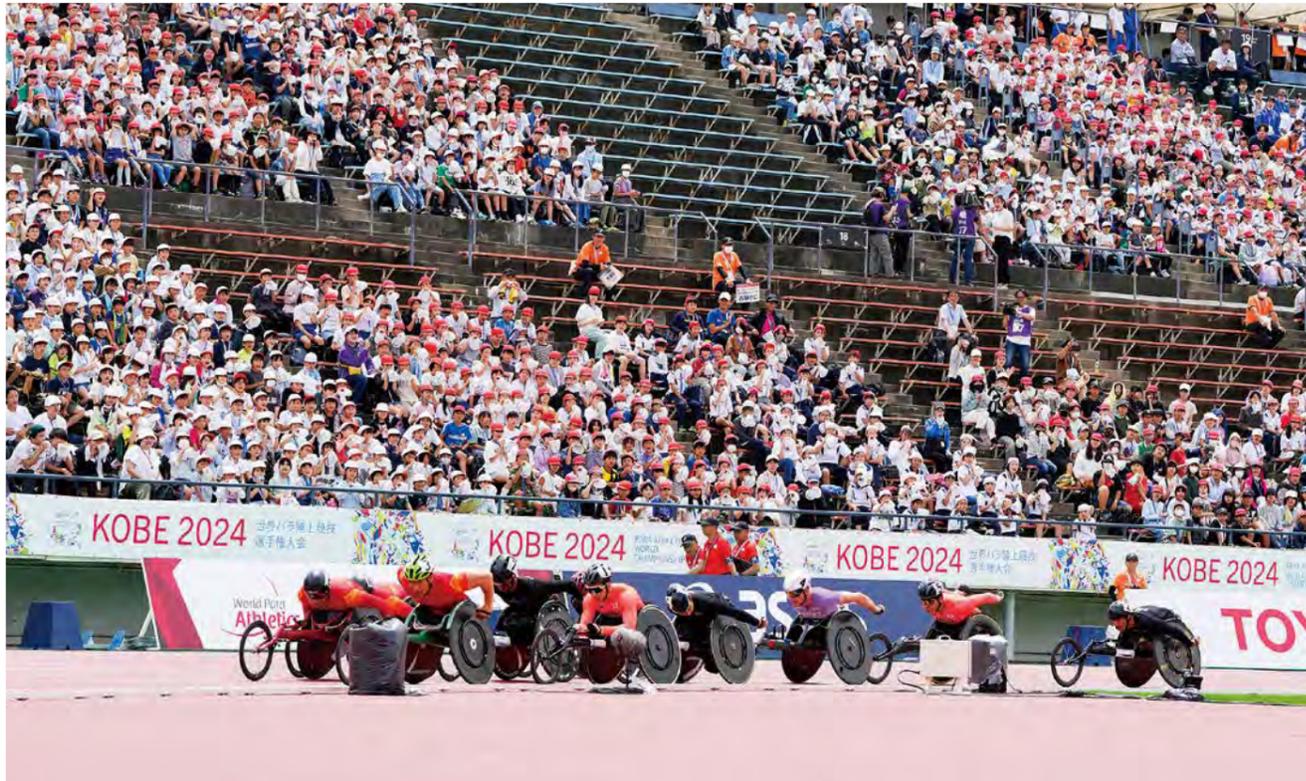
大会6日目 スケジュール

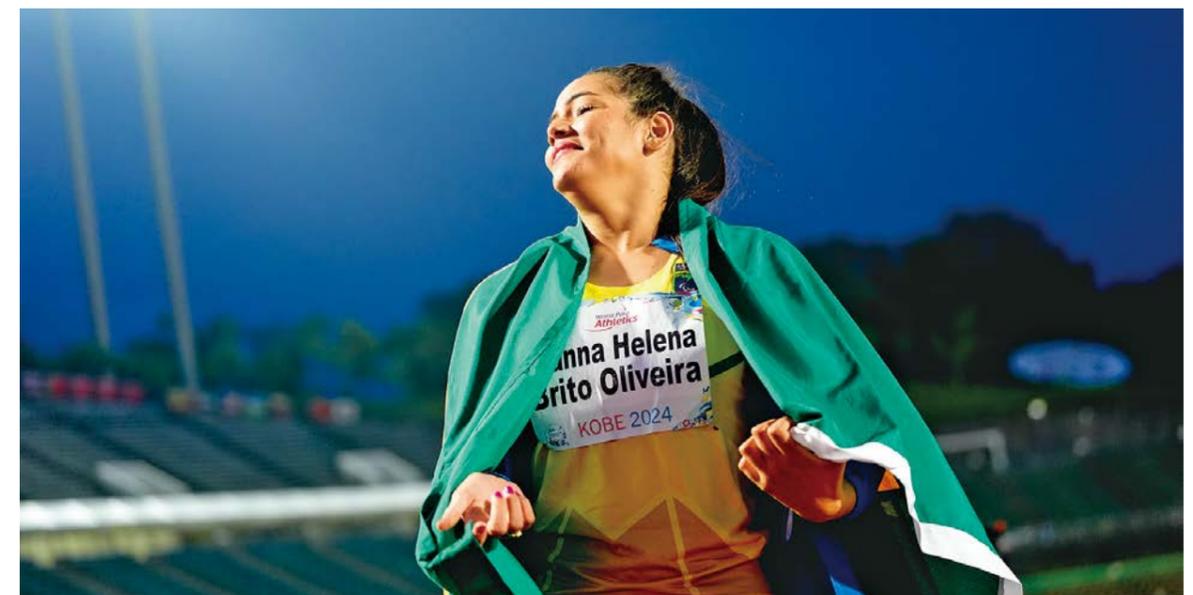
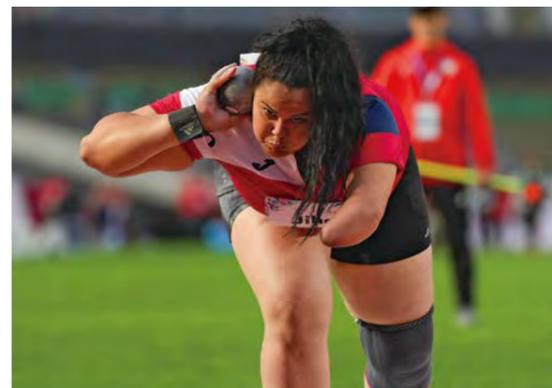
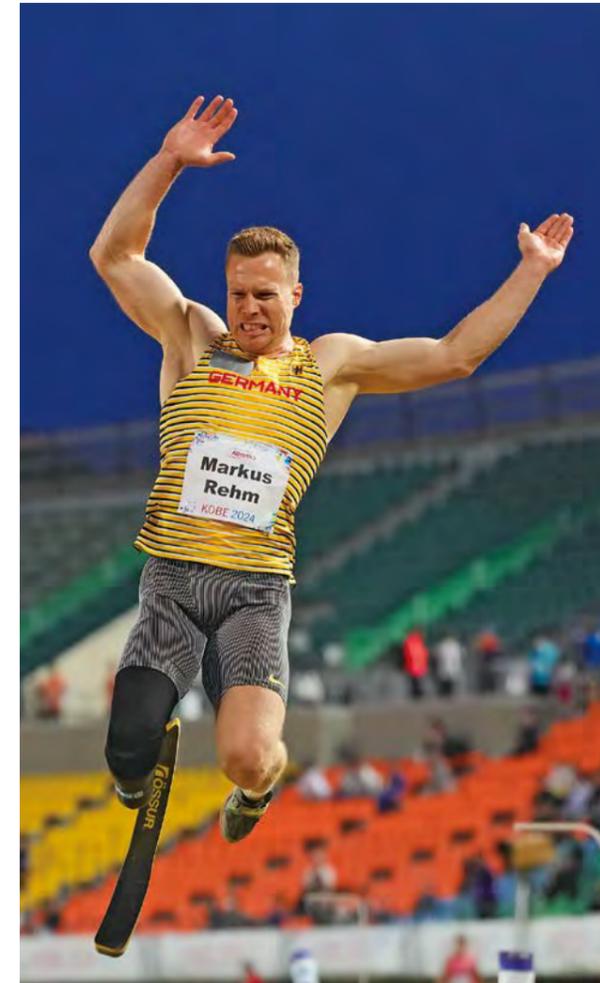
性別	種目	資格クラス	ラウンド
男	やり投 F34	F33, F34	決勝
女	円盤投 F41	F40, F41	決勝
男	100m T11	T11	予選
男	走幅跳 T38	T35, T38	決勝
女	400m T47	T45, T46, T47	決勝
男	400m T37	T37	決勝
男	100m T36	T36	予選
男	砲丸投 F46	F45, F46	決勝
女	100m	T54	予選
男	1500m T54	T53, T54	決勝

性別	種目	資格クラス	ラウンド
女	砲丸投 F32	F32	決勝
男	こん棒投 F51	F51	決勝
女	100m T53	T51, T52, T53	決勝
女	100m T54	T54	決勝
男	400m T13	T13	予選
女	砲丸投 F46	F45, F46	決勝
男	400m T20	T20	予選
男	400m T47	T45, T46, T47	決勝
男	走幅跳 T64	T43, T44, T62, T64	決勝
女	100m T12	T12	予選
男	100m T53	T53	決勝
女	200m T38	T38	決勝
女	1500m T20	T20	決勝

※障がいの種類、およびクラス分けの詳細は
JPA日本パラ陸上競技連盟のホームページ参照









大会7日目 スケジュール

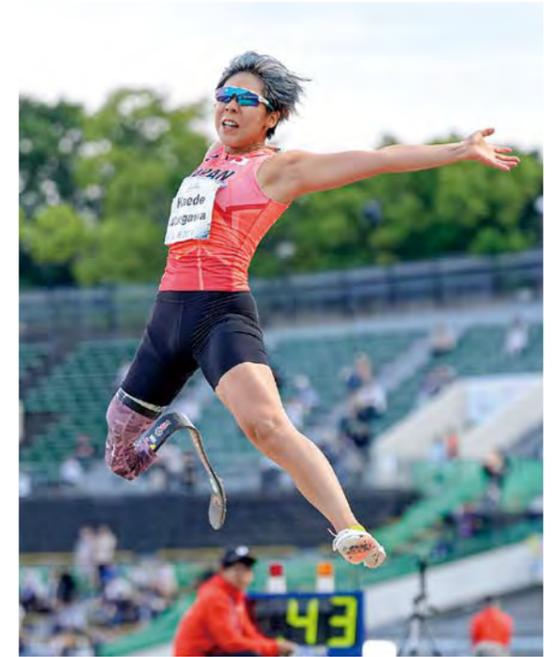
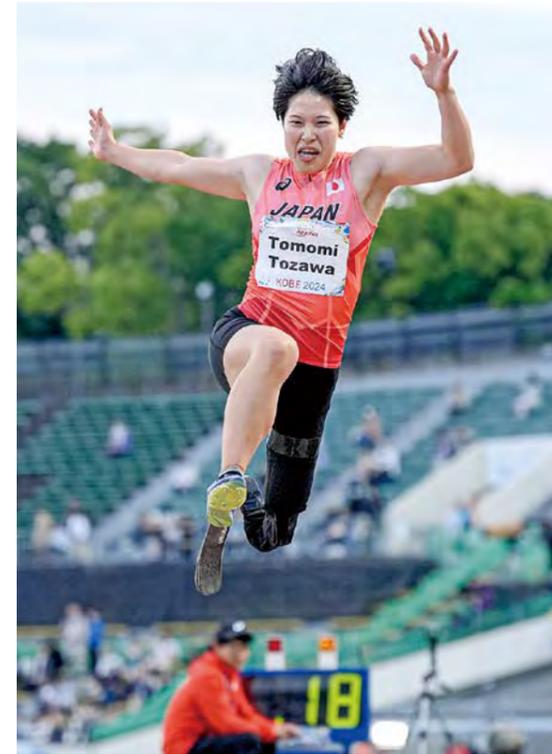
性別	種目	資格クラス	ラウンド
女	砲丸投 F57	F55, F56, F57	決勝
男	走幅跳 T37	T37	決勝
女	800m T34	T33, T34	予選
女	砲丸投 F64	F42, F43, F44, F61, F62, F63, F64	決勝
男	円盤投 F11	F11	決勝
女	200m T11	T11	予選
女	砲丸投 F35	F35	決勝
男	100m T36	T36	決勝
女	400m T54	T54	予選
女	400m T38	T36, T38	予選

性別	種目	資格クラス	ラウンド
女	砲丸投 F33	F33	決勝
男	円盤投 F64	F43, F44, F62, F64	決勝
男	100m T11	T11	決勝
女	100m T12	T12	決勝
男	100m T54	T54	予選
男	砲丸投 F35	F35	決勝
女	200m T36	T36	決勝
男	400m T20	T20	決勝
男	400m T12	T12	決勝
男	やり投 F13	F12, F13	決勝
男	400m T13	T13	決勝
女	走幅跳 T63	T42, T61, T63	決勝
男	800m T53	T51, T52, T53	決勝
男	100m T52	T52	予選
男	100m T54	T54	決勝
女	400m T53	T51, T52, T53	決勝
女	400m T54	T54	決勝

※障がいの種類、およびクラス分けの詳細は
JPA日本パラ陸上競技連盟のホームページ参照









大会8日目 スケジュール

性別	種目	資格クラス	ラウンド
男	やり投 F54	F52, F53, F54	決勝
女	砲丸投 F12	F11, F12	決勝
男	1500m T20	T20	決勝
男	200m T64	T44, T64	予選
女	200m T11	T11	準決勝
女	やり投 F54	F52, F53, F54	決勝
男女	ユニバーサル 4x100mリレー	T10,30,40,50,60	予選
女	走幅跳 T47	T45, T46, T47	決勝
男	砲丸投 F34	F34	予備予選
男	100m T52	T52	決勝
女	400m T13	T13	予選
男	800m T34	T33, T34	予選

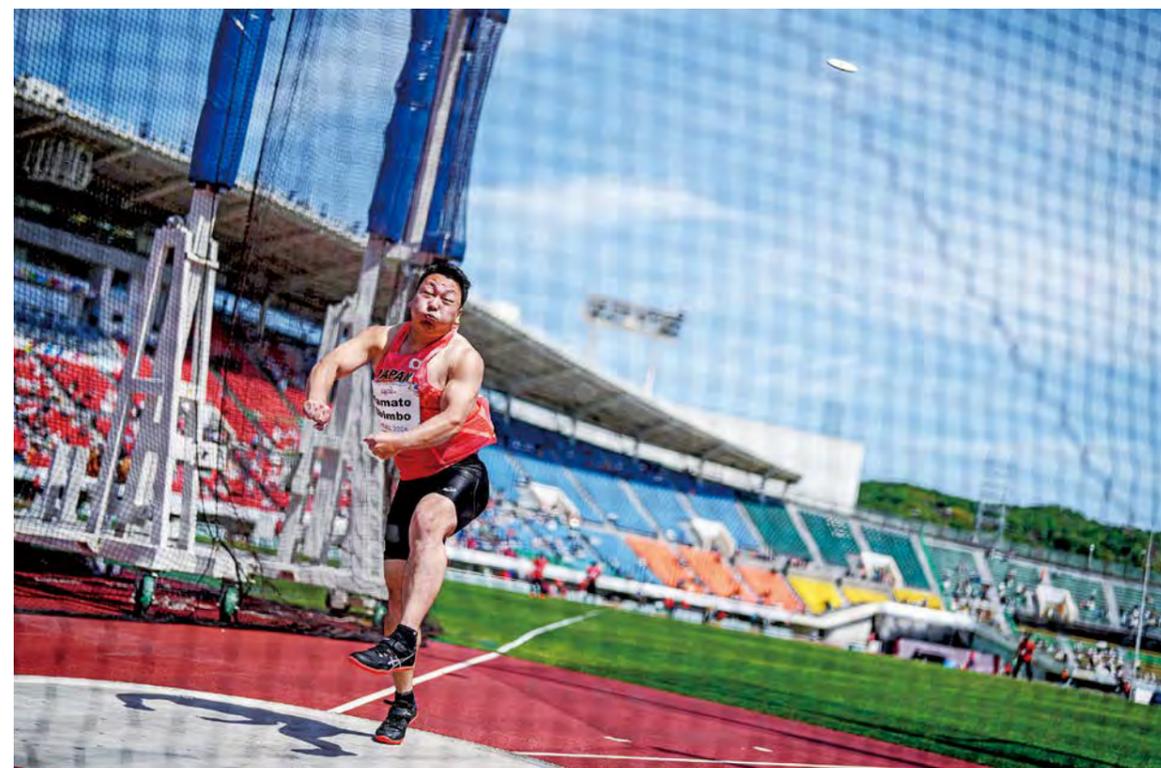
性別	種目	資格クラス	ラウンド
男	砲丸投 F57	F56, F57	決勝
女	円盤投 F11	F11	決勝
女	走幅跳 T11	T11	決勝
男	1500m T46	T45, T46	決勝
女	200m T12	T12	予選
男	砲丸投 F38	F38	決勝
女	200m T12	T12	予選
男	100m T35	T35	決勝
男	100m T51	T51	決勝
男	やり投 F46	F45, F46	決勝
女	800m T34	T33, T34	決勝
男	800m T54	T54	予選
男女	ユニバーサル 4x100mリレー	T10,30,40,50,60	決勝

※障がいの種類、およびクラス分けの詳細は
JPA日本パラ陸上競技連盟のホームページ参照









大会9日目 スケジュール

性別	種目	資格クラス	ラウンド
男	砲丸投 F34	F34	決勝
男	走幅跳 T20	T20	決勝
女	200m T12	T12	準決勝
男	円盤投 F37	F37	決勝
女	200m T37	T37	予選
女	砲丸投 F40	F40	決勝
男	1500m T52	T51, T52	決勝
女	200m T47	T45, T46, T47	予選
男	100m T63	T42, T63	予選
男	走幅跳 T36	T36	決勝
女	100m T35	T35	予選
男	800m T34	T33, T34	決勝

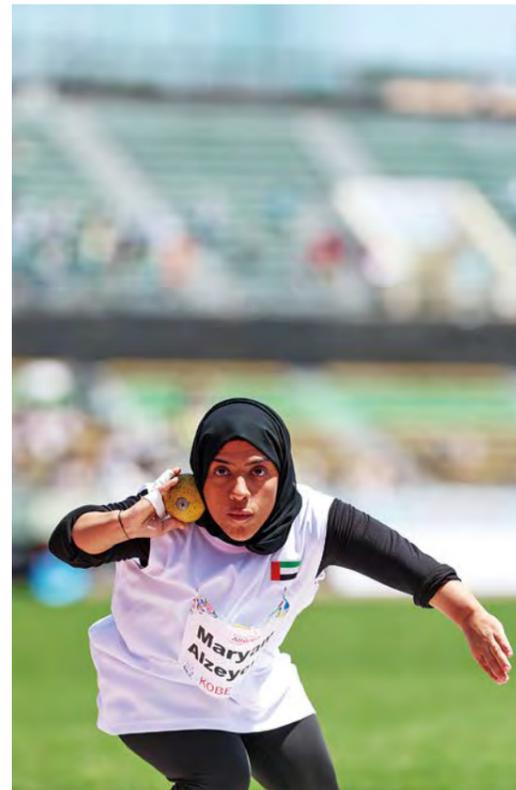
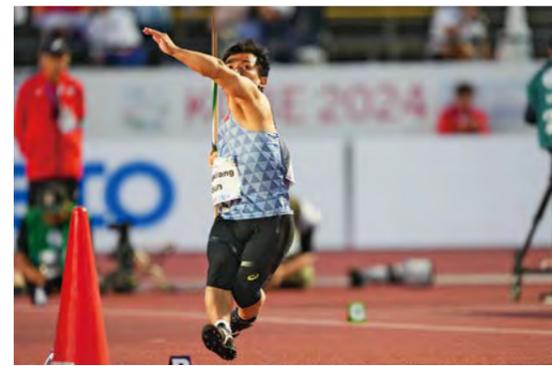
セッション
17

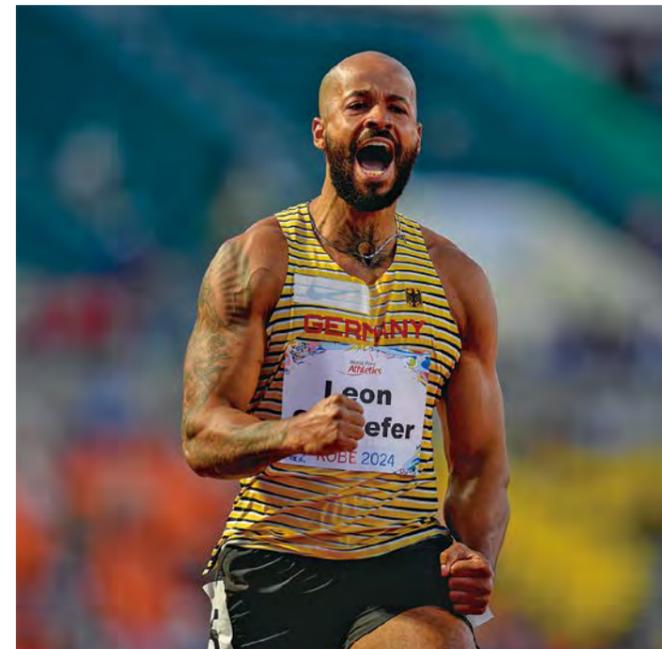
性別	種目	資格クラス	ラウンド
女	円盤投 F38	F37, F38	決勝
男	砲丸投 F33	F33	決勝
女	200m T11	T11	決勝
女	200m T12	T12	決勝
男	200m T51	T51	決勝
男	砲丸投 F63	F42, F61, F63	決勝
女	200m T37	T37	決勝
女	200m T47	T45, T46, T47	決勝
男	1500m T38	T37, T38	決勝
男	400m T62	T43, T62	決勝
女	400m T13	T13	決勝
男	やり投 F41	F40, F41	決勝
女	400m T38	T36, T38	決勝
男	800m T54	T54	決勝
女	100m T35	T35	決勝
男	100m T63	T42, T63	決勝
女	200m T64	T44, T64	決勝
男	200m T64	T44, T64	決勝

セッション
18



※障がいの種類、およびクラス分けの詳細は
JPA日本パラ陸上競技連盟のホームページ参照





閉会式

5月25日、競技終了し、増田明美大会組織委員会会長とデュエイン・ケイル国際パラリンピック委員会副会長の閉会挨拶の後、神戸市婦人団体協議会による感謝の踊りが披露され、最後は選手団や大会スタッフも加わり、交流の輪が広がった。

デュエイン・ケイル国際パラリンピック委員会副会長の挨拶



神戸市婦人団体協議会による感謝の踊り



増田明美大会組織委員会会長の挨拶



表彰式

表彰ステージを競技場外の自由に観覧できるエリアに設置することで、多くの観客がメダリストを間近で祝福。



大会ロゴをデザインしたメダルと記念品のフォトフレーム

歓迎レセプション

5月16日に秋篠宮皇嗣同妃両殿下の御臨席を賜り、歓迎レセプションが執り行われた。



能楽師 善竹隆司氏による狂言之舞「三番三」



室伏広治 スポーツ庁長官



盛山正仁 文部科学大臣の挨拶



ポール・フィッツジェラルド 世界パラ陸上競技連盟代表の挨拶



大会前日

5月16日、国内外の報道陣を対象に、
メディアカンファレンスとメディアツアーを実施した。

メディアカンファレンス



子ども記者が取材



メディアツアー



竹中大工道具館を見学



菊正宗酒造記念館を見学



神戸牛を堪能



日本三大神滝の一つとされる名瀑「布引の滝」を見学



イベント

大会の認知拡大と機運醸成を図り、多くの観客に
来場いただくため様々なイベントを実施した。

開幕1年前イベント・神戸まつり



開幕1年前記念パラアスリート写真展(東遊園地)

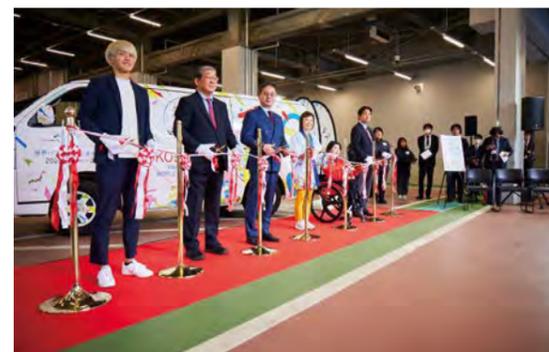


開幕200日前セレモニー(サンキタ広場)



大会メダル・記念品のデザイン発表

全国キャラバン「スマレゾカー」出発式(国立競技場)



開幕200日前記念イベント



開幕100日前記念イベント



開幕100日前セレモニー&スマレゾカー凱旋イベント



神戸で世界を体感せよ！開幕100日前イベント(三宮センター街)



(こども本の森 神戸)



ストリート陸上



開幕20日前ステージ&体験イベント(旧居留地)



大会アンバサダーによるPR



大会スペシャルサポーターによるPR



パラスリートトークイベント(東京丸の内)



(東遊園地)



大会サポーターによるPR



体験型PRイベント



パリ2023大会PRブース



全国キャラバン「スマレゾキャンペーン」



パラレゾ for School



パラレゾ for Community



応援メッセージ



子ども記者



メディアアレース



地元大学生企画プロジェクトマッピング



地元大学生による学園祭でのPR



ゆるキャラレース



増田明美会長と一緒に応援企画



PR隊長三津家貴也氏ブラインドラン挑戦企画



地元大学生・留学生企画オリジナル弁当開発・販売



左:兵庫・神戸の美味しいものが詰まった「兵庫・神戸の和の香りお弁当」
右:世界各国の料理が詰まった「ウイアーザ輪ルド弁当」

地元高校生によるドローン空撮





観戦風景

9日間で、約84,000人が観戦。
学校観戦会では、129校、約28,000人が観戦。



学校観戦会



交流



17時に開始するイブニングセッション



場外風景



大会公式オリジナルグッズの販売



大会公式オリジナルグッズ



弁当等の販売



メダルや記念品(フォトフレーム)の展示



大会PRのため全国キャラバンした「スマレゾカー」の展示



移動型モバイルトイレ



神戸市と兵庫県のPRブース



燃料電池車による電力供給



チケット販売ブース



キッチンカーの出店

スポンサーブース



株式会社アシックスブースでは、競技用車いす(レーサー)の体験を実施



川崎重工業株式会社ブース



株式会社神戸製鋼所ブース



トヨタ自動車株式会社ブースでは、アクセルとブレーキの機能をハンドルに集約し、手だけで運転する新技術「ネオステア」の体験を実施



株式会社G-7ホールディングスブース



スポンサーブースには、連日多くの観客が足を運んだ

運営風景



視認性を高めるため、スタッフの役割毎に色を変えたユニフォーム



中継映像を撮影するホストブロードキャスト



メディアセンターで当日の取材ルールの説明を受ける報道陣



大会の国際映像を制作・配信するホストブロードキャスト



空港に到着した選手団は輸送スタッフの出迎えを受け、宿泊施設に向かった。宿泊施設では毎日3食がビュッフェ形式で提供。神戸総合運動公園の駅前広場には、宿泊施設から到着した選手輸送車両が集まり、大会期間を通して多くの選手らが行き来した。



競技を終えた選手へのインタビュー



メディカルスタッフによる医療サービスの提供



兵庫陸上競技協会の競技役員等と国内外の技術役員が連携して、円滑に競技が進められた。



競技用車いす(レーサー)や義足の修理サービス



広報物・都市装飾・ 会場装飾

広報物



大会PR用グッズ



大会パンフレット



大会ポスター



大会公式プログラム

都市装飾



道路バナー掲出



デジタルサイネージ・ホームドアへの装飾(神戸市営地下鉄三宮駅など)



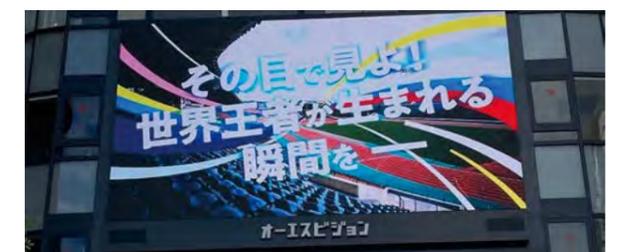
神戸市営地下鉄車両のラッピング



壁面装飾(さんちかなど)



神戸市バスのラッピング



市内の大型デジタルサイネージ(オーエスビジョンなど)で動画放映



山本 篤選手



マルセル・フグ選手



辻 沙絵選手

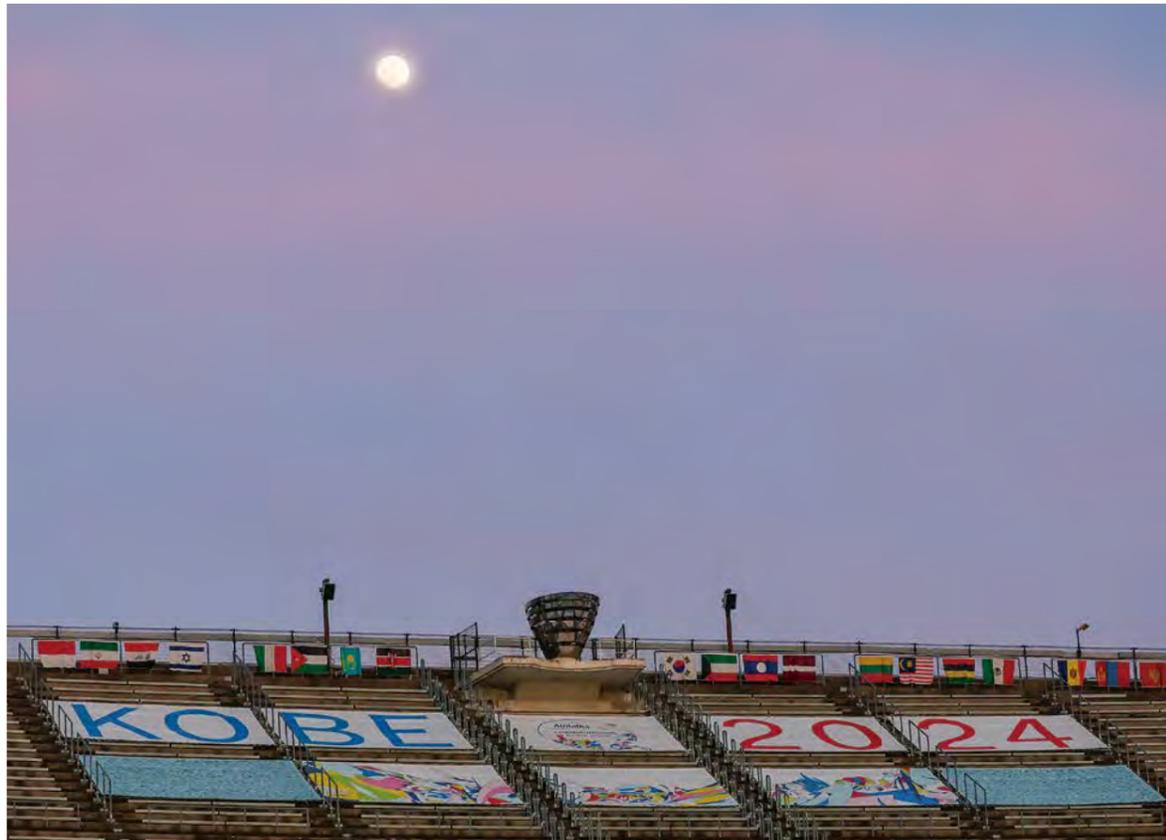


オマラ・ドゥラント・エラス選手



中西 麻耶選手

会場装飾



特別支援学校の児童生徒の歓迎装飾作品



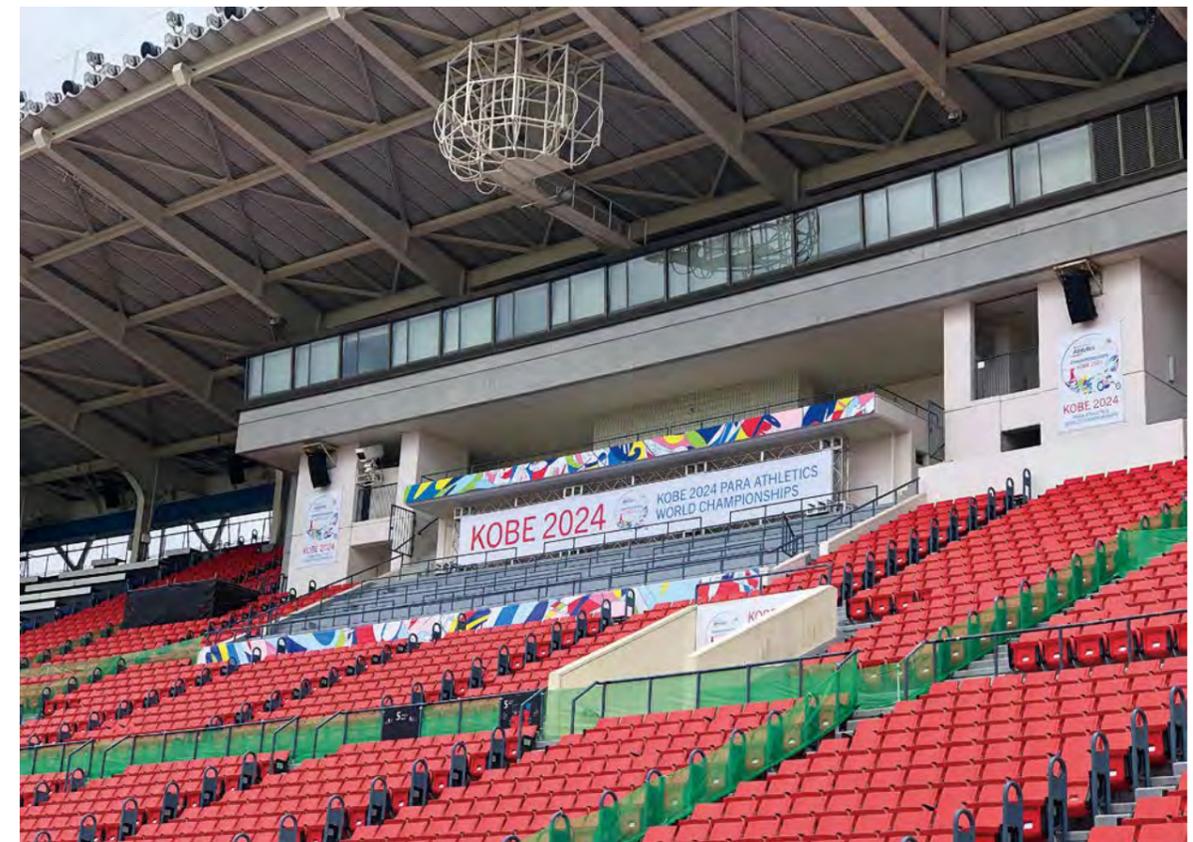
大会PRのため全国キャラバンで集めた応援写真のモザイクアート



会場案内図



競技場から見える場所に大会ロゴを装飾



ボランティア

1,567人のボランティアが
大会を支えた。



特別支援学校の児童生徒の活動



特別支援学校の生徒の皆さんが、VIPラウンジでコーヒーを提供



特別支援学校の生徒の皆さんによる会場周辺の清掃活動



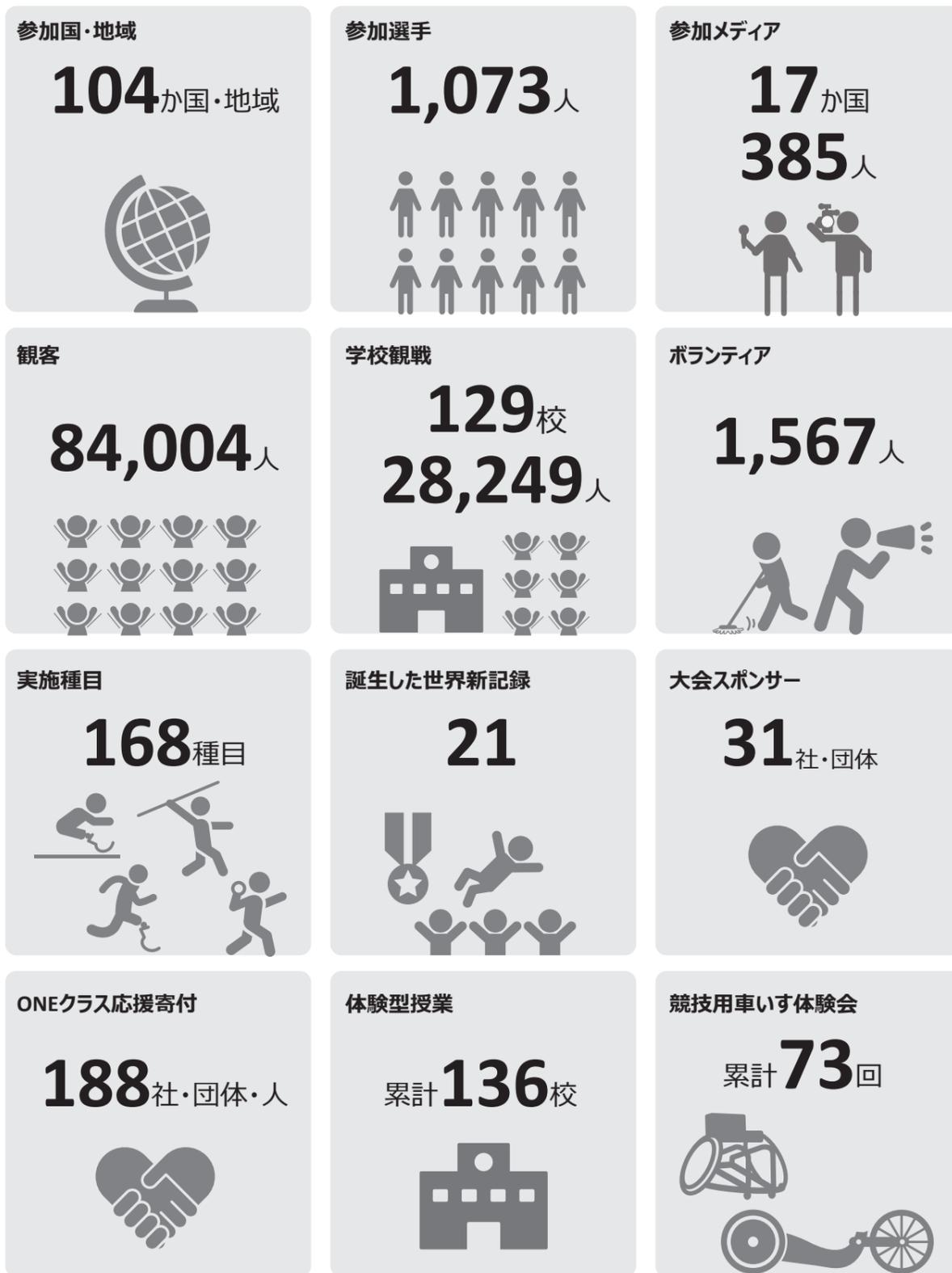
選手団一人ひとりに渡された応援メッセージカードとお土産セット



KOBE 2024
PARA ATHLETICS
WORLD
CHAMPIONSHIPS

資料編

数字で見る KOBE2024 世界パラ陸上



▶ 大会誘致／開催都市決定

2019年のラグビーワールドカップ日本大会や2020年の東京オリンピック・パラリンピック（開催は2021年）など、大規模国際スポーツ大会の相次ぐ日本開催を控え、国際スポーツ大会への関心が社会的にも高まっていた。神戸市は、1989年のフェスピック神戸大会以来となる、市主体での国際スポーツ大会開催を模索していたが、有力候補として着目した大会が、2021年に開催予定の世界パラ陸上競技選手権大会（世界パラ陸上）であった。

世界パラ陸上は、国際パラリンピック委員会（IPC）の下部組織である世界パラ陸上競技連盟（WPA）が2年に一度開催するパラ陸上競技の最上位大会であり、大会が掲げる、パラスポーツの振興やソーシャルインクルージョン（社会的包摂）の推進といった目標は、神戸市が取り組んできたまちづくりの方向性とも軌を一にするものであった。

2021年に同大会が神戸市で開催されれば、日本を含めた東アジアでは初開催となる。また、東京2020パラリンピックによって高まると見込まれていたパラスポーツへの関心を受け継ぎ、日本におけるパラスポーツの振興に大きく寄与することは確実であった。

しかし、世界水準の大会誘致に向けては、施設面をはじめ、様々なハードルが予想された。神戸市は、水面下での情報収集や関係競技団体等との連携を進める一方、IPC/WPAによる現地視察を受け入れてIPC側の意向を直接掴むなど、開催に求められる条件を満たせるかどうかについて、慎重に検討を重ねた。その結果、最終的に立候補の意志を固め、2018年12月、ユニバー記念競技場をメイン会場とする立候補申請書をWPAに提出した。しかし時を同じくして、フランス・パリも開催都市へ名乗りを挙げたため、開催都市の決定は、IPC/WPAが設置する評価委員会での審査に委ねられることとなった。

2019年4月、IPC/WPAより、評価委員会における審査の結果、神戸市への評価が満場一致でパリを上回り、2021年大会の開催都市に内定されたとの通知があった。正式決定前ではなかったが、IPC/WPAの了承を得られたこ

とから、神戸市では、一般社団法人日本パラ陸上競技連盟（JPA）の増田明美会長をはじめとする関係者同席のもと、久元喜造市長が記者会見を行い、神戸市の開催都市選出を発表するとともに、開催2年前となる2019年9月を目途に組織委員会を設立することや、バリアフリー化などの施設改修を進めていく方針を表明した。

▶ 組織委員会の設立

神戸2024世界パラ陸上競技選手権大会組織委員会（組織委員会）の設立にあたっては、大会の円滑な準備・運営を図るため、招致に当たった神戸市はもとより、競技団体、福祉団体、経済団体、関係事業者団体、兵庫県等に参画を依頼した。さらに、大会の顔ともなる組織委員会の会長には、オリンピックとしての知名度を有し、JPA会長を務める増田明美氏に就任を要請した。

2019年9月、神戸市役所に関係者が一堂に集い、組織委員会の設立総会を開催した。総会では、大会の成功に向けて関係者間の連携を深め、一致協力して準備に臨むことを確認した。

なお、組織委員会とIPC間における、2020年2月の開催合意書の締結をもって開催都市として正式決定された。



▶ 事務局の運営体制

組織委員会の事務局は、開催都市である神戸市と一体的に大会準備を進めていくため、神戸市国際スポーツ室内に設置された。

事務局の組織は、ファンクショナル・エリア（FA：今日の国際スポーツ大会において、業務の進捗や予算、アクレディテーション等を管理するために設けられる組織上の基礎的な単位）を基本とし、業務的に近接する複数のFAを束ねる機関として、部・課が設けられた（後掲の組織図を参照）。IPC/WPAにもFAとその責任者が配置され、両者の協議調整もFA単位で行われた。

事務局の職員は、神戸市職員を中心に構成された。人員体制は、大会準備の進展に応じて拡充され、大会開催時（2024年5月）には、兵庫県やJPA、一般財団法人兵庫陸上競技協会（兵庫陸協）からの出向等を含め、7部14課50人体制まで拡充した。

<組織体制の変遷>

2020年4月：9名
2021年4月：16名
10月：23名
2022年1月：27名
4月：36名
2023年4月：37名
2024年1月：43名
2月：46名
3月：47名
4月：49名
5月：50名

▶ 大会に向けた準備／開催延期

2019年11月、アラブ首長国連邦・ドバイにて、神戸の前回大会となるドバイ2019大会が開催された。組織委員会は、IPC/WPAからの招へいを受け、JPA及び兵庫陸協とともに職員を派遣し、式典への出席や各国メディアからの取材対応、大会の運営状況調査にあたった。閉会式では、フラッグハンドオーバーセレモニーが実施され、パーソンズIPC会長から増田会長にWPA旗が手渡された。

引き続き2021年の大会開催に向けて準備を進めてい



たが、2020年1月、新型コロナウイルス感染症（COVID-19）による世界的な感染拡大が発生し、同年3月に東京オリンピック・パラリンピックの1年延期が発表された。

IPC/WPAは、オリンピック・パラリンピックの延期という過去に例のない事態を受けて、やむなく世界パラ陸上についても延期を決定し、新たな開催日程は、2022年8～9月とされ、2020年4月に公表、7月に修正合意書を締結した。

しかしながら、その後もコロナ禍は収束の気配を見せず、様々な国際スポーツ大会が相次いで中止・延期されるなど、世界のスポーツ活動に甚大な影響を及ぼすこととなった。2021年7～9月の東京オリンピック・パラリンピックでは、感染対策のため、選手・関係者と外部の接触を遮断する「バブル方式」が採用され、無観客での開催を余儀なくされることとなった。

世界パラ陸上の開催の1年前（2021年）の時点でも国際的な往来は制限され、「バブル方式」による行動管理等は、2022年も継続する見通しであった。また、市民による大会観戦やボランティア参加、選手との交流などは明白であった。そのため、組織委員会は、2021年12月に臨時総会を開催し、IPC/WPAに対して大会の再延期を申し入れる方針を決定した。

再延期の申し入れ後、IPC/WPAと協議を重ね、2022年5月に、パリオリンピック・パラリンピック直前期である

2024年5月を新たな開催日程とすることを決定・発表し、6月に第2次修正合意書を締結した。

▶ 大会開催に向けた再スタート

2022年6月、世界パラ陸上に向けたテスト大会として、JPAが主催する日本パラ陸上競技選手権大会をユニバー記念競技場にて開催した。同大会の兵庫県内での開催は初めてであり、バリアフリー改修や設備更新を行った同競技場において、パラ陸上競技会の運営に支障がないことを確認するとともに、競技役員の実地研修の機会として、運営ノウハウを蓄積することができた。



2022年10月、日本政府による水際対策の緩和を受けて、開催都市に決定してから初となる、WPAによる現地視察を受入れた。視察先は、競技会場のほか、練習会場、宿泊施設にも及び、大会計画案をもとに活発な意見交換が実施された。



2023年4月、兵庫県内で2度目となる日本パラ陸上競技選手権大会をリハーサル大会として開催するとともに、その機会に合わせて、テクニカル・デリゲート（大会競技運営責任者）を中心とするWPA視察団の受入れを行った。リハーサル大会では、大会本番を想定した国際大会仕様の運営方式で開催した。また、視察団は、運営状況や会場配置を確認した後、組織委員会と意見交換を行い、大会計画について大筋合意に至った。



同年7月、フランスにて、パリ2023世界パラ陸上大会が開催された。組織委員会は、パリ組織委員会の協力のもと、オブザーバープログラム（大会運営を現地で学ぶ研修プログラム）への参加と、神戸大会PRのため、現地にスタッフを派遣した。競技場内に設置したPRブースには、多くの選手・大会関係者・メディア等が訪れ、活況を呈するなど、神戸大会への期待の高まりを感じさせるものであった。

年が明けて2024年1月、IPC/WPA、テクニカル・デリゲート及び大会運営に当たる海外事業者の実地視察を受け入れた。競技運営や会場配置、放送・報道対応など多岐にわたる協議と、本番に向けて、入念な会場確認と大会計画に関する詰めの協議が行われた。

さらに、開催1カ月前の4月には、ポール・フィッツジェラルドWPA代表が来日し、国内での大会PR、関係競技団体への協力要請、室伏広治スポーツ庁長官等へ表敬訪問をするなど、大会準備はいよいよ大詰めを迎えることとなった。

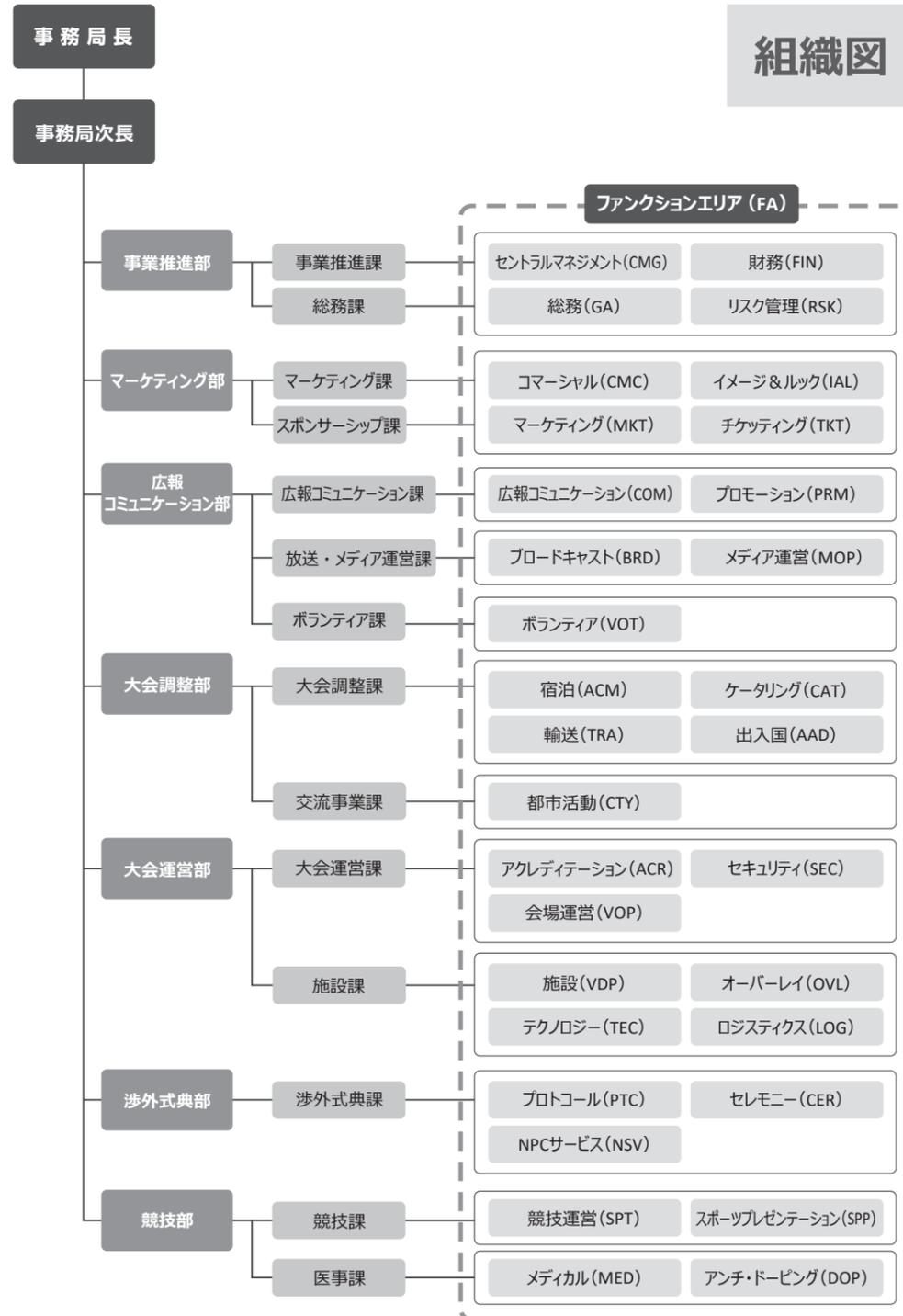
▶ 大会期間中の運営体制

大会期間中は、事務局職員に加え、神戸市の動員職員（計430名）が運営を担った。

▶ 全体事業費／経済波及効果

全体事業費（2019年～2024年）は、大会予算27～30億円に対して、決算見込み額は23.6億円となった。

経済波及効果は、選手・関係者、観客、ボランティアに対して、大会期間中の宿泊費や飲食費などをアンケートすることにより把握した消費支出額と大会事業費を元に推計した。経済波及効果は、全体で52.1億円となった。



▶ 競技運営

1. 大会準備期間

本大会のリハーサル大会として実施した2022年6月と2023年4月の2度にわたる日本パラ陸上競技選手権大会を踏まえ、JPA、組織委員会、兵庫陸協の三者で世界パラ陸上に向けて準備を進めた。

2024年の競技規則等の改正に基づきJPAが作成した研修動画を視聴、また競技規則等に関するQ&A集もJPAが作成し、これらを通じて兵庫陸協の競技役員は本大会に向けて研修を行った。また、2024年3月末にはユニバー記念競技場で県外NTO（国内技術役員）に参加いただき、部署ごとの打合せ及び部署間の連携確認を行った。前後して、各部署の主任とNTOの間でメールやオンラインミーティングを通じて、競技運営マニュアルを作り上げていった。WEB上で最新情報が共有できる試みにより、直前の各部署の連携見直しもマニュアルに反映でき、またそれぞれの部署が自分たちの役割を十分に把握する意識を持ち続けることにつながった。

2. 大会期間

練習開始の5月13日から競技終了の25日までの13日間、地元の兵庫陸協のスタッフとJPAから派遣された県外のスタッフ延べ2,995名がNTOとして従事した。競技期間中は、雨天であった5月19日を除き、天候に恵まれ、ほぼ日程通りに競技が進行した。これは、NTOが競技期間中、ITO（国際技術役員）と毎日合同打合せを行い、密な情報共有を行ったことのほか、NTOとして日頃からの競技運営で培われた経験と大会に向け研修を行ってきたことによるものである。



3. 地元高校生製作協力 練習会場の投てき用具

神戸市立科学技術高等学校（神戸科技高）に製作協力いただいた投てき台座固定用プラットフォーム5基について、練習期間が始まる5月13日までに、兵庫陸協の競技役員が中心となり、練習会場である総合運動公園内の球技場に設置した。

4. リペアサービス

本大会会期中、大会に参加するすべての選手に対し、競技中の事故等によって破損し、修理が必要な義足、装具、車いす等のリペアサービスを提供する場として、会場にリペアサービスセンターを設置した。

5. ビデオ判定

審判を補助するシステムとして、競技内容の正確性と規則違反を立証できるビデオ判定サポートシステムを採用入れた。これにより、競技を円滑に時間どおり進行することができた。



▶ クラス分け

クラス分けは、障がいと同程度の選手同士で競技することで競技の平等性を確保することを目的に、IPCが定める「国際クラス分け基準」に準じたマニュアルにより、障がいの種類や程度によって、選手を区分けすることをいう。

1. 体制

IPCのチーフクラシファイヤーを筆頭にWPAより派遣された国際クラシファイヤー 12名（肢体障がい（PI）担当：6名、知的障がい（II）担当：2名、視覚障がい（VI）担当：4名）により実施された。

組織委員会では、クラシフィケーション・マネージャー、競技場と神戸臨床研究情報センター（TRI）会場にアシスタント・コーディネーター、視能訓練士等を配置し、国際クラシファイヤーをサポートした。

2. チーフクラシファイヤーズツアー

クラス分け期間の前日に行われたチーフクラシファイヤーズツアーでは、チーフクラシファイヤーを筆頭にWPAより派遣された国際クラシファイヤーとクラス分け担当者が実施会場を確認し、最終的なチェックを行った。



3. クラス分け

クラス分けは競技開始前の5月13日から16日（16日は予備日）までの期間で実施し、競技期間中はクラスの確認のためスタンドで競技観察を行った。PI 21名、II 2名、VI 7名に対してクラス分けを実施し、さらに、今回は競技期間中に3名（PI 2名、II 1名）の追加検査を実施した。

PIとIIは競技会場で、VIはポートアイランドにあるTRIで実施した。VIの選手7名のうち、1名のイタリア選手が飛行機到着遅れにより、クラス分け実施期間に間に合わず、予備日に実施した以外は、予定通り実施できた。



【実績】

13日	PI 7名
14日	PI 8名
15日	PI 6名、II 2名、VI 6名
16日	VI 1名
17日	PI追加検査 1名
20日	PI追加検査 1名
24日	II追加検査 1名

▶ スポーツプレゼンテーション

スポーツプレゼンテーションは、大会の円滑な進行、競技場内の一体感の醸成を通じてアスリートのベストパフォーマンスを引き出す環境の提供、各種メディアを通じた「観戦体感」の世界への発信を行うものである。

本大会では、大型映像装置でのライブ映像とスタートリストや競技結果の文字情報の提供、BGMや音響効果による会場演出、競技会場内でのアナウンサーによる進行や選手紹介などを行い、大会の円滑な進行と会場の盛り上げを実現した。

1. 事前準備

イベントプレゼンテーションマネージャーを中心に、兵庫陸協のアナウンサーなどを含めたプレゼンテーションチームとの綿密な打ち合わせに基づき競技運営進行計画を作成し、円滑な業務遂行に向けた調整を行った。

2. 大型映像装置の活用

トラック競技、フィールド競技を撮影し、場内の大型映像装置に生中継・VTR再生・スロー VTR再生を放映した。また、スタートリストや競技結果の表示、手話通訳の動画、ピクトグラムによる競技種目の紹介を行った。

本大会では、パラ競技特有のクラス分けについて、障がいの程度を説明する情報を視覚的に提供することで、競技を分かりやすく観戦する工夫を行った。



3. オープニング、エンディングと選手紹介など

アナウンスは、場内を盛り上げるBGMや音響を活用しながら、日本語と英語で行った。

競技開始前の5～10分間のオープニングでは、アナウンサーが当日の競技の見どころを案内し、大型映像装置には前日の競技のハイライトシーンを放映した。

競技開始前には、観客の競技への期待感や応援意識を高めるため、競技案内や選手紹介を行った。ただし、選手の競技開始直前の準備と集中力を高める妨げにならないよう配慮した。

エンディングでは、当日のハイライトシーンを上映し、アナウンサーが一日の競技を振り返ることで会場の盛り上げを図った。

4. 表彰式時間外におけるビジョンカーの有効活用

式典が開催されていない時間を活用して、表彰式会場に設置しているビジョンカーに大会応援メッセージや応援動画、スポンサー画像などを放映し、会場を盛り上げた。



▶ メディカル

大会期間中には選手、観客、VIPを含む大会関係者に対して、医療サービスを提供した。特に競技で負傷した選手に対し適切な治療を施し、病院へ繋ぐ病院前医療を重視し、医療スタッフの技術を高めることで、選手の安全に努めた。

1. 体制

(1) スタッフ体制

チーフ・メディカル・オフィサー（CMO）の山田睦雄氏（流通経済大学教授）をトップとし、医師26名、トレーナー52名、看護師17名の総勢95名で大会に臨んだ。

研修は大会前（4月）にオンライン研修を実施。また、大会期間中に、選手が競技中の事故などで緊急を要する対応を求められる競技場（FOP）配置のスタッフを中心に、スクープストレッチャーなどを用いたトレーニングを行った。

(2) 医務室等の設置

ユニバー記念競技場に診療所登録した医務室を設置しメディカル業務のコントロールタワーとした。FOPの各コーナー並びにポストイベントコントロールエリアにスタッフ配置することで競技中の事故による負傷者の早期の発見、初期治療の実施、医務室への円滑な搬送ができる体制を整えた。

また、練習会場である補助競技場、グリーンアリーナ、しあわせの村には、練習開始日である5月13日から救護室を設置するとともに、ユニバー記念競技場コンコースに観客用救護室を設置し、医師、トレーナー、看護師を配置し、多方面におけるニーズに対応できる体制とした。



(3) 支援病院体制

救急搬送及び医務室での治療後に病院への搬送が必要となった場合のための「後方支援病院」及び「協力病院」と宿泊ホテルや大会外で選手が病院を必要とした場合に対応できる病院をエリア別に決めた「指定病院」とに分けて、適切な治療を提供できる体制を整えた。

後方支援病院：西神戸医療センター、
神戸医療センター、甲南医療センター
協力病院：野瀬病院、新須磨病院
指定病院：甲南医療センター、野瀬病院、
西市民病院、神戸中央病院

2. 業務

大会開催に先立ち5月16日に選手団のナショナルドクターなどを対象としたメディカルブリーフィングを開催し、23か国27名が参加した。

大会の初日から選手と観客それぞれの救急車搬送があったが、大会警備本部に常駐の神戸市消防局と連携し、スムーズな搬送ができた。

大会2日目には、レーサー3台の接触転倒事故が起きたが、事前のトレーニングの成果もあり、迅速に対処することができた。

大会5日目には、T34男子100m競技のゴール後に選手同士の接触事故が起こり、一人は後方支援病院に救急車搬送、一人は協力病院に車搬送を行った。

大会期間中は天候にも恵まれ、観客の熱中症の発生を危惧していたが、一人の救急車搬送にとどまった。

最終的には、選手2件、観客2件、スタッフ1件の合計5件の救急搬送事例があったが、CMOを中心としたメディカルスタッフの適切かつ迅速な対応と、大会警備本部や神戸市消防局の円滑な連携により、大きな問題もなく大会を終えることができた。



▶ アンチ・ドーピング

アンチ・ドーピングは、ドーピングによる不正を排除し、公正で公平なドーピングのないスポーツに参加するというアスリートの権利を守り、スポーツの価値そのものを守ることを目的として実施するものである。

1. 体制

WPAのアンチ・ドーピングデリゲート、公益財団法人日本アンチ・ドーピング機構（JADA）のドーピング・コントロール・オフィサー（DCO）、シャペロン等60名を超えるスタッフチームにより、選手に対して、ドーピング検査を実施した。

2. アンチ・ドーピングの準備

大会のアンチ・ドーピング・スーパーバイザーである山澤文裕氏（元公益財団法人日本陸上競技連盟医事委員長）と実際に業務を行うJADAからアドバイスをもらいながら準備を進めた。

ドーピング・コントロールルームとして、検査室5室、選手控室、仮設トイレ2基等を設置した。

選手への通告、ドーピング・コントロールルームへの誘導および看視など付き添い業務を主に行うシャペロンについては、有償ボランティアとし、公募により31名を選考した。5月2日にはJADAと組織委員会が2時間程度の研修を実施し、会場や当日の流れについて説明を行った。ドーピング・コントロールルームの受付や普及啓発は大会ボランティアが担った。

3. ドーピング・コントロールの業務

ドーピング・コントロールの業務（検体採取、検体検査等）はJADAが実施した。競技前（5月12日～16日）は、選手の宿泊ホテルで競技会外検査（OOCT）を、競技期間中（5月17日～25日）は、ユニバー記念競技場内に設置したドーピング・コントロールルームで競技会検査（ICT）を実施し、計画どおりの260検体を採取することができた。

検査の流れは、当日にその日の検査数や対象選手をアンチ・ドーピングデリゲートから共有された。競技終了後の対象選手にDCOとシャペロンが通告を行い、ドーピング・コントロール室まで誘導し、受付をしたうえで検体を採取した。

4. アンチ・ドーピング普及啓発

総合運動公園内のグリーンアリーナにて、5月13日～21日の期間中、JADAの全面協力でアンチ・ドーピングの啓発活動にかかるブースを開設した。

選手・コーチ等関係者にドーピング検査の流れやアンチ・ドーピングの理念をクイズ形式で学べるアクティビティをパソコンやタブレットの電子機器を使い、実施した。また、アンチ・ドーピングのバナーを設置して、選手が写真撮影できる場所を用意した。

参加者には、クイズの正解数やアクティビティへの参加に応じて、JADAが用意したタオルやシューズケースなどのノベルティを景品として配布した。

ブースには55か国、約800名来場し、待ち列ができるような時間帯もあり、好評を博した。



▶ 会場運営

円滑かつ効率的な大会運営の実現のために、会場内全般の各種情報を把握し、会場全体の管理運営を行った。

1. 各種計画の策定

IPC/WPAや施設管理者（公益財団法人神戸市公園緑化協会（緑化協会））等の大会関係事業者と協議を重ね、アスリートファーストかつ、観客・大会関係者が安心・安全な会場配置・動線計画を策定するとともに、会場内誘導等のためのスタッフ配置計画・サイン設置計画を策定した。

また、これらの計画に加え、会場運営に関わる各FA業務の集約・調整を図り、大会運営計画を策定した。

2. 運営体制

大会運営本部を核とし、スタジアム内や公園内の各エリアにディレクターを配置。大会運営本部から各ディレクターへの指示・命令による組織的な運用を図るとともに、各ディレクターから会場内の各エリアの情報を収集できる体制を整えた。

3. スタッフの養成

国際スポーツ大会における障がいのある選手・観客・関係者に対する適切な対応方法やサービスの提供について、専門的な知識を持つ外部講師による研修を実施した。

・実施日

2024年4月29日・30日

・実施場所

ユニバー記念競技場

・研修内容

座学研修（1時間30分）・現場研修（1時間30分）



4. 会場運営業務

① 会場管理

各会場の開閉管理、スタジアム入口の管理運営（手荷物検査、チケット確認、動線・待機列整理等）、備品・消耗品調達等

② 会場内誘導

誘導・動線整理、音声案内・サイン設置

③ 観客サービスの提供

観客からの問い合わせ対応、障がいのある観客の補助、遺失物・拾得物対応等

④ 清掃

会場内清掃、廃棄物回収



▶ アクレディテーション

アクセディテーションとは、スムーズな大会運営のために、大会における各関係者の役割を特定し、その役割に応じた入場資格を与える認証手続きのことである。

具体的には、アクセディテーション申請プロセスに基づき、大会関係者全員（選手、役員、メディア、契約業者、ゲスト等）をシステムに登録し、各関係者のアクセス権や入場資格を明示したパスを発行し、会場内外でのアクセスコントロールを行った。

1. アクレディテーション運営計画

IPC/WPAとの定期的な連絡調整を行い、計画書を作成した。

2. アクレディテーションセンター運営

アクセディテーションセンターでは、アクセディテーションカードの新規申請・再交付申請の受付やアクセディテーションカードの交付を行った。

運営期間：2024年5月12日～5月25日

運営時間：

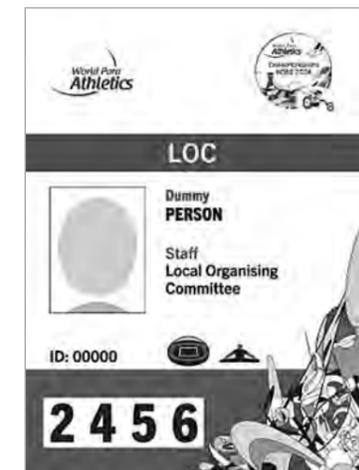
① 競技期間前 5月12日～5月16日 8:00～19:00

② 競技期間 5月17日～5月25日 7:00～21:00

3. 選手団への交付

IPC/WPAが開催する選手代表団登録会議（DRM）にあわせて、アクセディテーションカード、ビブスなど約17,000枚を交付した。

また、アクセディテーションカードを紛失、ホテルに置き忘れた場合には、再交付することで対応した。



アクセディテーションカード



ガイド、アシスタント、マスコミ用ビブス

▶ 大会警備

大会の警備は、競技会場であるユニバー記念競技場を中心に神戸総合運動公園内の大部分を範囲とし、会場の仮設工事の資材搬入から撤去まで46日間実施した。

特に会場内を送迎バス等の車両が通行するため、選手・大会関係者及び観客の安全を最優先とする警備を行った。

また、大会中の有事を想定した国民保護訓練への参画や消防訓練を実施し、万全の体制で大会に臨んだ。

1. 警備体制

大会の警備体制は「大会警備本部」を核とし「スタジアム警備隊」、「会場周辺警備隊」、「バス誘導警備隊」の3部隊で構成。各部隊は警備本部からの指示・命令により、組織的な運用を図るとともに、各種警備情報が一元的に掌握できる体制を整えた。

また、大会初日には秋篠宮皇嗣同妃両殿下の御臨席があり、兵庫県警察本部の指導の下、警備体制を強化し警備にあたった。

2. 警備業務

主な業務として、

- ①選手及び観客の安全誘導
- ②アクレディテーションチェックによる制限エリアへの不正な入場の防止
- ③車両通行エリア及び選手通行エリアにおける横断者等への安全確保
- ④大会初日の金属探知機を使用した入場チェック等の



警備強化

- ⑤車両許可証チェックによる駐車場への一般車両の入庫制限
 - ⑥各所における選手送迎車両及び関係車両の識別及び安全誘導
 - ⑦会場内保安業務
 - ⑧24時間体制での夜間警備
 - ⑨その他FA（大会運営FA、アクレディテーションFA、輸送FA等）との連携
- などがあり、警備員を適正に配置することで大きな事故もなく終えることができた。

3. 訓練実施

①国民保護訓練

日程：2024年3月4日

場所：ユニバー記念競技場を中心とした周辺エリア

内容：神戸2024世界パラ陸上競技選手権大会におけるサリン散布テロを想定した訓練

参画：観客の避難誘導

②消防計画に基づいた消防訓練

日程：2024年4月25日

場所：ユニバー記念競技場

内容：消火器による消火訓練
消火栓を使った消火訓練



▶ ロジスティクス

ロジスティクスは、大会期間中に必要とされる対象物品（選手用器具、計測・判定等に係るプロバイダー企業の機器など）の運搬等を行う。

※ロジスティクスの定義：必要な物品を、必要な時に、必要な数量だけ、運搬する仕組み

本大会では選手の競技用具（座位投てき台と車いすレーサー）とスポンサーから提供いただいた選手向け飲食物及び大会関係物資の運搬を行った。

1. 競技用具の運搬

競技用具（座位投てき台181台&車いすレーサー99台）の運搬にあたっては、会場内に2か所の倉庫（Storage）を設定し、会場から遠い大型倉庫を第一倉庫（First Storage）としてグリーンアリーナに設置。競技場横に競技前の一時保管庫として第二倉庫（Second Storage）をテントにて設置した。

空港から選手と共に入国した競技用具は第一倉庫で一旦保管し、各器具に識別用バーコードを貼付けた後、選手からの依頼にもとづき第二倉庫に搬送した。

選手は第二倉庫にて自身の競技用具を受け取り、競技後は第二倉庫に返却した。競技用具の各倉庫での受け渡しは全てバーコードで管理されており、受け渡しの迅速化と安全確実な管理を実施した。

競技を終了し帰国する選手の競技用具は第二倉庫から第一倉庫に移送し第一倉庫にて梱包後、輸送チーム手配のトラックで空港まで搬送した。



2. スポンサー提供飲食物の運送

スポンサーから提供を受けた飲食物はグリーンアリーナ地下駐車場にて適切に管理し、ケータリング担当からの要請により随時第二倉庫まで搬送した。

3. 大会関連物資の運送

神戸科技高に製作協力いただいた投てき台座固定用プラットフォームを同校から投てき練習場へ搬送したほか、関係団体から借り受けた大会関連物資や競技場内の関連物資を適宜搬送した。



4. その他

海外から医薬品を持ち込む22チームについて厚生労働省近畿厚生局への必要書類の提出相談、代行を行った。

また、競技場内の大会関係者専用駐車場に出入りする車両に対して、車両許可証を発行し、入出庫情報の把握を行った。

▶ 施設改修・仮設物の設置

本大会の開催を契機として、パラアスリートや観客の対応のために、2020年度より競技会場であるユニバー記念競技場、練習会場である補助競技場やしあわせの村多目的運動広場を改修し、バリアフリートイレの増設・改修、車いす用スロープの改修、メインスタンドの手すりの増設、点字ブロック・サインの設置などを実施した。

また、大会期間中、大会に必要な機能の確保や車いす利用の観客のために、各種仮設物を設置した。

1. 施設改修

(1) 競技会場（ユニバー記念競技場）

トラックの舗装張替、大型映像装置の更新、メインスタンドの個席化、競技場入口の改修、諸室・廊下の照明のLED化、貴賓室の改修、メインスタンド防水改修、競技場サイン改修、電気設備改修など

(2) 練習会場（補助競技場、しあわせの村）

補助競技場トラックの舗装張替、直線レーン増設等の改修、しあわせの村多目的運動広場トラックの舗装張替

(3) 競技場へのアクセス

園路舗装の改修、公園灯のLED化



photo : ©Kinugasa Natsumi

2. バリアフリー改修

(1) パラアスリート利用のための改修

ユニバー記念競技場内のバリアフリートイレの増設・改修（3か所）、補助競技場内のバリアフリートイレの改修（2か所）、投てき用サークルの改修など

(2) 観客利用のための改修

観客用バリアフリートイレの増設・改修（17か所）、

貴賓室バリアフリートイレの改修（2か所）、車いす用スロープの改修（2か所）、メインスタンドの手すりの増設、点字ブロック・サインの設置、階段段鼻塗装など



3. 仮設物の設置

競技場内にある諸室では、本大会期間中に必要な全ての機能を確保できないことから、プレハブ建築物（1棟）、大型テント（5張）、パイプテント（108張）を設置した。また、総合運動公園駅前に、兵庫県・神戸市の観光案内やチケット販売のために、モジュラーボックス（3棟）を設置したほか、会場へのアクセス園路等に仮設車いすトイレ（17棟）を設置した。

車いす利用の観客の利便性を確保するために、仮設の車いす用スロープや車いす用観客席（88席）を設置した。



▶ 宿泊

本大会では、IPC/WPAや選手団等の大会関係者の宿泊施設として神戸市内の12の施設を選定した。

バリアフリー対応客室の確保や障がいに応じた配慮等の様々な課題に直面したが、その都度各施設と対応を協議し、工夫を凝らしながら受け入れ準備を進めた。また、大会期間中には各施設に設置した大会デスクのスタッフが中心となって宿泊者からの要望に臨機応変に対応し、全ての大会関係者が大会運営や競技に集中できる環境の提供に努めた。

1. 宿泊施設の検討

IPC/WPAから示されたガイドラインを踏まえて組織委員会が設けた宿泊施設の選定要件を基に、客室の提供について各宿泊施設と協議を行った。

大会が開催される5月は修学旅行シーズンであり、また例年神戸市内で大規模なイベントが開催される時期でもあるため、客室の確保が難航する可能性も考慮して新たな宿泊施設の調査・検討も進めた。

【主な宿泊施設の選定要件】

- ・公式入国日から公式出国日までの間、概ね100名以上の宿泊が可能であること
- ・客室内の浴室・トイレの出入口に段差がないこと
- ・大会関係者の食事会場を確保できること
- ・早朝及び深夜時間帯でも食事の提供ができること
- ・大型車両が駐車できる車寄せがあること



2. 宿泊施設の決定、受け入れ準備

2022年10月に実施されたIPC/WPAの視察において、客室や食事会場の広さ、バリアフリー対応、輸送車両の乗降場所、競技会場との距離感等が確認され、本大会の宿泊施設が決定した。その後、合理的配慮アドバイザー（車いす陸上選手）に意見を求め、各宿泊施設と客室内のレイアウト変更の可否やシャワーチェア等の備品の貸し出し等、大会関係者の受け入れに向けた具体的な協議を進めた。宿泊施設の中には本大会を契機として客室内及び館内でのバリアフリー対応の実践や従業員向けの合理的配慮研修、障がい者の避難誘導を念頭に置いた消防訓練を独自に実施する施設もあった。



3. 大会直前、大会期間中の対応

大会開催を半年後に控えた2023年11月から選手団の宿泊申込みを開始した。選手団の申込みの動きが遅く、IPC/WPAからの要望もあって当初の申込期限から1か月以上過ぎた大会直前まで各宿泊施設との調整が必要になったものの、各施設の協力もあり申し込まれた全ての大会関係者が宿泊することができた。



▶ ケータリング

本大会では、組織委員会が宿泊を手配した大会関係者に対して、各宿泊施設で食事を提供したほか、競技会場及び練習会場において競技運営スタッフやボランティアに弁当や軽飲食を提供した。

車いす動線を想定した食事会場のレイアウト設計やベジタリアンやヴィーガン、宗教上の制約への配慮が必要であったことから、各施設や弁当業者と協議し、全ての方々に安心して食事を楽しんでいただけるよう対応した。

1. 宿泊施設における食事の提供

組織委員会が宿泊を手配した大会関係者の宿泊施設における食事の提供に際しては、以下の提供条件で調整を行った。

全ての宿泊施設において宗教上の制約に厳格に対応することは難しいため、ピクトグラムで使用された食材や調味料を示すことで食べられるか否かを各自で判断いただけるよう、全ホテルで対応を統一した。

また、特別な食事の提供が求められる場合に備えて、ハラール（イスラム教の食事規則）やコーシャ（ユダヤ教の食事規則）等の対応が可能な弁当業者を確保し、いつでも発注できるよう調整していたものの、結果として大会期間を通じて利用はなかった。

【各宿泊施設における主な食事の提供条件】

- ・ピュウフェ形式で1日3食を提供
- ・食事提供時間
朝：6～10時／昼：12～15時／夕：18～23時
- ・車いす利用者の動線を確保したレイアウト設計
- ・外国語対応が可能なスタッフの配置
- ・ベジタリアンやヴィーガン、宗教上の制約への配慮



・ピクトグラムによる食材や調味料等の掲示

2. 各会場における弁当、軽飲食、氷の提供

大会期間中、競技会場及び練習会場において競技運営スタッフやボランティアの昼食・夕食として1日あたり最大1,200食、大会期間中の総数11,000食の弁当を提供した。

大会直前まで必要数量を細かく調整するとともに、複数の弁当業者に協力いただき、毎食3種類の弁当を用意することで毎日出務されるスタッフにも飽きられないよう工夫することでフードロスの極小化に努めた。

また、軽飲食やアイシング用の氷を提供する必要があったため、大会期間中の需要に応じて手配数量を調整し、極力余剰が発生しないよう努めた。



3. 商品の協賛

スポンサーより提供いただいた飲料やパン・スナック類を、IPC/WPAや選手団が利用されるラウンジやメディアセンター等において提供し、非常に好評であった。

また、VIPラウンジにおいても各商品を陳列し、多くの大会ゲストの方々にも手に取っていただいた。



▶ 輸送

組織委員会が宿泊を手配したIPC/WPAや選手団等の大会関係者に対して、大会公式空港（関西国際空港・神戸空港）から宿泊施設、宿泊施設から競技会場及び練習会場への輸送サービスを提供した。

車いす利用者の輸送に関してはリフト付きバスや低床バス（ノンステップバス）、福祉車両等を活用し、ストレスなくスムーズに移動できるよう心掛けた。

1. 輸送計画の策定、輸送車両の確保

輸送計画の検討に際しては、パラ陸上選手へのヒアリングや競技会場周辺の交通量調査の結果を踏まえ、IPC/WPAや緑化協会、兵庫県警察本部、その他関係事業者と協議を重ねた。

特に競技会場の乗降場所に関しては、競技会場に大型バスを同時に複数台停車できる駐車場がないことから、会場周辺を含めて様々な可能性を検討した結果、選手の負担を考慮して総合運動公園内の駅前広場周辺を乗降場所とすることに決定した。

また、大会期間が修学旅行シーズンと重なったことで大型バスの調達が難航し、大型リフト付きバスも十分な台数を調達することが難しかったため、ワゴンタイプの福祉車両を活用するとともに、神戸市交通局や神戸市近郊の路線バス会社に協力を依頼する等、車両の確保に努めた。



2. 大会期間中の輸送サービスの提供

■ 入国／出国時の空港送迎

公式入国日以降、事前に聞き取ったフライト情報に基づき関西国際空港、神戸空港に大型バス等を配車し、到着した大会関係者を宿泊施設へ輸送した。競技用車いす（レーサー）や投てき台等の競技荷物は、入国／出国時ともに大型トラックで空港・競技会場間を直接輸送した。

選手団の帰国が公式出国日（5月26日）に集中したため、前日夜までに競技会場で競技荷物の輸送手続きを完了するよう選手団に求めた。帰国の数日前から選手団毎に必要な手続きを案内したことで特に混乱もなく、全ての荷物を空港で選手団に返却することができた。



■ 競技会場／練習会場間の輸送

大会期間を通じて、選手輸送車両は宿泊施設から競技会場間を概ね30分間隔で運行した。

運行ルート上で渋滞が発生した際には、競技に影響が出ないよう競技運営スタッフに車両の運行状況を共有するとともに、選手団に対しても注意喚起を行った。



3. 競技会場最寄り駅周辺における案内誘導

総合運動公園の駅前広場では、大会関係者のみならず観客や公園利用者の往来もあることから、それぞれが安全かつスムーズに移動できるよう、ボランティアを中心に会場を案内いただいた。観客や公園利用者には笑顔で挨拶を、選手には語学力を駆使して話しかけることで歓迎の意を伝える等、全ての来場者に対しておもてなしを提供できた。

▶ 出入国

本大会への参加を目的として来日する選手団やIPC/WPA、海外事業者等に対して査証（ビザ）の発給に必要な各種支援を行うとともに、大会公式空港（関西国際空港・神戸空港）において大会関係者の出迎えを行った。

1. 査証の発給支援

本大会には104の国・地域から1,978人の選手・関係者が参加されたが、国・地域のおよそ半数において査証の発給が必要であった。

査証の発給申請に際しては組織委員会が作成した招へい書類や滞在予定表等の書類が必要となることから、書類の作成に必要な情報を収集するため、2023年11月に公開した宿泊ガイドにおいて選手団に査証発給に必要な手続きをアナウンスした。

一方、IPC/WPAからの情報により、大会直前まで査証の発給に係る対応が必要となる可能性が高いこと、国籍を有する国以外の第三国での申請があり得ることが判明したため、選手団から申請があり次第迅速に査証を発給いただけるよう、スポーツ庁を通じて外務省に協力を依頼した。

その後、実際に選手団の査証申請に遅れが生じ、公式入国日の直前まで査証の発給支援作業が続いたが、迅速に査証を発給いただけるよう外務省の協力を得ながら、発給支援書類の作成等対応に努めた。

2. 大会公式空港における到着時対応、出迎え

本大会には多くの車いす利用者を含むパラアスリートが参加するため、空港におけるバリアフリー対応やスムーズな動線の確保が課題とされていた。

そこで、大会公式空港を運営する各空港運営会社や出入国関係省庁と事前に協議を重ね、選手団による空港内の混雑や混雑が発生しないよう、特に入国手続きにおける配慮や乗降場所の確保について協力を依頼した。

また、大会参加者の大半が利用した関西国際空港では、選手団の到着に合わせて第1ターミナル1階に大会デスクを設置し、事前に情報収集したとおり選手団が到着しているかを確認した上で輸送車両まで案内した。

大会期間中も空港運営会社や出入国関係省庁との

綿密な連携により、混雑が懸念されていた公式入国日（5月12日）においても特に問題なく、スムーズに全ての大会関係者を出迎えることができた。



▶ 式典

国内外からの参加者を歓迎し大会での健闘を祈る開会式、大会を締めくくる閉会式及びメダリストの栄誉を称える表彰式を実施した。

1. 開会式

大会初日の5月17日に、大会会場であるユニバー記念競技場で、秋篠宮皇嗣同妃両殿下の御臨席を賜り実施した。

午前と午後の競技の間に実施するため、ステージの速やかな設営をはじめとした準備や終了後の会場転換等について、施設管理者及び式典の運営事業者と事前に綿密な調整を行った。

式では、国歌独唱、選手団の代表と地元中学生によるフラッグパレード、組織委員会会長、開催県代表の兵庫県知事、WPA代表による歓迎あいさつの後、秋篠宮皇嗣殿下がお言葉を述べられた。

引き続き、神戸市長の大会開会宣言、選手・審判・コーチによる宣誓が行われ、最後に神戸ゆかりの出演者による和太鼓とダンスが融合した歓迎演技で式典は締めくくられた。

【概要】

日時：2024年5月17日 14：00～15：15

場所：神戸市総合運動公園ユニバー記念競技場

※フィールド上に式典ステージを設置

企画・演出：NORI氏

※東京2020パラリンピック閉会式の振付を担当、神戸市内でダンスチームN'ismを指導

次第：

- ・国歌独唱 時田直也
(神戸市出身の全盲の音楽家)
- ・各国・地域代表と西落合中学校生徒によるフラッグパレード
- ・あいさつ
増田明美 組織委員会会長
齋藤元彦 兵庫県知事
ポール・フィッツジェラルド WPA代表
- ・お言葉 秋篠宮皇嗣殿下
- ・開会宣言 久元喜造 神戸市長

・選手・審判・コーチ宣誓

選手代表：福永凌太（T13 400m 出場）

審判代表：樽本つぐみ（兵庫陸協常務理事）

コーチ代表：穴戸秀樹（日本代表選手団監督）

・歓迎演技

出演者（ダンス）

かんばらけんた（車いすダンサー）、N'ism、神戸野田高校ダンス部

出演者（和太鼓演奏）

木村優一（和太鼓奏者）、須磨翔風高校和太鼓部

・閉会



2. 閉会式

最終日5月25日の全競技終了後に、ユニバー記念競技場で実施した。

国歌斉唱の後、IPC副会長と組織委員会会長があいさつを行い、選手や大会協力者への感謝を述べた。

続いて大会の締めくくりとして、一般社団法人神戸市婦人団体協議会による感謝の踊り「こうべ港音頭」と「みなと音頭」が披露された。その後組織委員会会長の掛け声のもと、再び「こうべ港音頭」が流れ、選手団や大会スタッフも踊りに加わり、交流の輪が広がるなか大会は幕を閉じた。

【概要】

日時：2024年5月25日 20:00～20:30

場所：神戸市総合運動公園ユニバー記念競技場

※フィールド上で実施

次第：

- ・国歌斉唱
- ・あいさつ
デュエイン・ケイル IPC副会長
増田 明美 組織委員会会長
- ・神戸市婦人団体協議会(220名)による感謝の踊り



3. 表彰式

競技場に隣接して設置した表彰ステージで、全168種目(男子92、女子75、混合1)の表彰式を行った。

パラ陸上競技の特性に対応するため、表彰ステージには車いすの選手のためのスロープを設けるとともに、段差のある表彰台でなくパネル型のポディウムで表彰順位を示した。

表彰ステージを競技場外の自由に観覧できるエリアに設置することで、多くの観客が間近でメダリストを祝福することができ、式後にメダリストと観客が記念撮影するなどの交流の場面も生まれた。

運営面では、メダリストがはじめに集合するグリーンルーム、ステージ横のウェイトングエリア、式を進行するPA(音響)テントの3カ所のスタッフが無線で連絡を取り合い、選手の集合・移動やプレゼンターの準備などの状況をリアルタイムで共有することで、式典を円滑に進行した。



【概要】

日時：2024年5月18日～25日のセッション間(12:00～17:00)及び同25日イブニングセッションの競技終了後

場所：ユニバー記念競技場隣接 表彰ステージ

参加者：

- ・メダリスト(原則1位から3位)
※エントリー数が少ないため2名表彰の種目あり
- ・プレゼンター2名(メダル、記念品各1名)
- ・エスコート2名(大会ボランティア)
- ・トレイベアラー3名(大会ボランティア)

次第：

- ・表彰式実施のアナウンス
- ・メダリスト・プレゼンター入場
- ・プレゼンター紹介(メダル→記念品の順)
- ・メダル・記念品の授与(3位→2位→1位)
- ・優勝者の国歌演奏及びメダリストの国旗掲揚
- ・フォトセッション(メダリストのみ)
- ・メダリスト・プレゼンター退場

【メダル】

メダルのデザインには、神戸2024世界パラ陸上競技選手権大会のロゴを用いた。

ロゴには港町・神戸のランドマークであるポートタワーや海洋博物館が描かれ、神戸からスポーツを通じた平和と多様性の波を広げていきたい、というメッセージが込められている。

また、裏面には、本大会を統括するWPAのロゴと、点字で刻印された開催地・開催年「KOBE2024」を記している。



【記念品】

神戸の特産品真珠を用いたフォトフレームをメダルとともに贈呈した。



【プレゼンター】

表彰式のプレゼンターは、WPAと組織委員会がそれぞれ選出したプレゼンターが分担して対応した。

WPAからは、ポール・フィッツジェラルド代表をはじめとした大会運営スタッフ及び大会後半に来日したデュエイン・ケイルIPC副会長が担った。

組織委員会からは、増田会長をはじめ神戸市長や兵庫県知事を含む各委員、大会アンバサダー・サポーターやスポンサーの代表などが担った。また、大会を訪れたオリンピックに急遽依頼することもあった。

各日のプレゼンターの決定は、事前に、WPAのプレゼンターが対応する種目及びプレゼンターの職氏名のリストの提供を受けたうえで、それ以外の種目に組織委員会選出のプレゼンターを充当する形で進めた。プレゼンターの確定は、前日の夜または当日の午前中になることが多かった。

【国旗・国歌】

会場のスペースを有効活用するため、国旗はデジタルフラッグを使用し、国旗掲揚は表彰ステージ向かいに配置したビジョンカーに映写する形で行った。表彰式での国歌演奏時間は1分強程度とし、長い国歌については短縮版を演奏した。

国旗・国歌ともデータは運営事業者が手配し、DRMで各国・地域のチームリーダーの確認を受けた。

なお、ロシア及びベラルーシの選手（Neutral Para Athleteとして参加）が表彰される場合は、国旗掲揚はWPA旗を映写し、国歌の演奏は行わなかった。



▶ ゲスト

国内外からのゲストを歓迎するレセプションを開催した他、競技場を訪れるゲストを対象に、競技をリラックスして観戦していただけるよう、環境の整備に努めた。

1. 本大会のゲスト

本大会において接遇の対象となるゲストは、IPCゲストと組織委員会ゲストに大別される。IPCゲストは、IPC副会長、組織委員会ゲストは、スポンサー企業、文部科学大臣、スポーツ庁長官、各国大使・総領事、国会・兵庫県議会・神戸市会の議員、組織委員会委員等であった。また、会場のキャパシティの関係などもあり、先催大会では接遇の対象となったこともある選手団代表者は、本大会では接遇対象とはしなかった。

2. 歓迎レセプション

国内外選手団を歓迎するとともに、協力者へ感謝の意を表するため、大会前日に、秋篠宮皇嗣同妃両殿下御臨席のもと実施した。

【概要】

日時：2024年5月16日 17：30～18：30

場所：ホテルオークラ神戸 1階 平安の間

次第：①ウエルカム・アトラクション

狂言之舞「三番三」 能楽師 善竹隆司 氏

②あいさつ

- ・増田 明美 組織委員会会長
- ・久元 喜造 神戸市長
- ・ポール・フィッツジェラルド WPA代表

〔来賓祝辞〕

・盛山 正仁 文部科学大臣

③乾杯

・齋藤 元彦 兵庫県知事

出席者：室伏広治スポーツ庁長官、スポンサー、高額助成団体、大会アンバサダー、パラレゾ講師、ボランティア代表、選手団代表、組織委員会委員、神戸市会議員等 151名

3. 接遇

・ゲスト席

ロイヤル席及びその周辺席をゲスト席と定め、約500席あまりを確保した。

ロイヤル席周辺の壁面には大会キービジュアルを基調とした装飾を施したほか、床面にはカーペットを敷き、特別な椅子やテーブルを準備する等、ゲストがリラックスして開会式を観覧できるよう工夫を凝らした。周辺席には特段の装飾等は行わず、既存の席をそのまま流用したが、ゲストに観戦を楽しんでいただけるよう十分な席数を用意した。

なお、大会初日については開会式プロトコル上の優先順位に応じた配席を可能とするため、ゲスト席を全席指定としたが、競技開始2日目（5月18日）以降は全席自由とし、ゲストは自由にゲスト席を利用できることとした（ただし、多くの観客の来場により一般観客席に不足が見られたことから、5月18日のイブニングセッション以降は周辺席部分を一般観客にも開放した）。



・VIPラウンジ

競技場1階にVIPラウンジを設置した。ラウンジには大会キービジュアルに即した装飾を施し、競技の様子を放映するモニターを設置したほか、ビュッフェ形式の軽食と飲物、大会公式スポンサーの商品（パン、飲物）、特別支援学校の生徒が作った菓子の提供を行った。

また、5月20日から24日にかけて、特別支援学校の生徒がコーヒーの提供を行い、好評を博した。



▶ ボランティア

1,567名の大会ボランティア（スポンサーボランティア含む）には、大会のおもてなしの顔として活躍いただくとともに、選手のサポートなどを通じて、障がいや多様性に対する理解を深めていただいた。

大会ボランティアには、大会終了後も、市内のバス・スポーツ振興につながる取り組みなどに参画していただけるよう働きかけ、大会成果の定着につなげていく。

1. ボランティアの募集

大会開催1年前となる2023年5月17日より募集を開始した。募集にあたり、広報紙KOBE、新聞、ラジオ、駅等で広く周知したほか、東京オリンピック・パラリンピックのボランティア経験者やスポーツボランティアに興味がある方向けのメールマガジンやWEBサイトにも情報を掲載し、呼びかけを行った。さらに、市内・県内の各種団体、教育機関、ボランティアセンター等を訪問し、募集案内や協力依頼を行った。

【募集概要】

募集人数：約1,200名

募集期間：2023年5月17日～8月31日

活動期間：2024年5月12日～5月26日

応募方法：大会公式ホームページから応募

選考方法：面接（2023年9月29日～10月1日）

活動内容：会場案内・受付、選手や観客のサポート、語学サポート等

応募要件：18歳以上（2024年4月1日現在）、活動



期間中に最低3日間以上活動できる方
語学スキル：日本語必須。他言語は必須要件でない。
待遇等：ユニフォーム、食事、ボランティア保険、記念品等 ※交通費・宿泊費の支給なし

2. 大会ボランティアチーム「ANCHORS」

「ANCHOR」には、「錨」「支え」「(リレーチーム)の最終の競技者」の意味がある。1人1人が要となって大会を支え、頼れる「アンカー」として活動していくことで、この大会で得たレガシーを未来へとつないでいく存在となっていきたいという想いを込め、チーム名を決定した。

3. ボランティアの養成

① 共通研修

日程：2024年2月17日、2月25日

場所：三宮研修センター

内容：・大会概要

・パラ陸上競技

・ダイバーシティ&インクルージョン

・神戸市の観光施設・交通網

② 活動別研修

日程：2024年2月以降

方法：オンライン研修

内容：各活動概要、注意点等

③ 現地研修

日程：2024年4月23日、4月25日、
4月29日、5月8日

場所：神戸総合運動公園ユニバー記念競技場周辺

内容：活動場所確認、活動内容、注意点等



▶ 広報

大会の機運醸成や情報のプラットフォームとして、公式ウェブサイトをはじめとしたデジタルメディアを活用した効果的な情報発信を行った。

1. 公式ウェブサイトの開設、情報発信

大会概要や競技日程、チケット情報やイベント情報などの大会情報の他、パラ陸上競技の説明、WEBマガジンでのアスリート・パラ陸上を支える人などのインタビュー記事、キッズコンテンツなど読み物コンテンツを充実させ、大会への興味関心の向上を図った。

大会期間中は、前日のハイライト、当日の見どころ、大会関連トピックス等を盛り込んだデイリーニュースを毎日ウェブサイト配信した。（日英各10本）

◇2021年8月公式ウェブサイト開設（当初2021年9月開催予定だったため）

◇2023年10月（大会開幕200日前）アクセシビリティを向上し、選手メッセージや大会の見どころ記事を盛り込むなど、ウェブサイトのリニューアルを行った。



2. SNS (Instagram, X, Facebook) の開設・発信

選手や著名人によるカウントダウン写真およびメッセージ写真、大会への応援メッセージ、イベントや大会に関する情報の投稿の他、コラム（競技紹介、観光、選手紹介）、リール動画を作成し、1日1投稿以上を継続して実施した。

◇2019年9月 Facebook アカウント開設

◇2021年6月 X アカウント開設

◇2023年1月 Instagram アカウント開設



大会期間中は、選手や観客の声を独自取材し、SNSで即時配信を行い、さらなる盛り上げを図った。（Instagram 平均59投稿/日、WPAとの共同投稿X平均42投稿/日）



3. SNS・WEB広告の実施（2023年12月～）

ユーザーの居住エリアや興味関心等に基づいたターゲティング広告や検索広告を実施し、認知拡大・興味関心の向上を図った。（認知拡大バナー、機運醸成クイズバナー、選手紹介バナー、カウントダウンバナー等）



4. 公式プログラムの制作・販売・配布

日英で公式パンフレットを作成し、大会期間中、会場で販売するとともに、関係者やスポンサー企業等への配布を行った。

5. 広聴

一般の方から寄せられる大会への問い合わせ等へ回答を行った。また、本大会の市民への浸透度を把握するため、大会開幕2年前、1年前にそれぞれ認知度調査を行った。

▶ プロモーション

世界パラ陸上の認知度を向上し集客を図るために、戦略的なプロモーションを展開した。具体的には、①パブリシティの獲得、②接触機会の拡大による認知度向上、③集客力あるイベントでの体験型PRブースの出展、④子ども・若者をメインターゲットとしたプログラムの実施、の4つの視点に基づき実施した。

1. パブリシティの獲得

(1) マイルストーンイベントの開催

① 1年前 (2023年5月)

- ・カウントダウンボード除幕式 (5月17日) : 市役所
設置場所: 市役所、地下鉄三宮駅等3駅
- ・写真家 蛭川実花氏「パラアスリート写真展」(5月20日～28日) : 東遊園地
- ・一ノ瀬メイ選手、井谷俊介選手によるトークイベント (5月20日) : 東遊園地
- ・神戸まつりでのPR (5月28日) : 東遊園地
永尾嘉章氏、山本篤氏 (以上大会アンバサダー)、かんばらけんた氏 (車いすダンサー)、近藤元選手、高橋峻也選手、石田駆選手等によるパレード参加や永尾氏・かんばら氏によるトークセッション



② 200日前 (2023年10月)

- ・開幕200日前セレモニー (10月30日) : 阪急神戸三宮駅前広場
齋藤由希子選手等が参加し、メダルおよび記念品デザイン発表、新PR動画の発表
- ・全国キャラバン「スマレゾカー」出発式イベント (10月31日) : 東京・国立競技場
河合純一日本パラリンピック委員会委員長、山脇康日

本財団パラスポーツサポートセンター会長、村岡桃佳選手、三津家貴也氏 (陸上インフルエンサー) 等が参加し、全国キャラバン「スマレゾカー」に向けて「スマレゾカー」の出発イベント

※スマレゾ: 相手の感情や考えに共感してより深い理解を生み出す「レゾナンス (共鳴)」と「スマイル」を掛け合わせた造語

- ・全国キャラバン「スマレゾカー」(2023年10月31日～2024年2月7日)
東京2020大会のボランティアドライバー運転による「スマレゾカー」が、先導的共生社会ホストタウンやスポンサー企業等全国20か所を巡回。視覚障がいのあるボランティアカメラマン等が巡回地で選手への声援フォトを撮影。11,465枚の声援フォトはモザイクアートとして大会期間中会場に掲出
- ・開幕200日前記念イベント (10月28日、29日) : 東京・ららぽーと豊洲
前川楓選手、兎澤朋美選手、花岡伸和氏 (パラリンピアン)、お笑い芸人等が参加し、トークイベントやレーサー・スポーツ用義足体験会
- ・大観覧車でのカウントダウン開始: 神戸・モザイク
200日前、100日前、30日前、1日前、大会期間中



③ 100日前 (2024年2月)

- ・開幕100日前セレモニー & スマレゾカー凱旋イベント (2月7日) : 市役所
石田駆選手、高橋峻也選手、新保大和選手、大会ボランティア等が参加し、大会への意気込み表明、スマレゾカーの活動報告、新大会サポーターの発表
- ・神戸で世界を体感せよ! 開幕100日前イベント (2月12日) : 神戸三宮センター街
商店街に陸上トラックを設置し、山本篤選手、稲垣克明選手、近藤元選手 (以上義足ランナー)、北浦春香選手 (車いすランナー) によるデモンストレーションラン、

増田明美会長、小林祐梨子氏 (大会アンバサダー)、4選手によるトークイベント、レーサー・スポーツ用義足体験会

- ・パラスポーツに触れる企画展 & 謎解きクイズラリー (2月19日～3月10日) : 神戸ハーバーランド umie
パラスポーツの歴史やフェスピック神戸大会関連資料、スポーツ用義足やレーサー等の用具などを展示した企画展と謎解きクイズラリー
- ・親子でパラ陸上に挑戦! 開幕100日前記念イベント (2月23日) : 神戸ハーバーランド umie
前川楓選手作の絵本読み聞かせ & トークショー、レーサー・スポーツ用義足体験会



④ 20日前 (2024年4月)

- ・神戸まつりでのPR (4月21日) : 東遊園地
永尾嘉章氏、野口みずき氏 (以上大会アンバサダー)、辻沙絵選手、福永凌太選手、新保大和選手、湯口英理菜選手、山手勇一選手、田巻佑真選手等によるパレード参加、レーサー体験会、トークセッション
- ・開幕20日前ステージ & 体験イベント (4月27日) : 神戸・明石町筋
永尾嘉章氏、三津家貴也氏、大矢勇氣選手、岡野華子選手、白砂匠庸選手、朝原宣治氏 (オリンピック)



等が参加し、トークステージやメダルかけリレー、レーサー・やり投げ・20mラン体験会

・パラスポーツ企画展の実施

100日前の企画展で制作したパネル等を活用し、「パラスポーツに触れる企画展」を実施 (神戸ハーバーランド umie OS シネマズ、中央図書館、神戸こども本の森)



(2) メディアへの積極的な話題提供

パラアスリート等による体験型授業や、特別支援学校と連携した選手・大会関係者へのおもてなし、神戸科技高の生徒による投てき台座固定用プラットフォームの製作など、本大会での特色的な取り組みをメディアへ積極的に話題提供した。

とりわけ地元メディアには、大会直前期より特集を組むなど世界パラ陸上に関する情報を多く発信していただき、集客など、大会の成功に大きく貢献していただいた。

(3) 大会アンバサダー、大会サポーター等による発信

メディアや一般の方に発信力のある著名人を大会アンバサダーや大会サポーター等に就任していただき、イベント参加やPR動画の出演等を通じてPRを行った。

① 大会スペシャルサポーター、大会サポーターによるPR動画

大会スペシャルサポーターには山中伸弥氏に、大会サポーターには竹下景子氏、武田真一氏、望海風斗氏、二宮和也氏にそれぞれ就任していただき、応援動画を制作し、市内デジタルサイネージ等で放映。

② パラアスリートによるトークイベント

「世界最速の日」(2023年10月27日) に、マラソン世界記録保持者の和田伸也選手、ガイドランナーの長谷部匠選手と小林祐梨子氏によるトークイベントを開催 (東京・丸の内)

③ 陸上インフルエンサーによる動画・SNS配信

若者を中心に人気の高い陸上インフルエンサーの三津家貴也氏を大会PR隊長に任命。YouTube、TikTok、Instagramで世界パラ陸上のPRに資する動画コンテンツ

を定期的に配信。累計約1,800万回再生（2024年7月末時点）



④ラジオ・TVへの出演

- ・地元ラジオ局の番組に増田会長やパラアスリート等がゲスト出演（1回/月、計37回）
- ・プロ野球生中継に山本篤選手がゲスト出演（2023年4月26日）



(4) 広報紙KOBEでの発信

広報紙KOBEの2024年5月号で直前特集を掲載



2. 接触機会の拡大による認知度向上

(1) 公共施設・集客施設等での都市装飾

①大会ポスター・パンフレット

- ・市内公共施設や学校、商店街、全国の陸上競技場等にポスター掲出、大会パンフレットや競技の見どころを

まとめたパンフレットを配架

②駅・バス停などでの交通広告

- ・地下鉄・JR・私鉄各社の市内主要駅及び市内バス停での交通広告、地下鉄車両や市バスのラッピング広告、神戸空港及び関西国際空港での壁面装飾やサイン広告を掲出

③バナー等掲出

- ・フラワーロードでのバナー掲出、総合運動公園での横断幕掲出、花時計やインフィオラータでの世界パラ陸上になんだデザインの掲出



photo : ©Kinugasa Natsumi

(2) デジタルサイネージを活用した動画放映

- ・市内公共施設、地下鉄・JR・私鉄、空港等のデジタルサイネージや市内大型デジタルサイネージでの動画放映



(3) 公式グッズの配布

- ・大会ロゴやキービジュアルをデザインした公式グッズを作成し、イベントなどで活用

3. 集客力あるイベントでの体験型PRブースの出席

- ・市内外の集客力のあるイベントに出展し、レーサーやスポーツ用義足の体験会を実施（73回）
- ・パリ世界パラ陸上競技選手権大会でのPRブース出展
- ・メリケンパークでのパラ陸上競技記録会（ストリート陸上）の開催（2022年4月30日）

4. 子どもや若者をメインターゲットとしたプログラムの実施

(1) こども記者

- ・神戸市や近隣都市の小学生で「子ども記者団」を結成。日本パラ陸上競技選手権大会でのパラアスリートや、レーサー・スポーツ用義足を製作する会社取材し、WEB等で「子ども記者新聞」として発信。大会期間中もプレスカンファレンスに参加、選手や大会スタッフを取材し、WEB等で発信



(2) 大学生企画イベント

- ・地元大学生が若者に訴求するイベントを企画・実施
- ・神戸の観光スポットに設置したパラスポーツになんだクイズに回答するスタンプラリー（2023年10月29日～12月17日）
- ・大学祭でのパラスポーツ体験会の開催や応援オブジェの作成（2023年11月2日、3日）
- ・「BE KOBE」モニュメントなど市内4か所で大会をPRするプロジェクトマップ（2023年12月9日、10日、27日）及びSNSでの発信

5. 大会期間中の集客イベントの実施

(2024年5月17日～25日)

(1) 増田会長の競技解説・応援企画

(20日、21日、23日、24日のイブニングセッション)

- ・増田会長や日本代表選手団コーチ等が会場で競技の解説をしながら観客と一緒に応援。解説はYouTubeでリアルタイム配信



(2) 陸上インフルエンサーによる発信

- ・三津家貴也氏によるブライドラン挑戦企画の実施・動画配信（19日）、増田会長との会場紹介動画の配信（20日）



(3) 大会サポーターの動画放映（17日～25日）

- ・会場限定の応援動画を制作し、計18本を放映

(4) 両腕に障がいのある市内高校生によるドローン空撮（19日）

- ・生まれつき両腕のないドローン操縦士として活躍する市内高校生が、イブニングセッション前に競技場を空撮し、大型映像装置に放映

(5) 神戸ゆるキャラレース（25日）

- ・イブニングセッション前に、神戸市各区・兵庫県のゆるキャラ8体によるレースを開催

(6) 市内大学生・留学生によるお弁当開発・販売

- ・地元大学生・留学生が弁当事業者と共同で、地元食材を活用した弁当と世界各国の料理を盛り込んだ弁当を開発し、会場内限定で販売

▶ メディアセンター

WPA が示す「メディア対応ガイド」で示された「各種運営スタッフの配置」、「メディア認定」、「メディアの宿泊施設・移動手段」、「通信環境」、「メディア向け施設（メディアセンター、プレス席、ミックスゾーン等）」、「フォトマネージャー」、「大会公式カメラマン」、「ニュースサービス」、「発行物」、「ランゲージサービス」の内容を参考に、神戸大会の規模（本大会は国内メディアが多数を占めるとの見込み）に応じた実施計画を策定・運営した。

1. メディアセンターの会場設営・開館時間

- ・ 5月15日からアクレディテーションカード発行業務開始のためプレオープン（～16日まで9時～17時）
- ・ 5月17日から施設開放（7時30分～22時45分）

2. メディアセンターの運営サービス

- ・ WiFi通信の利用提供・取材用ワークスペースの提供（センター内は120席分用意）
- ・ アクレディテーションカード受付・ケータリングの補充管理・スタートリストの提供（ボランティア対応）
- ・ ミックスゾーンでの選手インタビューの案内対応
- ・ フォト取材におけるルール案内
- ・ 公式カメラマン撮影写真をメディアに提供
- ・ 前日の競技結果や神戸大会に関する情報をデイリーニュースとして毎日発行し、大会HPで発信
- ・ 神戸市内の観光情報をモニターに動画で放映

3. メディアセンターの利用者

国内外の17か国の385名が利用。

※海外メディア16か国35名（ブラジル12名、中国4名、ドイツ3名、イギリス2名、アイルランド2名、タイ2名、オーストラリア・コロンビア・イタリア・ポーランド・スイス・UAE、インドネシア・韓国・モンゴル・モーリシャス（各1名）

4. 関連行事

①メディアカンファレンス

（5月16日、12時00分～、メディアセンター内）

- ・ 出席者は、ポール・フィッツジェラルドWPA代表、増田

明美組織委員会会長、出場選手6名（山本篤、辻沙絵（以上日本）、ハンナ・コックロフト（英国）、ホリー・ロビンソン（ニュージーランド）、ノア・マローン（米国）、ノエミ・アルフォンス（モーリシャス）

②メディアツアー

（5月16日、13時30分～19時30分）

- ・ 海外メディアに神戸観光の地場産業・食の魅力を紹介するために神戸観光局が企画
- ・ 行程：竹中大工道具館、菊正宗酒造記念館、布引の滝（雄滝）、ステッキハウス

③メディアレース

（5月20日、14時～15時）

- ・ メディアを対象にパラ陸上競技に自由参加できる世界パラ陸上恒例行事
- ・ 本格的に競技場のトラック・タイム計測器を使用。ユニバーサルリレー400m（車いす100m×2、ブラインドラン100m×2）に6チーム・36名が参加



▶ ホストブロードキャスト

ホストブロードキャスト（HB）はIPC/WPAの要求に基づき本大会の国際映像の制作及び世界パラ陸上の放送権を取得した放送局（RHB）への放送サービスの提供に関する業務である。

大会期間中、HBは国際映像の制作にあたり、映像撮影および編集、そして中継配信映像をRHB向けに提供したほか、IPCが運営するYouTubeチャンネル「paralympic games」で配信する用途で英語コメンテーターの解説音声を入れた国際映像を制作し提供した。

1. 神戸大会用のブロードキャストガイドの製作

HBとIPC/WPA担当者が協議調整を行い、とりまとめた神戸大会向けのブロードキャストガイドブックに沿って映像制作に着手。HBはIPC/WPAから指示を受けて撮影用カメラの配置数を定めたカメラプランに基づき、IPCを通してRHBにカメラポジションを提示した。

2. 大会期間中のHBの運営

国際映像制作スタッフ数は約90人（/日）体制で活動。カメラ台数は21台、リモート移動カメラ、クレーンカメラ、ステディカムなど特殊カメラを駆使して、競技映像をはじめ、開・閉会式映像、メダルセレモニーなど、高品質なHD映像（1080i/59.94）と音声（自然音と英語実況）を撮影し、ライブ中継と録画中継により、各国のRHBに衛星やファイバー回線を通じて配信した。

国際映像での競技に関連するテレビグラフィクスは英語で表示され、スタートリスト、リアルタイムデータのタイミング計時、結果などが含まれる。

そのほか、最終競技終了後に5分間の国際ニュース映像と、引き続き26分のハイライト番組（英語ナレーション付き）も連日配信した。

さらにクラウドを通して提供した映像へのアクセスや、アスリートのインタビューを行う専用ミックスゾーン、独自映像サービス、専用カメラポジションなど、有償でRHBに様々なサービスを提供し、取材・制作活動をサポートした。



▶ スポンサー

1. スポンサー制度

2020年2月より大会の主催者であるIPC/WPAと協議を開始。2022年2月にIPCとの協議によりスポンサーシップの内容について合意した。

2. スポンサーセールスの開始

2022年8月、地元経済団体への大会概要およびスポンサー制度の説明を皮切りに、スポンサーセールスを開始。地元企業やパラスポーツへの関心の高い企業を中心にセールス活動を展開した。

3. 就任状況

プラチナスポンサー 2社、ゴールドスポンサー 4社、オフィシャルサプライヤー 3社、シルバースポンサー 22社の計31社のスポンサーに就任していただき（スポンサー企業は写真編に掲載）適宜公表した。

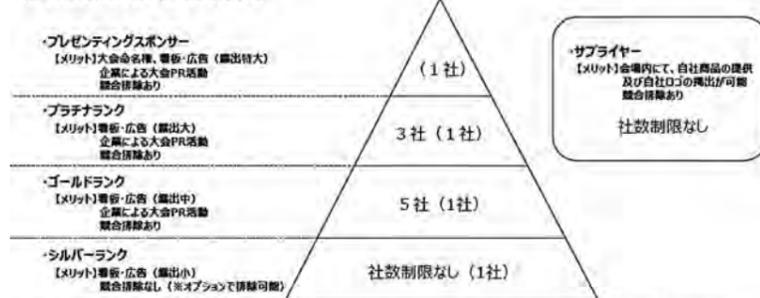
4. スポンサーメリットの提供

スポンサーを公表した後、大会PR用ポスター、チラシ、ホームページにスポンサー企業名を掲載したほか、大会期間中には、スポンサー企業名の入った看板を設置したり、スポンサーブースの提供を行った。また、スポンサー企業は様々なアクティベーションを企画・実施した。

① 看板・表彰式パネル



〈参考〉本大会スポンサー制度の概要



※（ ）内の数字はIPC/WPA（国際パラリンピック委員会/世界パラ陸上競技連盟）のスポンサー数

② スポンサーブース・アクティベーション



③ ポスター・チラシ・ホームページ



5. スポンサーとの連携

組織委員会とスポンサー企業とで定期的に情報共有・交換を行うスポンサーミーティングを計8回開催。大会理念の浸透を図るとともに各企業の取り組みについて情報共有を図った。

2024年4月27日の開幕20日前イベントでは、スポンサーミーティングで企画した「メダルかけリレー」を実施。イベントの参加者が各国の言葉で「がんばれ！」と応援しながら1つのメダルをつなぐ取り組みを行った。

▶ 寄附

様々な手法により企業・団体・個人からの寄附支援を募った。

1. 個人版ふるさと納税

2021年12月に個人版ふるさと納税でのメニュー取り扱いを開始。2023年8月に返礼品メニューとして公認ギフトセットを開発。同返礼品は、「ESSE ふるさと納税グランプリ」で銀賞を受賞。6,846件の支援をいただいた。



2. 企業版ふるさと納税

2022年10月に企業版ふるさと納税でメニュー取り扱いを開始。96件の支援をいただいた。

3. ONE クラス応援制度

子どもたちに大会観戦を通じて、感動と多様性や共生社会について学ぶ機会を提供するため、企業・団体・個人に、観戦に必要な経費（入場チケット・交通費・応援グッズ）を支援いただく制度を創設し、2023年10月

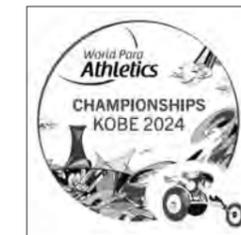
を開始。1口5万円からの支援をお願いしたところ、188件の支援をいただいた。



▶ 大会ロゴ等のデザイン

大会ロゴマーク及びキービジュアルを2020年7月の公募により決定。また、2023年6月には、大会で使用する各種デザインの統一性を担保するため、総括デザイナーを選定した。

【大会ロゴマーク】



【キービジュアル】



▶ 商標権・コマーシャルクリーン

大会ロゴやキービジュアルについては2021年、大会名称については2022年に、それぞれ商標権の商標出願・登録を行った。

また、本大会においては、スポンサーの権利を守るため、アンブッシュマーケティング（便乗商法）対策として大会会場エリア内でのスポンサー以外の企業広告等についてマスキングを実施した。

▶ グッズ

大会期間中、競技場内で大会公式オリジナルグッズ等を販売した。大会の基本理念が掲げるインクルーシブ社会の実現に寄与することを目的に、売店の運営の一部を障がい者を雇用する団体に委託した。



大会公式オリジナルグッズ等として、Tシャツ・マグカップ・スカーフ等を販売し、全て完売した。

【主なグッズ】



【チケット販売価格】

販売区分	S席	A席	こどもS席	こどもA席	障がい者割引S席	障がい者割引A席
一般前売販売	¥1,800	¥800	¥800	¥400	¥800	¥400
現地販売(当日のみ)	¥2,000	¥1,000	¥1,000	¥500	¥1,000	¥500
団体販売(10枚以上)	¥1,700	¥700	¥700	¥400	¥700	¥400

▶ チケット

本大会では、有償チケットの販売を決定。パラ陸上競技において、国内で初めてチケットを有料制とした大会となった。

1. 事業者の公募・プロモーションの展開

2023年9月に委託事業者を選定し、チケット販売の準備を進めた。並行して事業者ホームページでのPRや関西一円で交通広告を実施した。

2. 販売

先行・前売販売は、インターネット及び主要コンビニエンスストアでの販売として、2024年1月に、大会オリジナルTシャツ等とのセット券を数量限定で販売したところ、即日完売した。2月以降、一般前売販売、団体販売、外国語対応での販売を開始した。

神戸まつりや大会20日前イベントでは、臨時販売所を開設し、プロモーションとともに販売も行った。

大会期間中は、インターネット等の販売に加えて、総合運動公園駅前にブースを設置し、現地販売を実施した。

なお、大会公式チケットの売上の一部は、2024年1月1日に発生した令和6年能登半島地震被災地のパラスポーツ復興支援として石川県障害者スポーツ協会に寄付した。



▶ 地域・おもてなし①(体験型授業(研修))

本大会の機運醸成を図るとともに、学校観戦会参加校の事前学習の機会や障がいや多様性への理解促進のための交流事業として、神戸市内の小・中・高・特別支援学校及び地域コミュニティにおいてパラスポーツ体験型授業(研修)を実施した。大会終了後もレガシー事業として継続し、大会理念でもある「インクルーシブな社会の実現」を目指していく。

1. 子どもたち

・あすチャレ!スクール / あすチャレ!ジュニアアカデミー
神戸市では、2014年度より日本財団パラスポーツサポートセンターが主催する、パラアスリートによるパラスポーツの体験型授業を市内の小・中・高・特別支援学校にて開催している。大会開催に向けて市教育委員会と連携して各学校へ周知・募集を行った結果、2023年度は前年度比約2.2倍の開催校数となり、パラスポーツを通じて共生社会への気づきや学びの機会を多くの学校に提供することができた。

【開催プログラム】

車いす陸上/車いすバスケットボール/ゴールボール
【開催実績(2014-2023年度)】122校、そのうち2023年度46校

・パラレゾ for School

市内の小・中・高・特別支援学校を対象に、パラア



スリートを支えるガイドランナーが講師となり、共生社会や多様性について学ぶ体験型授業を組織委員会が創設。市教育委員会と連携して各学校へ周知・募集し、2023年9月より実施。ブラインドランナーとガイドランナーの両方を体験しながら、障がいの有無にかかわらず、パラスポーツに参画する楽しみやあきらめない気持ち、共に生きることの大切さを子どもたちと共有した。

【開催実績(2023年度)】14校

2. 地域コミュニティ

・パラレゾ for Community

地域コミュニティ(ふれあいのまちづくり協議会など)を対象に、パラアスリートを講師とした体験型研修を組織委員会が創設。市内各区役所地域協働課と連携して各団体へ周知・募集し、2023年7月より実施。様々な年齢層の方に参加いただき、車いすユーザーを想定した名刺交換ワークや「障がい」をテーマにしたグループワークを通じて、障がいや共生社会への理解促進を図り、大会への関心を高めた。

【開催実績(2023年度)】7団体

※『パラレゾ』=造語

「パラスポーツ」とレゾナンスの掛け合わせで生まれた「体験型の交流事業」の総称。相手の感情や考えに共感することで、より深い理解を生み出す現象をレゾナンス(共鳴)といい、一人ひとりの個性が響き合うことが共に生きる社会の第一歩となる。そんな想いから誕生した造語。



▶ 地域・おもてなし② (特別支援学校の取り組み)

大会理念の実現のために掲げた「5つの柱」のうち、「様々な支え手の力を結集した大会の運営」「パラスポーツを通じた障がいや多様性への理解促進」「世界に向けた兵庫・神戸の魅力発信」を実現する取り組みの1つとして、日頃から作業学習や就労支援学習が実施されている特別支援学校の児童生徒の参加を得て、選手団やIPC/WPA、観客等におもてなしを提供した。

【連携校】

神戸市在住の児童生徒が通学する特別支援学校12校
 神戸市立：いぶき明生支援学校、青陽須磨支援学校、
 青陽灘高等支援学校、灘さくら支援学校、
 盲学校、友生支援学校
 兵庫県立：芦屋特別支援学校、神戸聴覚特別支援学校、
 神戸特別支援学校、視覚特別支援学校、
 西神戸高等特別支援学校、
 のじぎく特別支援学校

1. 応援メッセージカード、お土産小物の製作・配布

選手団、IPC/WPAに歓迎や応援の気持ちを伝えるため、英語で応援メッセージを書き込んだメッセージカードやお土産小物を製作した。

これらを選手団やIPC/WPAの宿泊施設において1人1つずつ配布したところ、選手がSNSにメッセージカードを投稿する等の反響があった。

2. コーヒー・焼き菓子の提供

競技期間中、VIPラウンジやボランティアセンターにおいて喫茶の提供を行った。当日提供されたコーヒーや焼き菓子は地元老舗コーヒー店の監修を受けており、連日多くの方が本格的な味わいを楽しんだ。

3. 地下鉄駅舎、競技会場周辺の清掃活動

本大会のPR活動、神戸市営地下鉄の主要駅や神戸総合運動公園の利用者に対するおもてなしの一環として、駅舎内や競技会場周辺で清掃活動を実施した。

4. 和太鼓ウェルカム演奏

選手の宿泊施設の食事会場において、歓迎や応援の気持ちを伝えるため、市立盲学校和太鼓部による演奏を実施した。演奏後には選手と生徒と一緒に和太鼓を演奏する等、選手と生徒との交流が生まれた。

5. 歓迎装飾作品の展示

今回連携した全12校において「花」をテーマに1人1枚の絵を描き、それらを学校毎に1つの大きな作品として再構成し、競技会場の装飾として入場ゲートに展示した。



▶ 学校観戦会

大会理念の一つである「インクルーシブな社会の実現」に向け、多様性や共生社会について知る・学ぶきっかけとして、兵庫県内の児童・生徒（学校単位）に、競技会場にて直接競技を観戦してもらう取組を実施した。参加に際して、各学校にかかる経費（入場チケット・交通費・応援グッズ）は、学校観戦会の趣旨に賛同した多くの企業・団体・個人からの寄付が充てられた。

1. 学校観戦会参加校の募集

■ 学校観戦会の概要

参加対象：兵庫県内の小学校・中学校・高等学校・特別支援学校・国際学校

参加日時：大会期間中の平日6日間（午前の部）

※一部、午後の部、土曜日参加の学校あり

申請方法：申請フォーム（電子申請）

申請期間：2023年6月下旬～8月末日

参加要件：参加に係る費用は組織委員会負担

（入場チケット料、交通費、応援グッズ）

■ 参加促進への取組・機運醸成

- ・各学校が学校行事として学校観戦会に参加できるよう、大会の1年半前の2022年10月より、兵庫県下の学校に、情報提供を開始した。
- ・2023年度から、競技アシスタントを講師とした『体験型授業：パラレゾ for School』を創設・実施。共生社会や多様性への学びを通じ、大会への機運を高めた。
- ・本大会メダルをモチーフとした応援グッズ（愛称：学校



観戦会パスポート）を参加者全員に配布。競技ミニガイドや応援ミニメガホンなどの機能を凝縮し、大会観戦を楽しめる工夫をした。



2. 学校観戦会の実績（129校、28,249人）

▼ 校種別参加校（人数）集計

学校区分	総数		市立学校		県立・私立学校	
	校数	人数	校数	人数	校数	人数
小学校	70	12,653	65	12,122	5	531
中学校	39	10,566	35	9,698	4	868
高等学校	5	2,021	2	1,190	3	831
特別支援学校	13	2,756	6	1,875	7	881
義務教育学校	1	208	0	0	1	208
国際学校	1	45	0	0	1	45
合計	129校	28,249人	108校	24,885人	21校	3,364人

▼ 日程別参加校（人数）集計

学校観戦日程	校数・人数		校数	人数
	校数	人数		
5/17 (金)	9:00～12:00	40	5,771	
5/18 (土)	9:00～12:00	1	1,030	
5/19 (日)	9:00～12:00	0	0	
5/20 (月)	9:00～12:00	21	4,298	
5/21 (火)	9:00～12:00	30	4,786	
5/22 (水)	9:00～12:00	29	4,351	
5/23 (木)	9:00～12:00	21	3,189	
5/23 (木)	17:00～20:00	1	53	
5/24 (金)	9:00～12:00	23	4,390	
5/24 (金)	17:00～20:00	3	325	
5/25 (土)	9:00～12:00	2	56	
合計		※171校	28,249人	

※のべ校数（日程分散参加校あり）

3. 大会の成果とレガシーの継承

限界に挑むパラアスリートを間近にした大会観戦は、想定していた以上に子どもたちの心を動かし、大声援の形でパラアスリートを後押しした。多くの出場選手から、メディア取材を通じて、『子どもたちの声援が励みになった』などの声が世界に発信され、それぞれの記憶に残る大会となった。子どもたちに芽生えた障がいや多様性への理解を、神戸の地に根付く『大会レガシー』として継承していく。



Medallists by Event

出典：<https://www.paralympic.org/athletics/kobe-2024/live-results>

Medallists by Event					
Event Name	Date	Medal	Name	NPC Code	Result
Men's 100m T47	FRI 17 MAY	GOLD	FERREIRA dos SANTOS Petrucio	BRA	10.83
		SILVER	DERUS Michal	POL	10.88(.877)
		BRONZE	WANG Hao	CHN	10.88(.878)
Men's 100m T72	FRI 17 MAY	GOLD	CALCAGNI Carlo Fabio Marcello	ITA	15.39
		SILVER	MARQUES KRIEGER QUINTINO Vinicius	BRA	17.54
		BRONZE	PODOBAJEVAS Deividas	LTU	17.82
Men's 5000m T11	FRI 17 MAY	GOLD	JACQUES Yeltsin	BRA	14:53.97
		SILVER	AGRIPINO dos SANTOS Julio Cesar	BRA	14:57.70
		BRONZE	KARASAWA Kenya	JPN	15:03.25
Men's Long Jump T11	FRI 17 MAY	GOLD	CHEN Shichang	CHN	6.62
		SILVER	DI Dongdong	CHN	6.50
		BRONZE	YE Tao	CHN	6.48
Men's Shot Put F37	FRI 17 MAY	GOLD	MARUFKHUJAEV Kudratillokhon	UZB	15.68
		BRONZE	BEN MOSLAH Ahmed	TUN	15.34
Men's Shot Put F55	FRI 17 MAY	GOLD	RUZHDI Ruzhdi	BUL	12.04
		SILVER	DURIC Nebojsa	SRB	11.57
Women's 100m T72	FRI 17 MAY	GOLD	ANDRUSZKIEWICZ Magdalena	POL	17.51
		SILVER	TORTOSA VILA Judith	ESP	18.53
		BRONZE	GROOMS Sayers	USA	19.02
Women's 400m T37	FRI 17 MAY	GOLD	JIANG Fenfen	CHN	1:02.48
		BRONZE	GOUWS Liezel	RSA	1:08.23
Women's Long Jump T20	FRI 17 MAY	GOLD	CASSIANO DA SILVA Zileide	BRA	5.80
		SILVER	OLIVEIRA de LIMA Debora	BRA	5.54
		BRONZE	ALTIN Fatma Damla	TUR	5.43
Women's Shot Put F41	FRI 17 MAY	GOLD	TLILI Raoua	TUN	10.51
		SILVER	KHAKIMOVA Kubaro	UZB	9.88
		BRONZE	BUITRAGO ARIZA Mayerli	COL	9.21
Women's Discus Throw F55	FRI 17 MAY	GOLD	CASTANO SALAZAR Erica Maria	COL	26.88
		SILVER	DONG Feixia	CHN	26.37
		BRONZE	GUERRERO CAZARES Rosa Maria	MEX	25.80
Women's Javelin Throw F46	FRI 17 MAY	GOLD	ARNOLD Hollie	GBR	40.89
		SILVER	SOKOLOV Saska	SRB	38.55
		BRONZE	ROORDA Noelle	NED	38.41

Medallists by Event					
Event Name	Date	Medal	Name	NPC Code	Result
Women's Club Throw F32	FRI 17 MAY	GOLD	BRITO OLIVEIRA Wanna Helena	BRA	26.66
		SILVER	IBRAHMI Maroua	TUN	26.60
		BRONZE	BOSCOLO CASTILHO GONCALV Giovanna	BRA	24.35
Men's 100m T12	SAT 18 MAY	GOLD	YILDIRIM Serkan	TUR	10.53
		SILVER	MALONE Noah	USA	10.55
		BRONZE	SHAW Zachary	GBR	10.97
Men's 100m T37	SAT 18 MAY	GOLD	GOMES de MENDONCA Ricardo	BRA	11.30
		BRONZE	PURNOMO Saptoyogo	INA	11.63
Men's 100m T38	SAT 18 MAY	GOLD	BLACKWELL Jaydin	USA	10.86
		SILVER	YOUNG Thomas	GBR	11.02
		BRONZE	ZHOU Peng	CHN	11.07
Men's 5000m T13	SAT 18 MAY	GOLD	OUHDADI EL ATABY Yassine	ESP	14:27.76
Men's High Jump T64	SAT 18 MAY	GOLD	BROOM-EDWARDS Jonathan	GBR	2.04
		SILVER	LOCCIDENT Derek	USA	2.04
		BRONZE	LEPIATO Maciej	POL	2.01
Men's Long Jump T47	SAT 18 MAY	GOLD	SOL CERVANTES Robiel Yankiel	CUB	7.60
		BRONZE	WANG Hao	CHN	7.25
Men's Shot Put F12	SAT 18 MAY	GOLD	LOPEZ GONZALEZ Kim	ESP	15.22
		SILVER	DZILNA Emils	LAT	15.00
		BRONZE	PAKBAZ Saman	IRI	14.56
Men's Javelin Throw F57	SAT 18 MAY	GOLD	LINS NOBRE Cicero Valdiran	BRA	50.18
		SILVER	KHALVANDI Muhammet	TUR	49.80
		BRONZE	PURWOLAKSONO Fauzi	INA	48.25
Men's Club Throw F32	SAT 18 MAY	GOLD	MEHIDEB Ahmed	ALG	37.61
		SILVER	FERHAH Walid	ALG	36.30
Women's 100m T13	SAT 18 MAY	GOLD	VALIYEVA Lamiya	AZE	11.94
		SILVER	SOARES DA SILVA Rayane	BRA	12.41
		BRONZE	MAJAGA Gloria	BOT	13.41
Women's 1500m T11	SAT 18 MAY	GOLD	TESFAW Yayesh Gate	ETH	4:31.77
		SILVER	HE Shanshan	CHN	4:34.12
		BRONZE	COETZEE Louzanne	RSA	4:50.78
Women's 1500m T13	SAT 18 MAY	GOLD	MENIGSTU Tigist Gezahagn	ETH	4:18.90
		SILVER	EL IDRISSE Fatima Ezzahra	MAR	4:24.58
		BRONZE	BOUSAID Somaya	TUN	4:34.74
Women's 5000m T54	SAT 18 MAY	GOLD	TIAN Yajuan	CHN	11:41.76
		SILVER	MENJE Merle Marie	GER	11:41.96
Women's Long Jump T37	SAT 18 MAY	GOLD	WEN Xiaoyan	CHN	5.42
		SILVER	ANGELINE Anais	MRI	4.50
Women's Shot Put F37	SAT 18 MAY	GOLD	LI Yingli	CHN	13.52
		BRONZE	MI Na	CHN	12.83

Medallists by Event					
Event Name	Date	Medal	Name	NPC Code	Result
Women's Discus Throw F57	SAT 18 MAY	GOLD	SAIFI Nassima	ALG	33.90
		SILVER	KHAMDAMOVA Mokhigul	UZB	33.28
		BRONZE	XU Mian	CHN	31.55
Women's Javelin Throw F13	SAT 18 MAY	GOLD	ZHAO Yuping	CHN	44.86
		SILVER	EDER Natalija	AUT	38.52
Men's 400m T11	SUN 19 MAY	GOLD	KINDA Chris	NAM	52.35
		SILVER	UCEDA NOVAS Eduardo Manuel	ESP	52.61
		BRONZE	de SOUZA GOMES Felipe	BRA	52.65
Men's 400m T34	SUN 19 MAY	GOLD	ALHAMMADI Mohamed	UAE	51.10
		SILVER	KTILA Walid	TUN	51.12
		BRONZE	MANNI Henry	FIN	55.75
Men's 400m T36	SUN 19 MAY	GOLD	STEDMAN William	NZL	53.36
		SILVER	TURNER James	AUS	53.52
		BRONZE	THELAIDJIA Fakhr Eddine	ALG	54.53
Men's 400m T53	SUN 19 MAY	GOLD	FAIRBANK Pierre	FRA	51.71
		SILVER	YOO Byunghoon	KOR	51.84
		BRONZE	KHELIFI Mohamed Nidhal	TUN	53.41
Men's High Jump T47	SUN 19 MAY	GOLD	TOWNSEND Roderick	USA	2.05
		SILVER	Nishad Kumar	IND	1.99
Men's Long Jump T63	SUN 19 MAY	GOLD	SCHAEFER Leon	GER	7.22
		SILVER	de JONG Joel	NED	7.04
		BRONZE	MBUYAMBA Noah	NED	6.65
Men's Shot Put F40	SUN 19 MAY	SILVER	MONTEIRO Miguel	POR	10.95
		BRONZE	TNAIASH Garrah	IRQ	10.82
Men's Shot Put F53	SUN 19 MAY	GOLD	OCHKHIKIDZE Giga	GEO	8.79
		SILVER	GANI Abdelillah	MAR	8.58
		BRONZE	MOKHTARI HEMAMI Alireza	IRI	8.43
Men's Discus Throw F52	SUN 19 MAY	GOLD	ROCHA Andre	BRA	20.72
		SILVER	SANDOR Velimir	CRO	16.92
		BRONZE	de SANTOS ESPINOSA Erik Alejandro	MEX	16.32
Women's 100m T38	SUN 19 MAY	GOLD	EKLER Luca	HUN	12.85
		SILVER	PALOMEQUE MORENO Karen Tatiana	COL	12.88
		BRONZE	JIMENEZ SANCHEZ Darian Faisury	COL	13.10
Women's 100m T47	SUN 19 MAY	GOLD	RODRIGUEZ Kiara	ECU	12.27
		SILVER	SOKOLOV Saska	SRB	12.65
		BRONZE	GRIMALDI Anna	NZL	12.72
Women's 200m T35	SUN 19 MAY	GOLD	ZHOU Xia	CHN	29.45
		SILVER	GUO Qianqian	CHN	29.77
		BRONZE	PAL Preethi	IND	30.49
Women's 400m T11	SUN 19 MAY	GOLD	SIMPLICIO DA SILVA Thalita Vitoria	BRA	57.45
		SILVER	LIU Cuiqing	CHN	58.32
		BRONZE	ISHITILE Lahja	NAM	58.37

Medallists by Event					
Event Name	Date	Medal	Name	NPC Code	Result
Women's 800m T53	SUN 19 MAY	GOLD	ZHOU Hongzhuan	CHN	1:56.54
		SILVER	GAO Fang	CHN	2:03.14
		BRONZE	DOGANGUN Hamide	TUR	2:10.42
Women's 800m T54	SUN 19 MAY	GOLD	MENJE Merle Marie	GER	1:58.47
		SILVER	ZHOU Zhaoqian	CHN	1:58.70
		BRONZE	TIAN Yajuan	CHN	1:58.85
Women's Long Jump T12	SUN 19 MAY	GOLD	KHOLBEKOVA Yokutkhon	UZB	5.48
		SILVER	MARTINEZ Sara	ESP	5.27
		BRONZE	SAWADA Uran	JPN	5.00
Women's Shot Put F20	SUN 19 MAY	GOLD	FORTUNE Sabrina	GBR	14.73
		SILVER	MENDES SANCHEZ Poleth Isamar	ECU	13.90
Women's Discus Throw F64	SUN 19 MAY	GOLD	YAO Juan	CHN	43.09
		SILVER	MACHADO PLATA Osiris Aneth	MEX	40.35
		BRONZE	YANG Yue	CHN	38.72
Women's Javelin Throw F34	SUN 19 MAY	GOLD	ZOU Lijuan	CHN	21.22
		SILVER	ZUO Caiyun	CHN	17.75
		BRONZE	EL KASSIOUI Fouzia	MAR	15.71
Men's 100m T13	MON 20 MAY	GOLD	ATHMANI Skander Djamil	ALG	10.44
		SILVER	KAWAKAMI Shuta	JPN	10.70
		BRONZE	KASHAFALI Salum Ageze	NOR	10.79
Men's 100m T44	MON 20 MAY	GOLD	MHLONGO Mpumelelo	RSA	11.34
		SILVER	BERNARD Eddy	MAS	11.77
		BRONZE	GAMAGE Indika	SRI	11.83
Men's 100m T64	MON 20 MAY	GOLD	GUILTY GUILTY Sherman Isidro	CRC	10.88
		SILVER	WOODHALL Hunter	USA	11.13
		BRONZE	LOCCIDENT Derek	USA	11.40
Men's 200m T37	MON 20 MAY	SILVER	KOTKOWSKI Michal	POL	23.44
		BRONZE	PURNOMO Saptoyogo	INA	23.61
Men's 400m T54	MON 20 MAY	GOLD	HU Yang	CHN	44.98
		SILVER	DAI Yunqiang	CHN	45.78
		BRONZE	ZHANG Ying	CHN	46.28
Men's 1500m T11	MON 20 MAY	GOLD	AGRIPINO dos SANTOS Julio Cesar	BRA	4:02.23
		SILVER	YIGZAW Yitayal Silesh	ETH	4:03.20
Men's Long Jump T12	MON 20 MAY	GOLD	NAJAFZADE Said	AZE	7.30
		SILVER	ISHIYAMA Daiki	JPN	7.08
		BRONZE	WONG Kar Gee	MAS	7.05
Men's Shot Put F11	MON 20 MAY	GOLD	ALIPOUR DARBEID Amirhossein	IRI	14.61
		BRONZE	OLAD Mahdi	IRI	13.28
Men's Shot Put F41	MON 20 MAY	GOLD	KAPPEL Niko	GER	14.23
		SILVER	OMONOV Bobirjon	UZB	14.11
		BRONZE	HUANG Jun	CHN	11.37

Medallists by Event					
Event Name	Date	Medal	Name	NPC Code	Result
Men's Discus Throw F56	MON 20 MAY	GOLD	BATISTA dos SANTOS Claudiney	BRA	45.14
		SILVER	KATHUNIYA Yogesh	IND	41.80
		BRONZE	LACZKO Dusan	SVK	39.82
Men's Javelin Throw F38	MON 20 MAY	GOLD	LEMOS RIVAS Jose Gregorio	COL	56.75
		SILVER	LUCUMI VILLEGAS Luis Fernando	COL	52.73
		BRONZE	AN Dongquan	CHN	51.21
Women's 100m T36	MON 20 MAY	GOLD	SHI Yiting	CHN	13.35
		SILVER	AITCHISON Danielle	NZL	13.48
		BRONZE	HIPOLITO Veronica	BRA	14.35
Women's 200m T13	MON 20 MAY	GOLD	SOARES DA SILVA Rayane	BRA	24.89
		SILVER	KERKHOFF Erin	USA	25.58
		BRONZE	SASAKI Mana	JPN	26.87
Women's 400m T20	MON 20 MAY	GOLD	JEEVANJI Deepthi	IND	55.07
		SILVER	ONDER Aysel	TUR	55.19
		BRONZE	ANGULO Lizanshela	ECU	56.68
Women's Long Jump T64	MON 20 MAY	GOLD	JONG Fleur	NED	6.53
		SILVER	van GANSEWINKEL Marlene	NED	5.45
		BRONZE	NAKANISHI Maya	JPN	5.25
Women's Shot Put F34	MON 20 MAY	GOLD	ZOU Lijuan	CHN	9.11
		SILVER	JADHAV Bhagyashri Mahavrao	IND	7.56
		BRONZE	AMOUDI Saida	MAR	7.30
Women's Shot Put F54	MON 20 MAY	GOLD	ZARZA GUADARRAMA Gloria	MEX	8.04
		SILVER	RODRIGUES GOMES Elizabeth	BRA	7.53
		BRONZE	KURBANOVA Nurkhon	UZB	7.48
Women's Discus Throw F53	MON 20 MAY	GOLD	RODRIGUES GOMES Elizabeth	BRA	17.22
		SILVER	ONIDANI Keiko	JPN	14.49
Men's 100m T34	TUE 21 MAY	GOLD	KTILA Walid	TUN	15.29
		SILVER	GONG Wenhao	CHN	15.67
		BRONZE	MANNI Henry	FIN	15.76
Men's 400m T38	TUE 21 MAY	GOLD	BLACKWELL Jaydin	USA	48.87
		SILVER	MEDRANO Ryan	USA	50.53
		BRONZE	CHESSANI GARCIA Jose Rodolfo	MEX	51.19
Men's 400m T52	TUE 21 MAY	GOLD	CARABIN Maxime	BEL	53.06
		SILVER	SATO Tomoki	JPN	57.98
		BRONZE	ITO Tatsuya	JPN	1:01.32
Men's 1500m T13	TUE 21 MAY	SILVER	JEBABLI Rouay	TUN	3:51.77
		BRONZE	BAKA Abdellatif	ALG	3:51.78
Men's High Jump T63	TUE 21 MAY	GOLD	THANGAVELU Mariyappan	IND	1.88
		SILVER	FRECH Ezra	USA	1.85
		BRONZE	GREWE Sam	USA	1.82

Medallists by Event					
Event Name	Date	Medal	Name	NPC Code	Result
Men's Long Jump T13	TUE 21 MAY	GOLD	ASLANOV Orkhan	AZE	7.18
		SILVER	CANO BLANCO Ivan Jose	ESP	6.76
		BRONZE	SVERD Vegard Dragsund	NOR	6.63
Men's Shot Put F20	TUE 21 MAY	GOLD	ZOLKEFLI Muhammad Ziyad	MAS	17.43
		SILVER	MEISSONNIER Soane Luka	FRA	15.92
		BRONZE	CONGO VILLALBA Jordi Patricio	ECU	15.80
Men's Shot Put F32	TUE 21 MAY	SILVER	KONSTANTINIDIS Athanasios	GRE	10.10
		BRONZE	ZISIDIS Dimitrios	GRE	9.52
Men's Shot Put F36	TUE 21 MAY	GOLD	GUENICHI Yassine	TUN	16.33
Men's Javelin Throw F64	TUE 21 MAY	GOLD	Sumit	IND	69.50
		SILVER	KODITHUWAKKU Dulan	SRI	66.49
		BRONZE	Sandeep	IND	60.41
Women's 100m T11	TUE 21 MAY	GOLD	GEBER dos SANTOS Jerusa	BRA	11.93
		SILVER	LIU Cuiqing	CHN	12.00
		BRONZE	SILVA SPOLADORE Lorena	BRA	12.26
Women's 100m T34	TUE 21 MAY	GOLD	COCKROFT Hannah	GBR	16.89
		SILVER	LAN Hanyu	CHN	18.95
		BRONZE	ONODERA Moe	JPN	19.15
Women's 100m T37	TUE 21 MAY	GOLD	WEN Xiaoyan	CHN	12.27
		SILVER	SWANSON Taylor	USA	12.86
		BRONZE	JIANG Fenfen	CHN	13.26
Women's 100m T63	TUE 21 MAY	GOLD	TIARANI Karisma Evi	INA	14.65
		SILVER	TOZAWA Tomomi	JPN	15.76
		BRONZE	MAEGAWA Kaede	JPN	16.11
Women's 100m T64	TUE 21 MAY	GOLD	JONG Fleur	NED	12.71
		SILVER	van GANSEWINKEL Marlene	NED	12.73
		BRONZE	ANDRES BARRIO Sara	ESP	13.00
Women's 400m T12	TUE 21 MAY	GOLD	SAFARZADEH GHAHDRIJANI Hajar	IRI	57.56
		SILVER	GOMES de AGUIAR Lorraine	BRA	58.26
		BRONZE	TEODORO Ketyla	BRA	1:00.21
Women's 1500m T54	TUE 21 MAY	GOLD	ZHOU Zhaoqian	CHN	3:33.86
		SILVER	TIAN Yajuan	CHN	3:33.91
		BRONZE	MENJE Merle Marie	GER	3:34.19
Women's Long Jump T38	TUE 21 MAY	GOLD	EKLER Luca	HUN	5.63
		BRONZE	PALOMEQUE MORENO Karen Tatiana	COL	4.97
Women's Javelin Throw F56	TUE 21 MAY	GOLD	ROCHA MACHADO Raissa	BRA	24.22
		SILVER	MOTAGHIAN MOAVI Hashemiyeh	IRI	22.74
		BRONZE	LIN Sitong	CHN	22.68
Women's Club Throw F51	TUE 21 MAY	GOLD	BHYAN Ekta	IND	20.12
		SILVER	LAKRA Kashish	IND	14.56

Medallists by Event					
Event Name	Date	Medal	Name	NPC Code	Result
Men's 100m T53	WED 22 MAY	GOLD	ALQURASHI Abdulrahman	KSA	14.87
		SILVER	FERNANDES DA SILVA Ariosvaldo	BRA	15.05
		BRONZE	KHELIFI Mohamed Nidhal	TUN	15.23
Men's 400m T37	WED 22 MAY	GOLD	DA SILVA CHAVES Bartolomeu	BRA	50.74
		BRONZE	TISSAOUI Amen Allah	TUN	51.32
Men's 400m T47	WED 22 MAY	GOLD	SADNI Ayoub	MAR	47.30
		SILVER	MAHLALELA Collen	RSA	48.66
		BRONZE	MURODULLOEV Marufjon	UZB	49.27
Men's 1500m T54	WED 22 MAY	GOLD	JIN Hua	CHN	2:54.85
		SILVER	DAI Yunqiang	CHN	2:56.41
		BRONZE	KONJEN Saichon	THA	2:56.90
Men's Long Jump T38	WED 22 MAY	GOLD	ZHONG Huanghao	CHN	6.66
		BRONZE	ZHOU Peng	CHN	6.42
Men's Long Jump T64	WED 22 MAY	GOLD	REHM Markus	GER	8.30
		SILVER	LOCCIDENT Derek	USA	7.69
		BRONZE	MERRILL Trenten	USA	7.35
Men's Shot Put F46	WED 22 MAY	GOLD	KHILARI Sachin Sarjerao	IND	16.30
		SILVER	STEWART Greg	CAN	16.14
		BRONZE	BAKOVIC Luka	CRO	16.04
Men's Javelin Throw F34	WED 22 MAY	GOLD	AFROOZ Saeid	IRI	40.14
		SILVER	VALENCIA Mauricio	COL	37.07
		BRONZE	MENESES MEDINA Diego Fernando	COL	36.54
Men's Club Throw F51	WED 22 MAY	GOLD	DIMITRIJEVIC Zeljko	SRB	34.20
		SILVER	RAMOS HERNANDEZ Mario Santana	MEX	33.62
		BRONZE	Dharambir	IND	33.61
Women's 100m T53	WED 22 MAY	GOLD	ZHOU Hongzhuan	CHN	16.88
		SILVER	GAO Fang	CHN	16.91
		BRONZE	DOGANGUN Hamide	TUR	16.95
Women's 100m T54	WED 22 MAY	GOLD	ALPHONSE Noemi	MRI	16.23
		SILVER	ZHOU Zhaoqian	CHN	16.34
		BRONZE	MUSSINELLI Licia	SUI	16.92
Women's 200m T38	WED 22 MAY	GOLD	PALOMEQUE MORENO Karen Tatiana	COL	25.89
		SILVER	JIMENEZ SANCHEZ Darian Faisury	COL	26.92
Women's 400m T47	WED 22 MAY	GOLD	DA SILVA Fernanda Yara	BRA	57.35
		SILVER	VERA ANDRADE Lisbeli Marina	VEN	58.09
		BRONZE	LUTERAN Petra	HUN	58.35
Women's 1500m T20	WED 22 MAY	GOLD	BIEGANOWSKA-ZAJAC Barbara	POL	4:27.36
		SILVER	DA SILVA BARROS Antonia Keyla	BRA	4:31.81
		BRONZE	BIACSI Ilona	HUN	4:42.51
Women's Shot Put F32	WED 22 MAY	GOLD	BRITO OLIVEIRA Wanna Helena	BRA	7.74
		BRONZE	IBRAHMI Maroua	TUN	5.93

Medallists by Event					
Event Name	Date	Medal	Name	NPC Code	Result
Women's Shot Put F46	WED 22 MAY	GOLD	MALKAMAKI Noelle	USA	13.12
		SILVER	ROBINSON Holly	NZL	12.25
		BRONZE	SAITO Yukiko	JPN	11.72
Women's Discus Throw F41	WED 22 MAY	GOLD	KARIM Youssra	MAR	37.34
		SILVER	TLILI Raoua	TUN	34.94
		BRONZE	LOPEZ MACAS Estefany Gisela	ECU	28.87
Men's 100m T11	THU 23 MAY	GOLD	DI Dongdong	CHN	11.28
		SILVER	YE Tao	CHN	11.36
		BRONZE	UCEDA NOVAS Eduardo Manuel	ESP	11.44
Men's 100m T36	THU 23 MAY	GOLD	DENG Peicheng	CHN	11.95
		SILVER	YANG Yifei	CHN	12.35 (.344)
		BRONZE	DIDANE Mokhtar	ALG	12.35 (.345)
Men's 400m T12	THU 23 MAY	GOLD	YILDIRIM Serkan	TUR	47.47
		SILVER	BOUJA Mouncef	MAR	48.42
		BRONZE	JEBABLI Rouay	TUN	48.78
Men's 400m T13	THU 23 MAY	GOLD	ATHMANI Skander Djamil	ALG	46.44
		SILVER	FUKUNAGA Ryota	JPN	47.86
		BRONZE	BERMUDEZ VILLAR Buinder Brainer	COL	49.07
Men's 400m T20	THU 23 MAY	GOLD	OLIVEIRA CONCEICAO Samuel	BRA	47.73
		SILVER	OBANDO ASPRILLA Jhon Sebastian	COL	47.84
		BRONZE	NOR AZMI Muhammad Ammar Aiman	MAS	48.16
Men's 800m T53	THU 23 MAY	GOLD	FAIRBANK Pierre	FRA	1:43.80
		SILVER	KHELIFI Mohamed Nidhal	TUN	1:44.02
		BRONZE	YOO Byunghoon	KOR	1:44.74
Men's 5000m T54	THU 23 MAY	GOLD	ALRAJEHI Faisal	KUW	10:55.95
		SILVER	KONJEN Saichon	THA	10:56.04
		BRONZE	LUO Xingchuan	CHN	10:57.98
Men's Long Jump T37	THU 23 MAY	GOLD	NASRI Muhammad Nazmi	MAS	6.13
		SILVER	KAMARAS Konstantinos	GRE	6.01
		BRONZE	EVANGELISTA CARDOSO Mateus	BRA	6.01
Men's Shot Put F35	THU 23 MAY	GOLD	NORBEOV Khusniddin	UZB	16.37
		SILVER	JAVANMARDI Seyed Aliasghar	IRI	16.06
		BRONZE	FU Xinhao	CHN	15.55
Men's Discus Throw F11	THU 23 MAY	GOLD	TAPIA Oney	ITA	42.76
		SILVER	OLAD Mahdi	IRI	42.36
		BRONZE	MARINKOVIC Bil	AUT	37.82
Men's Discus Throw F64	THU 23 MAY	GOLD	BLAIR David	USA	60.13
		SILVER	KATANUSIC Ivan	CRO	53.89
		BRONZE	WALSH Harrison	GBR	52.48
Men's Javelin Throw F13	THU 23 MAY	GOLD	PEMBROKE Daniel	GBR	66.96
		SILVER	PIROUJ Ali	IRI	63.15
		BRONZE	NIKPARAST Sajad	IRI	62.30

Medallists by Event					
Event Name	Date	Medal	Name	NPC Code	Result
Women's 100m T12	THU 23 MAY	GOLD	de LA CRUZ SEVERINO Darlenys	DOM	12.43
		SILVER	GOMES de AGUIAR Lorraine	BRA	12.58
		BRONZE	PUTRI Ni Made Arianti	INA	12.85
Women's 200m T36	THU 23 MAY	GOLD	AITCHISON Danielle	NZL	27.47
		SILVER	SHI Yiting	CHN	28.06
		BRONZE	LOVELL Mali	AUS	29.81
Women's 400m T53	THU 23 MAY	GOLD	ZHOU Hongzhuan	CHN	54.57
		SILVER	GAO Fang	CHN	55.78
		BRONZE	DOGANGUN Hamide	TUR	58.00
Women's 400m T54	THU 23 MAY	GOLD	ZHOU Zhaoqian	CHN	53.91
		SILVER	ALPHONSE Noemi	MRI	54.88
		BRONZE	TIAN Yajuan	CHN	54.97
Women's Long Jump T63	THU 23 MAY	GOLD	LOW Vanessa	AUS	5.29
		SILVER	TOZAWA Tomomi	JPN	4.66
		BRONZE	MAEGAWA Kaede	JPN	4.66
Women's Shot Put F33	THU 23 MAY	GOLD	COTA VERA Gilda Guadalupe	MEX	7.77
		SILVER	WU Qing	CHN	7.54
Women's Shot Put F35	THU 23 MAY	GOLD	WANG Jun	CHN	12.06
		SILVER	AKHMATKHONOVA Dilafruzkhon	UZB	8.95
Women's Shot Put F57	THU 23 MAY	GOLD	DJELAL Safia	ALG	11.62
		SILVER	XU Mian	CHN	10.93
		BRONZE	SAIFI Nassima	ALG	10.31
Women's Shot Put F64	THU 23 MAY	GOLD	YAO Juan	CHN	12.50
		SILVER	MIDDLETON Arelle	USA	11.84
		BRONZE	YANG Yue	CHN	11.26
Men's 100m T51	FRI 24 MAY	GOLD	HABSCH Roger	BEL	20.82
		SILVER	FOURNIE Cody	CAN	21.17
		BRONZE	NAVARRO SANCHEZ Edgar Cesareo	MEX	21.85
Men's 100m T52	FRI 24 MAY	GOLD	CARABIN Maxime	BEL	16.79
		SILVER	HERNANDEZ MONDRAGON Salvador	MEX	17.85
		BRONZE	SATO Tomoki	JPN	17.91
Men's 100m T54	FRI 24 MAY	GOLD	TAHTI Leo-Pekka	FIN	13.78
		SILVER	HU Yang	CHN	13.95
		BRONZE	CERVANTES GARCIA Juan Pablo	MEX	13.97
Men's 1500m T20	FRI 24 MAY	GOLD	BRANNIGAN Michael	USA	3:51.71
		SILVER	BAESSA Sandro	POR	3:55.84
		BRONZE	TOGAWA Yuji	JPN	3:55.94
Men's 1500m T46	FRI 24 MAY	SILVER	STOYANOV Hristiyan	BUL	3:49.54
		BRONZE	ROEGER Michael	AUS	3:50.45
Men's Shot Put F38	FRI 24 MAY	GOLD	LEMOS RIVAS Jose Gregorio	COL	17.10
		SILVER	ZIAMNI Lazhar	ALG	12.73

Medallists by Event					
Event Name	Date	Medal	Name	NPC Code	Result
Men's Shot Put F57	FRI 24 MAY	GOLD	KHOSRAVI Yasin	IRI	15.83
		SILVER	PAULINO dos SANTOS Thiago	BRA	15.08
		BRONZE	KOOPIKKA Teijo	FIN	14.74
Men's Javelin Throw F46	FRI 24 MAY	GOLD	VARONA GONZALEZ Guillermo	CUB	65.16
		SILVER	Rinku	IND	62.77
		BRONZE	Ajeet Singh	IND	62.11
Men's Javelin Throw F54	FRI 24 MAY	GOLD	FUENTES YANEZ Edgar Ulises	MEX	30.25
		SILVER	STEFANOUDAKIS Manolis	GRE	29.91
Women's 800m T34	FRI 24 MAY	GOLD	COCKROFT Hannah	GBR	1:52.79
		SILVER	LAN Hanyu	CHN	2:04.99
		BRONZE	LIU Panpan	CHN	2:05.69
Women's Long Jump T11	FRI 24 MAY	GOLD	MIRZAYOROVA Asila	UZB	5.18
		SILVER	SILVA SPOLADORE Lorena	BRA	4.95
		BRONZE	ZHOU Guohua	CHN	4.82
Women's Long Jump T47	FRI 24 MAY	GOLD	RODRIGUEZ Kiara	ECU	6.17
		SILVER	GRIMALDI Anna	NZL	5.84
		BRONZE	LUTERAN Petra	HUN	5.66
Women's Shot Put F12	FRI 24 MAY	GOLD	BURKHANOVA Safiya	UZB	13.05
		SILVER	ZHAO Yuping	CHN	12.71
		BRONZE	XUE Enhui	CHN	11.00
Women's Discus Throw F11	FRI 24 MAY	GOLD	XUE Enhui	CHN	40.24
		SILVER	ZHANG Liangmin	CHN	38.62
		BRONZE	CAMPOS Izabela	BRA	36.84
Women's Javelin Throw F54	FRI 24 MAY	GOLD	KURBANOVA Nurkhon	UZB	20.73
		SILVER	UGWUNWA Flora	NGR	19.33
		BRONZE	SALEHI Elham	IRI	16.61
Universal 4x100m Relay	FRI 24 MAY	GOLD	(W) ZHOU Guohua	CHN	45.54
			Guide: (M) GU Dengpu		
			(M) WANG Hao		
			(W) WEN Xiaoyan		
			(M) HU Yang		
		SILVER	(M) SHAW Zachary	GBR	47.50
			(M) SANTOS Kevin		
			(W) SMITH Ali		
			(W) COCKROFT Hannah		
			(W) PUTRI Ni Made Arianti		
Guide: (M) LAKSONO Bayu Aji					
(W) SHOLIHAN Nanda Mei					
(M) PURNOMO Saptoyogo					
(M) ARIPIN Jaenal					

Medallists by Event					
Event Name	Date	Medal	Name	NPC Code	Result
Men's 100m T63	SAT 25 MAY	GOLD	SCHAEFER Leon	GER	12.03
		SILVER	MABOTE Puseletso Michael	RSA	12.05
		BRONZE	de JONG Joel	NED	12.19
Men's 200m T51	SAT 25 MAY	GOLD	HABSCH Roger	BEL	36.64
		SILVER	BERRAHAL Mohamed	ALG	39.37
		BRONZE	NAVARRO SANCHEZ Edgar Cesareo	MEX	40.23
Men's 200m T64	SAT 25 MAY	GOLD	FORTES Wallison Andre	BRA	23.11
		SILVER	OSHIMA Kengo	JPN	23.13
		BRONZE	JOYNT Mitchell	NZL	23.15
Men's 400m T62	SAT 25 MAY	GOLD	FLOORS Johannes	GER	47.49
		SILVER	WOODHALL Hunter	USA	48.13
		BRONZE	HENDRIKS Olivier	NED	48.16
Men's 800m T34	SAT 25 MAY	GOLD	WANG Yang	CHN	1:36.50
		SILVER	KTILA Walid	TUN	1:36.64
		BRONZE	GONG Wenhao	CHN	1:42.81
Men's 800m T54	SAT 25 MAY	GOLD	DAI Yunqiang	CHN	1:34.59
		SILVER	HU Yang	CHN	1:34.97
		BRONZE	MAGUIRE Nathan	GBR	1:35.27
Men's 1500m T38	SAT 25 MAY	GOLD	TISSAOUI Amen Allah	TUN	3:58.31
		SILVER	KRAI Abdelkrim	ALG	4:00.94
		BRONZE	KENZIE Deon	AUS	4:04.97
Men's 1500m T52	SAT 25 MAY	GOLD	CARABIN Maxime	BEL	3:38.35
		SILVER	SATO Tomoki	JPN	3:44.19
		BRONZE	PEREZ JUAREZ Leonardo De Jesus	MEX	4:10.02
Men's Long Jump T20	SAT 25 MAY	GOLD	ROMLY Abdul Latif	MAS	7.30
		SILVER	CHALA ESPINOZA Roberto Carlos	ECU	6.95
		BRONZE	OBANDO ASPRILLA Jhon Sebastian	COL	6.84
Men's Long Jump T36	SAT 25 MAY	SILVER	STEDMAN William	NZL	5.85
		BRONZE	PARREIRA DA SILVA Rodrigo	BRA	5.75
Men's Shot Put F33	SAT 25 MAY	GOLD	CAI Bingchen	CHN	11.91
		SILVER	LIU Li	CHN	11.68
		BRONZE	DERHEM Zakariae	MAR	11.02
Men's Shot Put F34	SAT 25 MAY	GOLD	HINDI Ahmad	JOR	11.47
		SILVER	NOUIRI Azeddine	MAR	11.34
Men's Shot Put F63	SAT 25 MAY	GOLD	DAVIES Aled	GBR	15.60
		SILVER	SOROUR Faisal	KUW	14.84
		BRONZE	HALGAHAWELA Palitha	SRI	14.27
Men's Discus Throw F37	SAT 25 MAY	GOLD	MARUFKHUJAEV Kudratillokhon	UZB	54.11
		SILVER	VARELA MEZA Edwards Alexander	VEN	52.17
		BRONZE	SHIMBO Yamato	JPN	52.13

Medallists by Event					
Event Name	Date	Medal	Name	NPC Code	Result
Men's Javelin Throw F41	SAT 25 MAY	GOLD	SUN Pengxiang	CHN	48.94
		SILVER	BEIT SAYAH Sadegh	IRI	47.92
		BRONZE	Navdeep	IND	42.82
Women's 100m T35	SAT 25 MAY	GOLD	ZHOU Xia	CHN	14.06
		SILVER	GUO Qianqian	CHN	14.35
		BRONZE	PAL Preethi	IND	14.43
Women's 200m T11	SAT 25 MAY	GOLD	LIU Cuiqing	CHN	24.36
		SILVER	SIMPLICIO DA SILVA Thalita Vitoria	BRA	24.95
		BRONZE	GEBER dos SANTOS Jerusa	BRA	24.98
Women's 200m T12	SAT 25 MAY	GOLD	Simran	IND	24.95
		SILVER	de LA CRUZ SEVERINO Darlenys	DOM	25.08
		BRONZE	GOMES de AGUIAR Lorraine	BRA	25.40
Women's 200m T37	SAT 25 MAY	GOLD	WEN Xiaoyan	CHN	25.75
		SILVER	SWANSON Taylor	USA	26.89
		BRONZE	JIANG Fenfen	CHN	27.02
Women's 200m T47	SAT 25 MAY	GOLD	VERA ANDRADE Lisbeli Marina	VEN	24.61
		SILVER	MASON Brittni	USA	25.10
		BRONZE	SOKOLOV Saska	SRB	25.37
Women's 200m T64	SAT 25 MAY	GOLD	van GANSEWINKEL Marlene	NED	25.73
		SILVER	BARTA Sydney	USA	27.46
		BRONZE	HATZ B	USA	27.70
Women's 400m T13	SAT 25 MAY	GOLD	VALIYEVA Lamiya	AZE	55.03
		SILVER	DUARTE Carolina	POR	55.61
		BRONZE	SOARES DA SILVA Rayane	BRA	56.78
Women's 400m T38	SAT 25 MAY	GOLD	PALOMEQUE MORENO Karen Tatiana	COL	59.40
		SILVER	AVE Lindy	GER	1:00.59
Women's Shot Put F40	SAT 25 MAY	GOLD	ALZEYUDI Maryam	UAE	8.49
		SILVER	MEJIA HERNANDEZ Pauleth	MEX	8.38
		BRONZE	BAARS Lara	NED	8.33
Women's Discus Throw F38	SAT 25 MAY	GOLD	KRUGER Simone	RSA	38.82
		SILVER	MI Na	CHN	38.45
		BRONZE	LI Yingli	CHN	37.69

▶ 競技スケジュール

第1日 5月17日							
Session 1 09:00 - 12:00							
競技開始時刻	性別	種目	資格クラス	ラウンド	組	障がいの種類	使用する競技用具等
9:00	女	円盤投 F55	F54, F55	決勝		切断・機能障がい	投てき台
9:15	男	やり投 F57	F55, F56, F57	予備予選		切断・機能障がい	投てき台
9:25	女	走幅跳 T20	T20	決勝		知的障がい	
9:30	男	5000m T11	T11	決勝	1組	視覚障がい	アシスタント
9:55	男	100m T47	T45, T46, T47	予選	1組	切断・機能障がい	
10:02	男	100m T47	T45, T46, T47	予選	2組	切断・機能障がい	
10:09	男	100m T47	T45, T46, T47	予選	3組	切断・機能障がい	
10:16	男	100m T12	T12	予選	1組	視覚障がい	一部アシスタント
10:24	男	100m T12	T12	予選	2組	視覚障がい	一部アシスタント
10:32	男	100m T12	T12	予選	3組	視覚障がい	一部アシスタント
10:48	女	砲丸投 F41	F41	決勝		切断・機能障がい	
10:56	女	1500m T11	T11	予選	1組	視覚障がい	アシスタント
11:06	女	1500m T11	T11	予選	2組	視覚障がい	アシスタント
11:15	女	円盤投 F57	F56, F57	予備予選		切断・機能障がい	投てき台
11:18	男	100m T72	T72	決勝	1組	脳原性まひ	フレームランニング
11:25	女	100m T72	T72	決勝	1組	脳原性まひ	フレームランニング
Session 2 17:00 - 20:00							
競技開始時刻	性別	種目	資格クラス	ラウンド	組	障がいの種類	使用する競技用具等
17:00	女	こん棒投 F32	F31, F32	決勝		脳原性まひ	投てき台
17:10	男	走幅跳 T11	T11	決勝		視覚障がい	アシスタント
17:20	男	砲丸投 F55	F54, F55	決勝		切断・機能障がい	投てき台
17:30	女	400m T11	T11	予選	1組	視覚障がい	アシスタント
17:38	女	400m T11	T11	予選	2組	視覚障がい	アシスタント
17:46	女	400m T11	T11	予選	3組	視覚障がい	アシスタント
17:55	男	砲丸投 F37	F37	決勝		脳原性まひ	
18:15	男	100m T38	T38	予選	1組	脳原性まひ	
18:22	男	100m T38	T38	予選	2組	脳原性まひ	
18:40	男	走幅跳 T47	T45, T46, T47	予備予選		切断・機能障がい	
18:43	男	100m T37	T37	予選	1組	脳原性まひ	
18:50	男	100m T37	T37	予選	2組	脳原性まひ	
18:56	女	やり投 F46	F45, F46	決勝		切断・機能障がい	
19:00	男	100m T47	T45, T46, T47	決勝	1組	切断・機能障がい	
19:25	女	400m T37	T37	決勝	1組	脳原性まひ	

第2日 5月18日							
Session 3 09:00 - 12:00							
競技開始時刻	性別	種目	資格クラス	ラウンド	組	障がいの種類	使用する競技用具等
9:00	女	円盤投 F57	F56, F57	決勝		切断・機能障がい	投てき台
9:15	女	やり投 F13	F12, F13	決勝		視覚障がい	一部アシスタント
9:30	男	400m T36	T36	予選	1組	脳原性まひ	
9:37	男	400m T36	T36	予選	2組	脳原性まひ	
9:50	女	1500m T13	T12, T13	決勝	1組	視覚障がい	一部アシスタント
9:58	女	1500m T11	T11	決勝	1組	視覚障がい	アシスタント
10:04	男	砲丸投 F12	F12	決勝		視覚障がい	一部アシスタント
10:10	男	400m T11	T11	予選	1組	視覚障がい	アシスタント
10:18	男	400m T11	T11	予選	2組	視覚障がい	アシスタント
10:26	男	400m T11	T11	予選	3組	視覚障がい	アシスタント
10:36	女	走幅跳 T37	T37	決勝		脳原性まひ	
10:42	女	100m T38	T38	予選	1組	脳原性まひ	
10:49	女	100m T38	T38	予選	2組	脳原性まひ	
11:02	女	5000m T54	T53, T54	決勝	1組	切断・機能障がい	競技用車いす
Session 4 17:00 - 20:00							
競技開始時刻	性別	種目	資格クラス	ラウンド	組	障がいの種類	使用する競技用具等
17:00	男	やり投 F57	F55, F56, F57	決勝		切断・機能障がい	投てき台
17:05	男	走幅跳 T47	T45, T46, T47	決勝		切断・機能障がい	
17:10	男	こん棒投 F32	F31, F32	決勝		脳原性まひ	投てき台
17:30	女	100m T47	T45, T46, T47	予選	1組	切断・機能障がい	
17:37	女	100m T47	T45, T46, T47	予選	2組	切断・機能障がい	
17:50	女	100m T13	T13	決勝	1組	視覚障がい	
18:01	男	100m T12	T12	決勝	1組	視覚障がい	一部アシスタント
18:06	男	走高跳 T64	T44, T64	決勝		切断・機能障がい	競技用義足
18:12	男	100m T37	T37	決勝	1組	脳原性まひ	
18:23	男	100m T38	T38	決勝	1組	脳原性まひ	
18:32	女	砲丸投 F37	F37	決勝		脳原性まひ	
18:38	女	200m T35	T35	予選	1組	脳原性まひ	
18:45	女	200m T35	T35	予選	2組	脳原性まひ	
19:18	男	5000m T13	T12, T13	決勝	1組	視覚障がい	一部アシスタント

* 障がいの種類、およびクラス分けの詳細はJPA日本パラ陸上競技連盟のホームページでご確認ください。

第3日 5月19日							
Session 5 09:00 - 12:00							
競技開始時刻	性別	種目	資格クラス	ラウンド	組	障がいの種類	使用する競技用具等
9:00	女	走幅跳 T12	T12	決勝		視覚障がい	一部アシスタント
9:15	男	砲丸投 F53	F53	決勝		切断・機能障がい	投てき台
9:30	男	1500m T11	T11	予選	1組	視覚障がい	アシスタント
9:38	男	1500m T11	T11	予選	2組	視覚障がい	アシスタント
9:46	女	400m T20	T20	予選	1組	知的障がい	
9:53	女	400m T20	T20	予選	2組	知的障がい	
10:00	女	400m T20	T20	予選	3組	知的障がい	
10:07	男	砲丸投 F40	F40	決勝		切断・機能障がい	
10:10	女	円盤投 F64	F43, F44, F62, F64	決勝		切断・機能障がい	競技用義足
10:16	男	100m T13	T13	予選	1組	視覚障がい	
10:23	男	100m T13	T13	予選	2組	視覚障がい	
10:39	女	800m T54	T54	予選	1組	切断・機能障がい	競技用車いす
10:47	女	800m T54	T54	予選	2組	切断・機能障がい	競技用車いす
11:00	男	400m T36	T36	決勝	1組	脳原性まひ	
11:12	男	400m T11	T11	決勝	1組	視覚障がい	アシスタント
Session 6 17:00 - 20:00							
競技開始時刻	性別	種目	資格クラス	ラウンド	組	障がいの種類	使用する競技用具等
17:00	女	やり投 F34	F33, F34	決勝		脳原性まひ	投てき台
17:05	女	800m T53	T51, T52, T53	決勝	1組	切断・機能障がい	競技用車いす
17:13	女	800m T54	T54	決勝	1組	切断・機能障がい	競技用車いす
17:19	男	円盤投 F52	F51, F52	決勝		切断・機能障がい	投てき台
17:26	男	400m T34	T33, T34	決勝	1組	脳原性まひ	競技用車いす
17:33	女	400m T11	T11	決勝	1組	視覚障がい	アシスタント
17:43	男	走高跳 T47	T45, T46, T47	決勝		切断・機能障がい	
17:49	男	100m T64	T62, T64	予選	1組	切断・機能障がい	競技用義足
17:56	男	100m T64	T62, T64	予選	2組	切断・機能障がい	競技用義足
18:04	男	走幅跳 T63	T42, T61, T63	決勝		切断・機能障がい	競技用義足
18:25	女	砲丸投 F20	F20	決勝		知的障がい	
18:27	男	400m T53	T53	決勝	1組	切断・機能障がい	競技用車いす
18:34	男	400m T54	T54	予選	1組	切断・機能障がい	競技用車いす
18:41	男	400m T54	T54	予選	2組	切断・機能障がい	競技用車いす
18:56	女	100m T47	T45, T46, T47	決勝	1組	切断・機能障がい	
19:05	女	100m T38	T38	決勝	1組	脳原性まひ	
19:20	女	200m T35	T35	決勝	1組	脳原性まひ	

第4日 5月20日							
Session 7 09:00 - 12:00							
競技開始時刻	性別	種目	資格クラス	ラウンド	組	障がいの種類	使用する競技用具等
9:00	男	円盤投 F56	F54, F55, F56	決勝		切断・機能障がい	投てき台
9:15	女	砲丸投 F54	F53, F54	決勝		切断・機能障がい	投てき台
9:20	男	1500m T11	T11	決勝	1組	視覚障がい	アシスタント
9:35	男	200m T37	T37	予選	1組	脳原性まひ	
9:42	男	200m T37	T37	予選	2組	脳原性まひ	
9:57	男	100m T44	T43, T44	予選	1組	切断・機能障がい	
10:07	男	100m T44	T43, T44	予選	2組	切断・機能障がい	
10:20	女	100m T11	T11	予選	1組	視覚障がい	アシスタント
10:28	女	100m T11	T11	予選	2組	視覚障がい	アシスタント
10:34	男	走幅跳 T12	T12	決勝		視覚障がい	一部アシスタント
10:36	女	100m T11	T11	予選	3組	視覚障がい	アシスタント
10:42	男	砲丸投 F41	F41	決勝		切断・機能障がい	
10:49	女	100m T37	T37	予選	1組	脳原性まひ	
10:56	女	100m T37	T37	予選	2組	脳原性まひ	
11:12	女	400m T20	T20	決勝	1組	知的障がい	
11:23	男	400m T54	T54	決勝	1組	切断・機能障がい	競技用車いす
Session 8 17:00 - 20:00							
競技開始時刻	性別	種目	資格クラス	ラウンド	組	障がいの種類	使用する競技用具等
17:00	女	走幅跳 T64	T43, T44, T62, T64	決勝		切断・機能障がい	競技用義足
17:15	女	円盤投 F53	F51, F52, F53	決勝		切断・機能障がい	投てき台
17:24	女	砲丸投 F34	F34	決勝		脳原性まひ	投てき台
17:30	男	400m T52	T51, T52	予選	1組	切断・機能障がい	競技用車いす
17:37	男	400m T52	T51, T52	予選	2組	切断・機能障がい	競技用車いす
17:45	男	砲丸投 F11	F11	決勝		視覚障がい	アシスタント
18:06	男	100m T13	T13	決勝	1組	視覚障がい	
18:15	男	200m T35	T35	決勝	1組	脳原性まひ	
18:22	女	200m T13	T13	決勝	1組	視覚障がい	
18:29	男	200m T37	T37	決勝	1組	脳原性まひ	
18:40	男	やり投 F38	F38	決勝		脳原性まひ	
18:50	女	400m T12	T12	予選	1組	視覚障がい	一部アシスタント
18:58	女	400m T12	T12	予選	2組	視覚障がい	一部アシスタント
19:06	女	400m T12	T12	予選	3組	視覚障がい	一部アシスタント
19:22	女	100m T36	T36	決勝	1組	脳原性まひ	
19:29	男	100m T44	T43, T44	決勝	1組	切断・機能障がい	
19:36	男	100m T64	T62, T64	決勝	1組	切断・機能障がい	競技用義足

* 障がいの種類、およびクラス分けの詳細はJPA日本パラ陸上競技連盟のホームページでご確認ください。

第5日 5月21日							
Session 9 09:00 - 12:00							
競技開始時刻	性別	種目	資格クラス	ラウンド	組	障がいの種類	使用する競技用具等
9:00	女	やり投 F56	F55, F56	決勝		切断・機能障がい	投てき台
9:25	男	走幅跳 T13	T13	決勝		視覚障がい	
9:30	男	1500m T54	T53, T54	予選	1組	切断・機能障がい	競技用車いす
9:37	男	1500m T54	T53, T54	予選	2組	切断・機能障がい	競技用車いす
9:45	男	1500m T13	T12, T13	決勝	1組	視覚障がい	一部アシスタント
10:00	女	400m T47	T45, T46, T47	予選	1組	切断・機能障がい	
10:07	女	400m T47	T45, T46, T47	予選	2組	切断・機能障がい	
10:20	女	こん棒投 F51	F51	決勝		切断・機能障がい	投てき台
10:25	男	100m T34	T34	予選	1組	脳原性まひ	競技用車いす
10:32	男	100m T34	T34	予選	2組	脳原性まひ	競技用車いす
10:39	女	100m T37	T37	決勝	1組	脳原性まひ	
10:46	女	100m T34	T33, T34	予選	1組	脳原性まひ	競技用車いす
10:53	女	100m T34	T33, T34	予選	2組	脳原性まひ	競技用車いす
10:58	男	砲丸投 F36	F36	決勝		脳原性まひ	
11:05	男	400m T37	T37	予選	1組	脳原性まひ	
11:12	男	400m T37	T37	予選	2組	脳原性まひ	
11:25	女	1500m T54	T53, T54	決勝	1組	切断・機能障がい	競技用車いす

Session 10 17:00 - 20:00							
競技開始時刻	性別	種目	資格クラス	ラウンド	組	障がいの種類	使用する競技用具等
17:00	女	走幅跳 T38	T36, T38	決勝		脳原性まひ	
17:04	男	砲丸投 F20	F20	決勝		知的障がい	
17:12	男	400m T12	T12	予選	1組	視覚障がい	一部アシスタント
17:19	男	400m T12	T12	予選	2組	視覚障がい	一部アシスタント
17:24	男	砲丸投 F32	F32	決勝		脳原性まひ	投てき台
17:37	男	400m T52	T51, T52	決勝	1組	切断・機能障がい	競技用車いす
17:50	女	100m T34	T33, T34	決勝	1組	脳原性まひ	競技用車いす
17:58	男	100m T34	T34	決勝	1組	脳原性まひ	競技用車いす
18:10	女	400m T12	T12	決勝	1組	視覚障がい	一部アシスタント
18:12	男	やり投 F64	F42, F43, F44, F61, F62, F63, F64	決勝		切断・機能障がい	競技用義足
18:15	男	走高跳 T63	T42, T63	決勝		切断・機能障がい	競技用義足
18:18	男	400m T38	T35, T38	決勝	1組	脳原性まひ	
18:30	男	400m T47	T45, T46, T47	予選	1組	切断・機能障がい	
18:37	男	400m T47	T45, T46, T47	予選	2組	切断・機能障がい	
18:49	女	100m T11	T11	決勝	1組	視覚障がい	アシスタント
19:01	女	100m T63	T42, T63	決勝	1組	切断・機能障がい	競技用義足
19:13	女	100m T64	T43, T44, T62, T64	決勝	1組	切断・機能障がい	競技用義足

第6日 5月22日							
Session 11 09:00 - 12:00							
競技開始時刻	性別	種目	資格クラス	ラウンド	組	障がいの種類	使用する競技用具等
9:00	男	やり投 F34	F33, F34	決勝		脳原性まひ	投てき台
9:15	女	円盤投 F41	F40, F41	決勝		切断・機能障がい	
9:30	男	100m T11	T11	予選	1組	視覚障がい	アシスタント
9:37	男	100m T11	T11	予選	2組	視覚障がい	アシスタント
9:44	男	100m T11	T11	予選	3組	視覚障がい	アシスタント
9:55	男	走幅跳 T38	T35, T38	決勝		脳原性まひ	
10:00	女	400m T47	T45, T46, T47	決勝	1組	切断・機能障がい	
10:08	男	400m T37	T37	決勝	1組	脳原性まひ	
10:20	男	100m T36	T36	予選	1組	脳原性まひ	
10:27	男	100m T36	T36	予選	2組	脳原性まひ	
10:32	男	砲丸投 F46	F45, F46	決勝		切断・機能障がい	
10:40	女	100m T54	T54	予選	1組	切断・機能障がい	競技用車いす
10:47	女	100m T54	T54	予選	2組	切断・機能障がい	競技用車いす
11:00	男	1500m T54	T53, T54	決勝	1組	切断・機能障がい	競技用車いす

Session 12 17:00 - 20:00							
競技開始時刻	性別	種目	資格クラス	ラウンド	組	障がいの種類	使用する競技用具等
17:00	女	砲丸投 F32	F32	決勝		脳原性まひ	投てき台
17:05	男	こん棒投 F51	F51	決勝		切断・機能障がい	投てき台
17:15	女	100m T53	T51, T52, T53	決勝	1組	切断・機能障がい	競技用車いす
17:23	女	100m T54	T54	決勝	1組	切断・機能障がい	競技用車いす
17:35	男	400m T13	T13	予選	1組	視覚障がい	
17:42	男	400m T13	T13	予選	2組	視覚障がい	
17:55	女	砲丸投 F46	F45, F46	決勝		切断・機能障がい	
18:02	男	400m T20	T20	予選	1組	知的障がい	
18:09	男	400m T20	T20	予選	2組	知的障がい	
18:17	男	400m T47	T45, T46, T47	決勝	1組	切断・機能障がい	
18:21	男	走幅跳 T64	T43, T44, T62, T64	決勝		切断・機能障がい	競技用義足
18:30	女	100m T12	T12	予選	1組	視覚障がい	一部アシスタント
18:37	女	100m T12	T12	予選	2組	視覚障がい	一部アシスタント
18:44	女	100m T12	T12	予選	3組	視覚障がい	一部アシスタント
19:00	男	100m T53	T53	決勝	1組	切断・機能障がい	競技用車いす
19:10	女	200m T38	T38	決勝	1組	脳原性まひ	
19:20	女	1500m T20	T20	決勝	1組	知的障がい	

* 障がいの種類、およびクラス分けの詳細はJPA日本パラ陸上競技連盟のホームページでご確認ください。

第7日 5月23日							
Session 13 09:00 - 12:00							
競技開始時刻	性別	種目	資格クラス	ラウンド	組	障がいの種類	使用する競技用具等
9:00	女	砲丸投 F57	F55, F56, F57	決勝		切断・機能障がい	投てき台
9:15	男	走幅跳 T37	T37	決勝		脳原性まひ	
9:30	女	800m T34	T33, T34	予選	1組	脳原性まひ	競技用車いす
9:38	女	800m T34	T33, T34	予選	2組	脳原性まひ	競技用車いす
9:45	女	砲丸投 F64	F42, F43, F44, F61, F62, F63, F64	決勝		切断・機能障がい	競技用義足
9:52	男	円盤投 F11	F11	決勝		視覚障がい	アシスタント
9:56	女	200m T11	T11	予選	1組	視覚障がい	アシスタント
10:03	女	200m T11	T11	予選	2組	視覚障がい	アシスタント
10:10	女	200m T11	T11	予選	3組	視覚障がい	アシスタント
10:17	女	200m T11	T11	予選	4組	視覚障がい	アシスタント
10:26	女	砲丸投 F35	F35	決勝		脳原性まひ	
10:29	男	100m T36	T36	決勝	1組	脳原性まひ	
10:40	女	400m T54	T54	予選	1組	切断・機能障がい	競技用車いす
10:47	女	400m T54	T54	予選	2組	切断・機能障がい	競技用車いす
10:56	女	400m T38	T36, T38	予選	1組	脳原性まひ	
11:03	女	400m T38	T36, T38	予選	2組	脳原性まひ	

Session 14 17:00 - 20:00							
競技開始時刻	性別	種目	資格クラス	ラウンド	組	障がいの種類	使用する競技用具等
17:00	女	砲丸投 F33	F33	決勝		脳原性まひ	投てき台
17:05	男	円盤投 F64	F43, F44, F62, F64	決勝		切断・機能障がい	競技用義足
17:25	男	100m T11	T11	決勝	1組	視覚障がい	アシスタント
17:32	女	100m T12	T12	決勝	1組	視覚障がい	一部アシスタント
17:39	男	100m T54	T54	予選	1組	切断・機能障がい	競技用車いす
17:46	男	100m T54	T54	予選	2組	切断・機能障がい	競技用車いす
17:55	男	砲丸投 F35	F35	決勝		脳原性まひ	
17:57	女	200m T36	T36	決勝	1組	脳原性まひ	
18:10	男	400m T20	T20	決勝	1組	知的障がい	
18:17	男	400m T12	T12	決勝	1組	視覚障がい	一部アシスタント
18:25	男	やり投 F13	F12, F13	決勝		視覚障がい	一部アシスタント
18:27	女	400m T13	T13	決勝	1組	視覚障がい	
18:35	男	走幅跳 T63	T42, T61, T63	決勝		切断・機能障がい	競技用義足
18:37	男	800m T53	T51, T52, T53	決勝	1組	切断・機能障がい	競技用車いす
18:48	男	100m T52	T52	予選	1組	切断・機能障がい	競技用車いす
18:55	男	100m T52	T52	予選	2組	切断・機能障がい	競技用車いす
19:03	男	100m T54	T54	決勝	1組	切断・機能障がい	競技用車いす
19:15	女	400m T53	T51, T52, T53	決勝	1組	切断・機能障がい	競技用車いす
19:22	女	400m T54	T54	決勝	1組	切断・機能障がい	競技用車いす
19:30	男	500m T54	T54	決勝	1組	切断・機能障がい	競技用車いす

第8日 5月24日							
Session 15 09:00 - 12:00							
競技開始時刻	性別	種目	資格クラス	ラウンド	組	障がいの種類	使用する競技用具等
9:00	男	やり投 F54	F52, F53, F54	決勝		切断・機能障がい	投てき台
9:02	男	100m T54	T54	決勝			
9:05	女	砲丸投 F12	F11, F12	決勝		視覚障がい	一部アシスタント
9:12	男	1500m T20	T20	決勝	1組	知的障がい	
9:22	男	200m T64	T44, T64	予選	1組	切断・機能障がい	競技用義足
9:29	男	200m T64	T44, T64	予選	2組	切断・機能障がい	競技用義足
9:49	女	やり投 F54	F52, F53, F54	決勝		切断・機能障がい	投てき台
10:10	男女	ユニバーサル 4x100m リレー	T10,30,40,50,60	予選	1組		
10:21	男女	ユニバーサル 4x100m リレー	T10,30,40,50,60	予選	2組		
10:30	女	走幅跳 T47	T45, T46, T47	決勝		切断・機能障がい	
10:45	男	砲丸投 F34	F34	予備予選		脳原性まひ	投てき台
10:45	男	100m T52	T52	決勝	1組	切断・機能障がい	競技用車いす
10:55	女	400m T13	T13	予選	1組	視覚障がい	
11:02	女	400m T13	T13	予選	2組	視覚障がい	
11:15	男	800m T34	T33, T34	予選	1組	脳原性まひ	競技用車いす
11:23	男	800m T34	T33, T34	予選	2組	脳原性まひ	競技用車いす

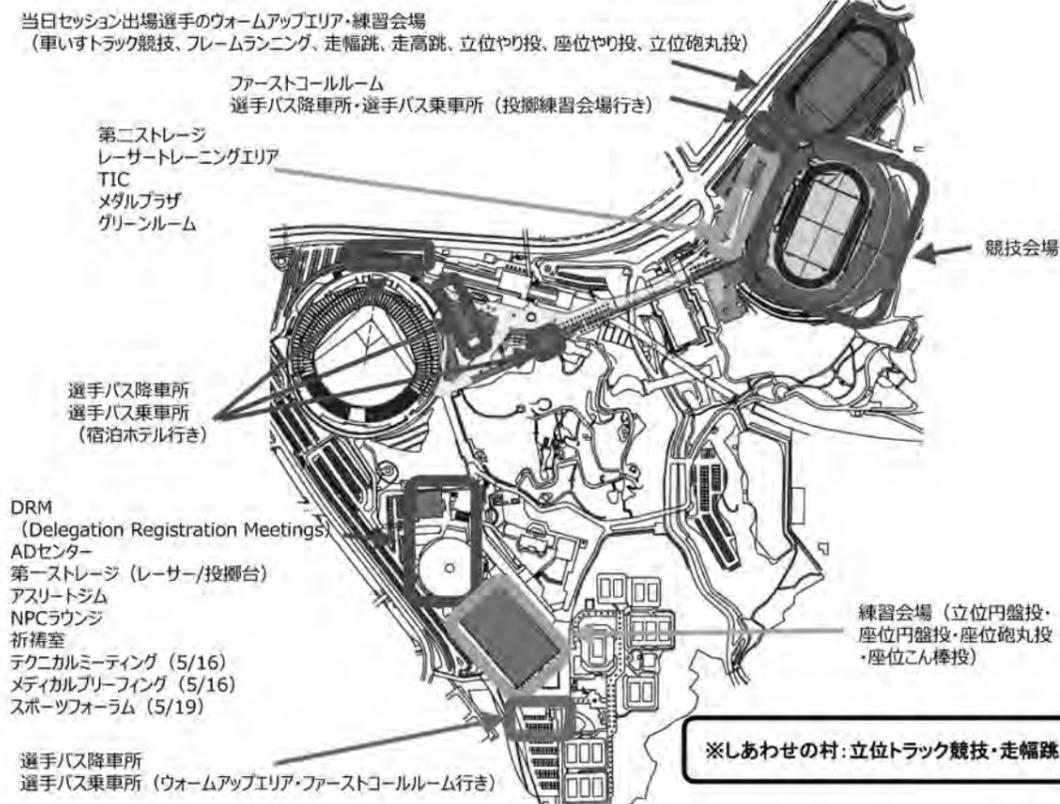
Session 16 17:00 - 20:00							
競技開始時刻	性別	種目	資格クラス	ラウンド	組	障がいの種類	使用する競技用具等
17:00	男	砲丸投 F57	F56, F57	決勝		切断・機能障がい	投てき台
17:05	女	円盤投 F11	F11	決勝		視覚障がい	アシスタント
17:12	女	走幅跳 T11	T11	決勝		視覚障がい	アシスタント
17:20	男	1500m T46	T45, T46	決勝	1組	切断・機能障がい	
17:30	女	200m T12	T12	予選	1組	視覚障がい	一部アシスタント
17:37	女	200m T12	T12	予選	2組	視覚障がい	一部アシスタント
17:42	男	砲丸投 F38	F38	決勝		脳原性まひ	
17:45	女	200m T12	T12	予選	3組	視覚障がい	一部アシスタント
17:52	女	200m T12	T12	予選	4組	視覚障がい	一部アシスタント
18:05	男	100m T35	T35	決勝	1組	脳原性まひ	
18:13	男	100m T51	T51	決勝	1組	切断・機能障がい	競技用車いす
18:18	男	やり投 F46	F45, F46	決勝		切断・機能障がい	
18:25	女	800m T34	T33, T34	決勝	1組	脳原性まひ	競技用車いす
18:38	男	800m T54	T54	予選	1組	切断・機能障がい	競技用車いす
18:45	男	800m T54	T54	予選	2組	切断・機能障がい	競技用車いす
19:20	男女	ユニバーサル 4x100m リレー	T10,30,40,50,60	決勝	1組		

* 障がいの種類、およびクラス分けの詳細はJPA日本パラ陸上競技連盟のホームページでご確認ください。

第9日 5月25日							
Session 17 09:00 - 12:00							
競技開始時刻	性別	種目	資格クラス	ラウンド	組	障がいの種類	使用する競技用具等
9:00	男	砲丸投 F34	F34	決勝		脳原性まひ	投てき台
9:05	男	走幅跳 T20	T20	決勝		知的障がい	
9:12	女	200m T12	T12	準決勝	1組	視覚障がい	一部アシスタント
9:19	女	200m T12	T12	準決勝	2組	視覚障がい	一部アシスタント
9:24	男	円盤投 F37	F37	決勝		脳原性まひ	
9:35	女	200m T37	T37	予選	1組	脳原性まひ	
9:42	女	200m T37	T37	予選	2組	脳原性まひ	
9:47	女	砲丸投 F40	F40	決勝		切断・機能障がい	
9:55	男	1500m T52	T51, T52	決勝	1組	切断・機能障がい	競技用車いす
10:07	女	200m T47	T45, T46, T47	予選	1組	切断・機能障がい	
10:14	女	200m T47	T45, T46, T47	予選	2組	切断・機能障がい	
10:21	女	200m T47	T45, T46, T47	予選	3組	切断・機能障がい	
10:35	男	100m T63	T42, T63	予選	1組	切断・機能障がい	競技用義足
10:42	男	100m T63	T42, T63	予選	2組	切断・機能障がい	競技用義足
10:45	男	走幅跳 T36	T36	決勝		脳原性まひ	
11:00	女	100m T35	T35	予選	1組	脳原性まひ	
11:08	女	100m T35	T35	予選	2組	脳原性まひ	
11:20	男	800m T34	T33, T34	決勝	1組	脳原性まひ	競技用車いす
Session 18 17:00 - 20:00							
競技開始時刻	性別	種目	資格クラス	ラウンド	組	障がいの種類	使用する競技用具等
17:00	女	円盤投 F38	F37, F38	決勝		脳原性まひ	投てき台
17:05	男	砲丸投 F33	F33	決勝		脳原性まひ	アシスタント
17:12	女	200m T11	T11	決勝	1組	視覚障がい	一部アシスタント
17:19	女	200m T12	T12	決勝	1組	視覚障がい	一部アシスタント
17:28	男	200m T51	T51	決勝	1組	切断・機能障がい	競技用車いす
17:33	男	砲丸投 F63	F42, F61, F63	決勝		切断・機能障がい	競技用義足
17:37	女	200m T37	T37	決勝	1組	脳原性まひ	
17:45	女	200m T47	T45, T46, T47	決勝	1組	切断・機能障がい	
17:56	男	1500m T38	T37, T38	決勝	1組	脳原性まひ	
18:07	男	400m T62	T43, T62	決勝	1組	切断・機能障がい	競技用義足
18:15	女	400m T13	T13	決勝	1組	視覚障がい	
18:20	男	やり投 F41	F40, F41	決勝		切断・機能障がい	
18:23	女	400m T38	T36, T38	決勝	1組	脳原性まひ	
18:35	男	800m T54	T54	決勝	1組	切断・機能障がい	競技用車いす
18:45	女	100m T35	T35	決勝	1組	脳原性まひ	
18:55	男	100m T63	T42, T63	決勝	1組	切断・機能障がい	競技用義足
19:06	女	200m T64	T44, T64	決勝	1組	切断・機能障がい	競技用義足
19:15	男	200m T64	T44, T64	決勝	1組	切断・機能障がい	競技用義足

*障がいの種類、およびクラス分けの詳細はJPA日本パラ陸上競技連盟のホームページでご確認ください。

▶ 会場図

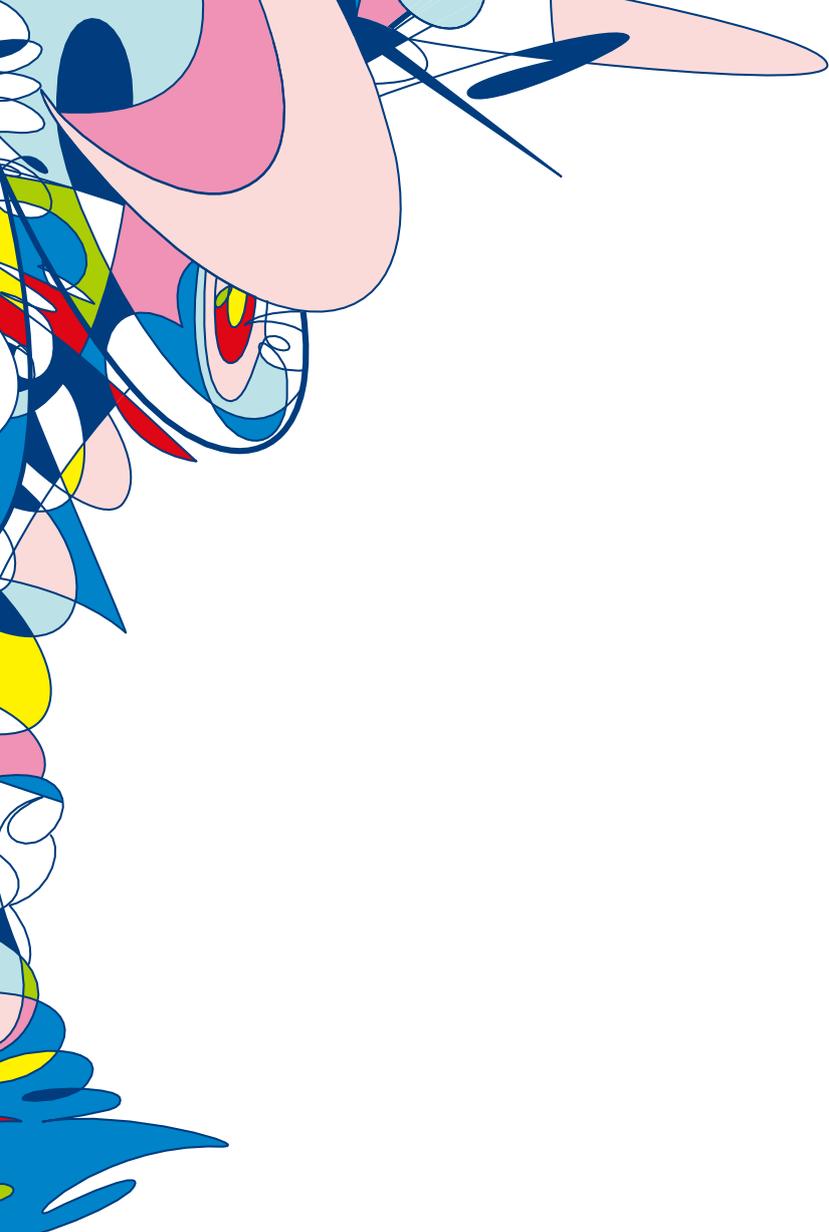


▶ 神戸2024世界パラ陸上競技選手権大会組織委員会 委員等名簿

(敬称略)

No.	役職	所属・役職	役職	氏名
1	会長	一般社団法人日本パラ陸上競技連盟	会長	増田 明 美
2	副会長 (開催都市市長)	神戸市	市長	久元 喜 造
3	副会長	兵庫県	知事	齋藤 元 彦
4	副会長	日本パラリンピック委員会	会長	森 和 之
5	副会長	公益財団法人日本陸上競技連盟	会長	尾 縣 貢
6	副会長	一般財団法人兵庫陸上競技協会	会長	松本 俊 裕
7	副会長	神戸商工会議所	副会頭	尾 山 基
8	副会長	株式会社神戸新聞社	代表取締役社長	高 梨 柳太郎
9	委員・事務局長	神戸市	文化スポーツ局 局長	檀 特 竜 王
10	委員	一般社団法人日本パラ陸上競技連盟	専務理事	三 井 利 仁
11	委員	公益財団法人日本スポーツ協会	専務理事	森 岡 裕 策
12	委員	公益財団法人日本陸上競技連盟	専務理事	田 崎 博 道
13	委員	公益財団法人兵庫県身体障害者福祉協会	理事長	木 村 佳 史
14	委員	社会福祉法人神戸市身体障害者団体連合会	理事長	高 野 清
15	委員	公益社団法人関西経済連合会	専務理事	関 総一郎
16	委員	公益社団法人兵庫県バス協会	会長	長 尾 真
17	委員	一般社団法人兵庫県タクシー協会	会長	吉 川 紀 興
18	委員	パラリンピアン (2004年アテネパラリンピック銅メダリスト)		永 尾 嘉 章
19	委員	パラリンピアン・神戸市市議員		山 口 由 美
20	委員	公益財団法人兵庫県障害者スポーツ協会	理事長	増 田 和 茂
21	委員	公益財団法人神戸市スポーツ協会	会長	國 井 総一郎
22	委員	社会福祉法人兵庫県社会福祉協議会	会長	入 江 武 信
23	委員	社会福祉法人兵庫県社会福祉事業団	理事長	藪 本 訓 弘
24	委員	社会福祉法人神戸市社会福祉協議会	理事長	玉 田 敏 郎
25	委員	公益財団法人こうべ市民福祉振興協会	会長	長 田 淳
26	委員	一般財団法人神戸観光局	専務理事	中 西 理香子
27	委員	兵庫県警察本部神戸市警察部	部長	大 石 洋 己
28	委員	兵庫県教育委員会	教育長	藤 原 俊 平
29	委員	神戸市教育委員会	教育長	福 本 靖
30	委員	兵庫県	福祉部長	岡 田 英 樹
31	委員	神戸市	福祉局長	八乙女 悦 範
32	監事	兵庫県	会計管理者	高 永 徹
33	監事	神戸市	会計管理者	久戸瀬 修 次
1	顧問	国会議員・障がい者スポーツ・パラリンピック推進議員連盟	会長	中曾根 弘 文
2	顧問	公益社団法人関西経済連合会	会長	松 本 正 義
3	顧問	兵庫県議会	議長	内 藤 兵 衛
4	顧問	神戸市会	議長	坊 やすなが

大会開会式 (2024年5月17日) 時点



KOBE 2024 世界パラ陸上競技選手権大会 大会報告書

2024年12月26日 発行

発行 神戸2024世界パラ陸上競技選手権大会組織委員会

本書の掲載内容の無断転載・複写・複製等を禁じます。

